

札幌市就学前児童のいる世帯を対象としたニーズ調査

1. 調査の概要

(1) 目的

事業計画策定の基礎データとして、就学前児童のいる世帯の子育てに関する生活実態や潜在ニーズ等を把握すること。

(2) 調査対象と回収サンプル数：

- 住民基本台帳から無作為に抽出した、就学前児童（5歳以下）の保護者 15,000人
- 回収数：6,116件（回収率 40.8%）

(3) 調査手法：

郵送アンケート調査（郵送発送、郵送回収）。ウェブアンケートフォーム、Eメールによる回答も受け付けた。

(4) 調査期間：

平成 30 年 12 月 7 日（調査票発送）～平成 31 年 1 月 4 日（回収締切、当日消印有効）

調査結果の凡例

- <SA> シングルアンサー（単一回答）
- <MA> マルチアンサー（複数回答）
- <1~3A> 選択肢を 1 つ～3 つまで選択可能
- <IN> 数値記述回答
- N サンプル数

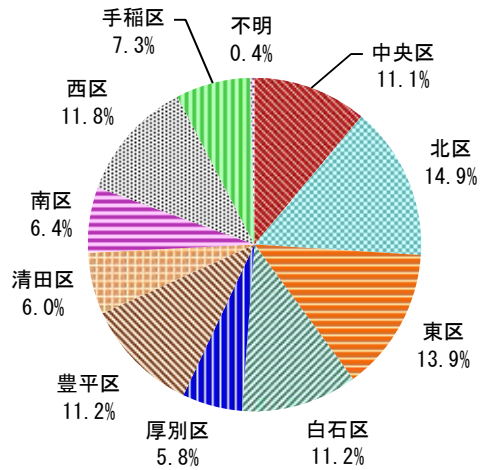
注記

- サンプル数 N は、注記のない限り、非該当者（その設問に答える必要のない方）を除いた数であるため、回収数以下になる。
- 不明は、未回答（未記入）などで回答内容が不明であることを示す。
- 割合は、原則としてシングルアンサー設問<SA>については回答不明者（未記入など）を含めて集計し、マルチアンサー設問<MA>は、回答不明者を除いて集計している。
- マルチアンサー設問<MA>では、表記の割合の合計は 100%を超える。
- シングルアンサー設問<SA>に関しても、表記の割合は選択肢ごとに少数点第二位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合がある。
- 中間値とはデータを小さいものから順に並べた際にちょうど中間に来る値である（データが偶数個の際は中央 2 データの平均値をとる）。数値記述回答にて極端に値が大きいデータが存在する際、平均値はそれに大きく影響されてしまうため、中間値を平均値と合わせて表記している。（例：5 つのデータ「1, 1, 1, 1, 100」の平均値は 20.8、中間値は 1 となる）

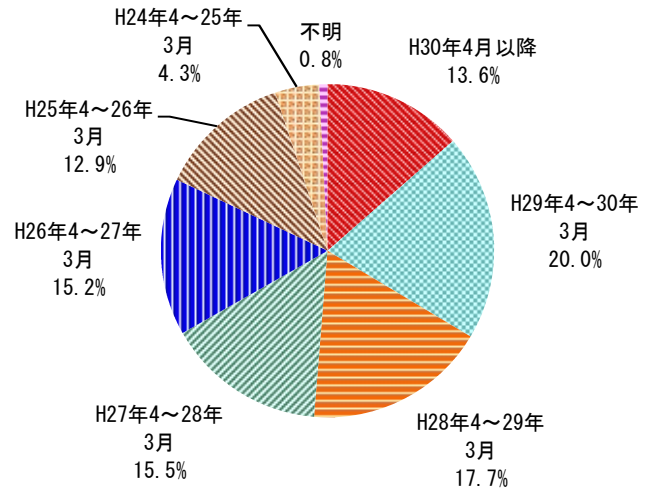
2. 調査結果

A. 子どもと家族の状況

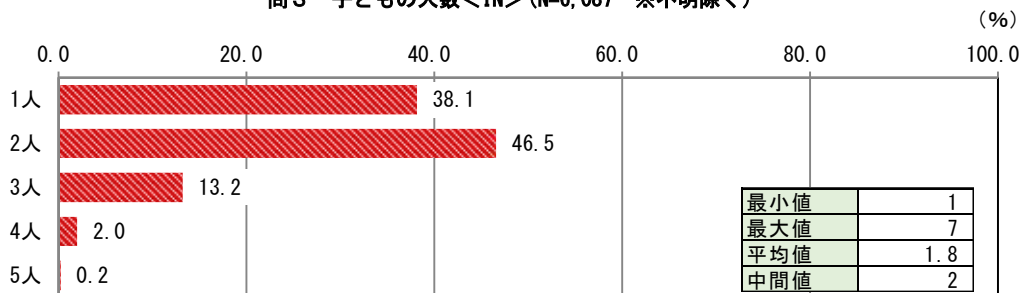
問1 居住区<SA> (N=6,116)



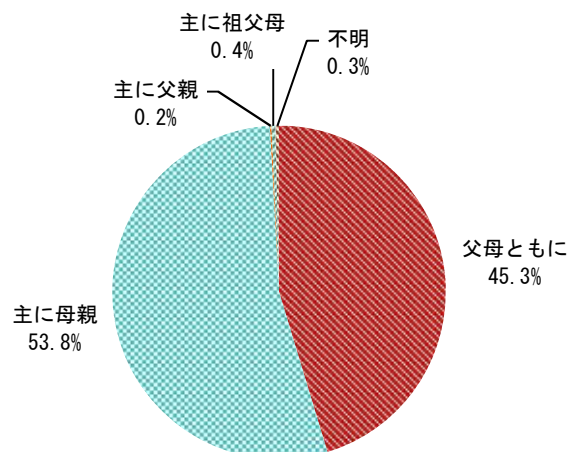
問2 宛名児童の生年月日<SA> (N=6,116)



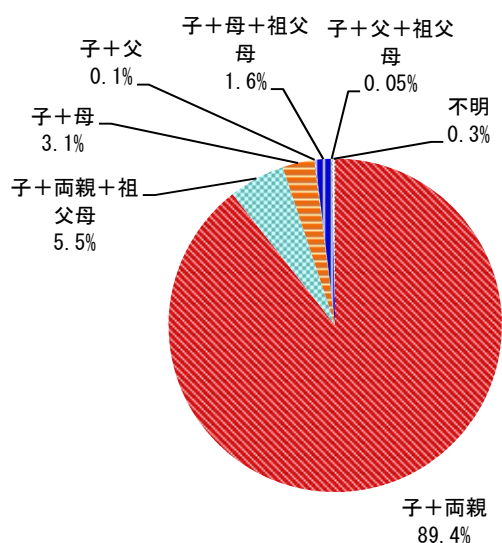
問3 子どもの人数<IN> (N=6,087 ※不明除く)



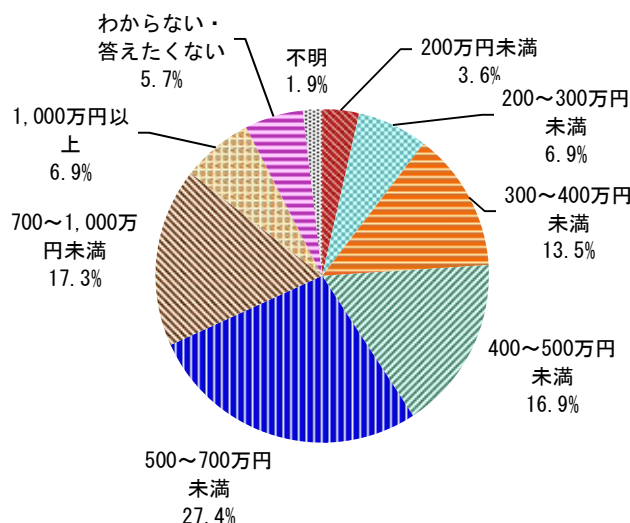
問5 子育ての主な担い手<SA> (N=6,116)



問4 世帯構成<SA> (N=6,116)



問6 世帯年収(税込)<SA> (N=6,116)

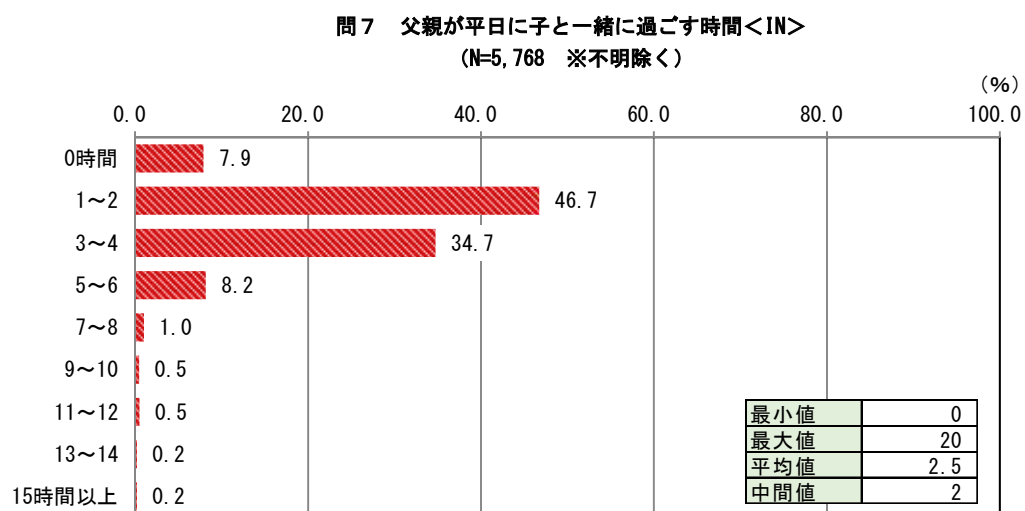
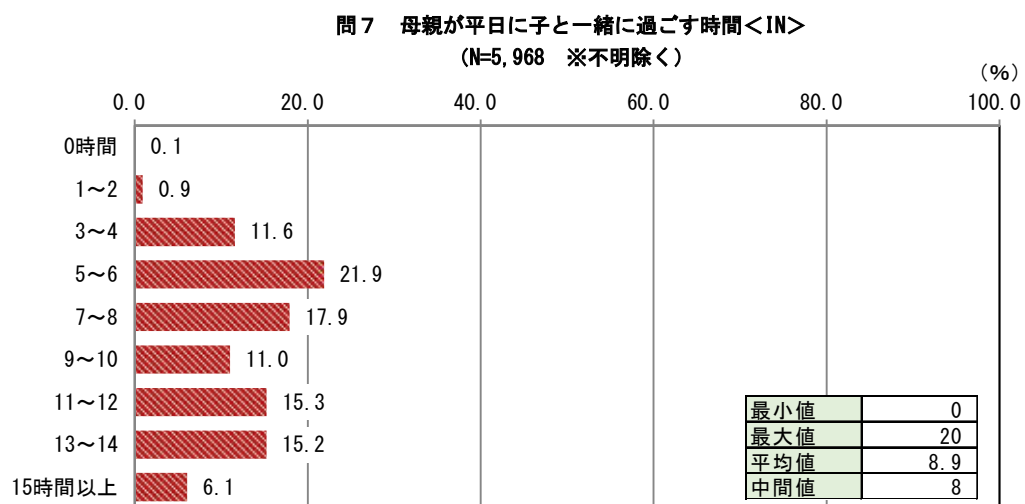


(クロス集計表) 問6 世帯年収・各属性別<SA>

	N	200万円未満	200~300万円未満	300~400万円未満	400~500万円未満	500~700万円未満	700~1,000万円未満	1,000万円以上	わからない・答えたくない	不明
全体	6,116	3.6	6.9	13.5	16.9	27.4	17.3	6.9	5.7	1.9
問4 世帯構成										
お子さん+ご両親(二世帯世帯)	5,469	1.6	6.0	13.5	17.3	29.0	18.4	7.3	5.2	1.7
お子さん+ご両親+祖父母(三世帯世帯)	335	4.5	10.1	17.0	18.8	22.1	14.9	5.4	6.0	1.2
お子さん+母/父親(ひとり親・二世帯世帯)	195	42.6	22.1	9.2	7.2	4.1	1.0	1.0	12.8	-
お子さん+母/父親+祖父母(ひとり親・三世帯世帯)	98	34.7	12.2	11.2	7.1	6.1	3.1	3.1	19.4	3.1
問19 平日の定期的な教育・保育事業の利用有無										
利用している	3,509	4.2	6.0	11.7	16.4	26.1	20.0	8.5	5.2	1.9
利用していない	2,578	2.8	8.0	16.0	17.5	29.2	13.7	4.8	6.3	1.7
問19-1 定期的に利用している事業										
幼稚園(通常の就園時間の利用)	1,035	2.6	4.2	10.5	18.1	30.0	16.1	11.0	5.6	1.8
幼稚園一時預かり(通常の就園時間を延長して預かる事業※定期的な利用のみ)	213	3.8	2.3	11.3	20.2	28.2	14.6	13.1	3.3	3.3
認可保育所・公立保育所	1,403	5.2	6.5	11.8	15.3	23.4	23.5	7.6	4.8	1.9
認定こども園	573	3.0	6.6	10.1	17.5	29.7	20.9	4.5	5.4	2.3
家庭的保育事業(保育ママ)	6	16.7	-	33.3	-	33.3	16.7	-	-	-
小規模保育事業	87	4.6	10.3	19.5	20.7	23.0	16.1	2.3	3.4	-
事業所内保育事業(認可/認可外)	95	2.1	4.2	10.5	11.6	30.5	26.3	8.4	5.3	1.1
認可外保育施設	140	6.4	5.7	10.7	14.3	15.7	21.4	20.7	4.3	0.7
企業主導型保育事業	107	5.6	8.4	15.9	14.0	19.6	18.7	11.2	4.7	1.9
居宅訪問型保育事業(ベビーシッター)	2	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-
さっぽろ子育てサポートセンター	20	-	10.0	10.0	10.0	25.0	15.0	15.0	5.0	10.0
その他	94	7.4	10.6	13.8	19.1	23.4	8.5	5.3	7.4	4.3

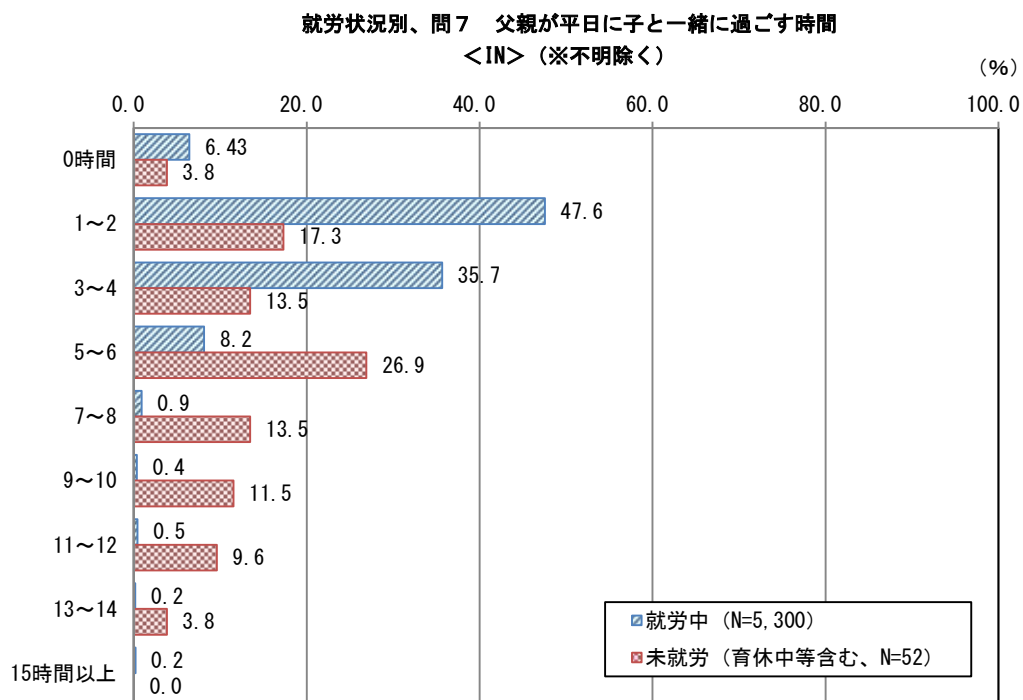
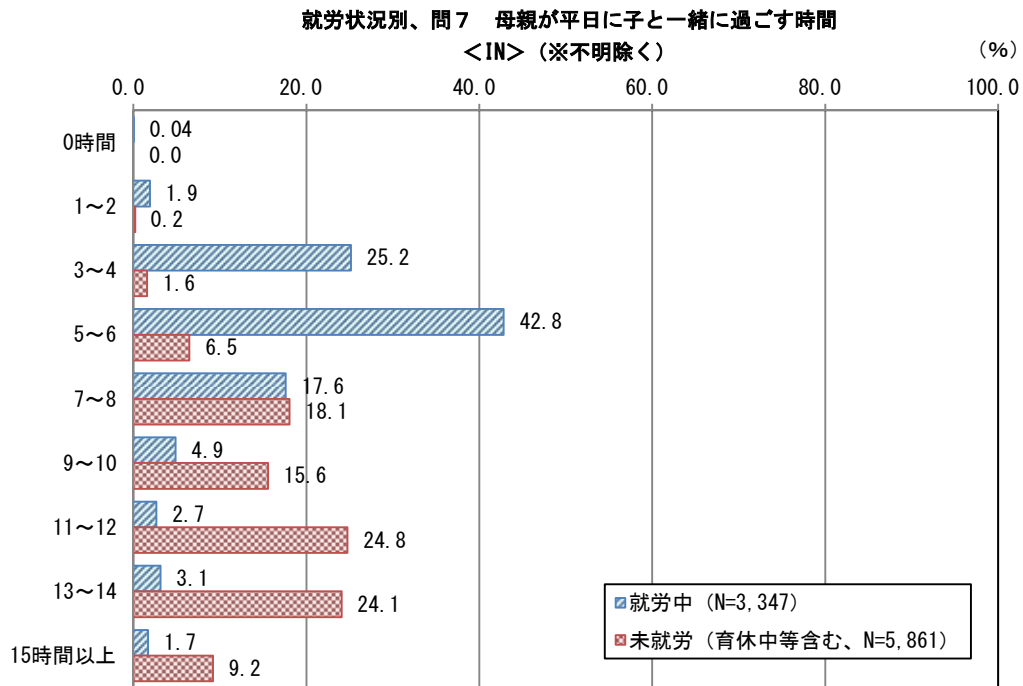
※色付きは各行について濃い順に1・2・3番めに高い値であることを示している。

- 「問7 母親が平日に子と一緒に過ごす時間」は平均で 8.9 時間であることに対して、「問7 父親が平日に子と一緒に過ごす時間」は平均で 2.5 時間にとどまっている。



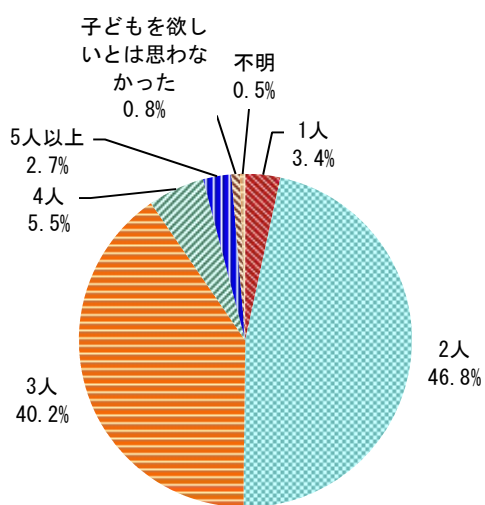
○「問7 母親が平日に子どもと一緒に過ごす時間」「問7 父親が平日に子どもと一緒に過ごす時間」を就労状況別に見ると、いずれにおいても未就労の方が子どもと過ごす時間が多くなっている。

○母親と父親を比較すると、就労中では母親は「5～6時間」が最も多くなっている一方、父親では「1～2時間」が最も多くなった。未就労でも母親は「11～12時間」が最も多くなっているが、父親は「5～6時間」が最も多くなっている。このように、就労中、未就労、どちらにおいても、母親の方が父親よりも子どもと過ごす時間が多くなっている。

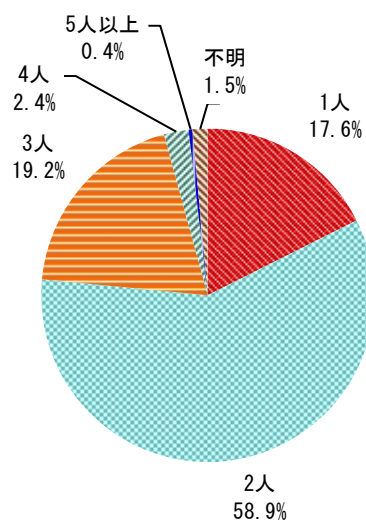


- 「問8(1) ほしい子どもの人数」は「2人」が46.8%、「3人」が40.2%であった。
- 「問8(1) ほしい子どもの人数」と「問8(2) 実際に予定している子どもの人数」と比較すると、「3人」が半分以下の19.2%、「4人」以上の各選択肢も減少していることに対し、「2人」が12.1ポイント、「1人」が14.2ポイント増えている。
- 「問9(1) 実際に予定している子どもの人数がほしい人数より少ない理由」として「経済的な負担が増えるから」が69.8%で最も多かった。以下「高齢出産になるから」(36.7%)、「仕事と子育ての両立が大変だから」(30.1%)が続く。

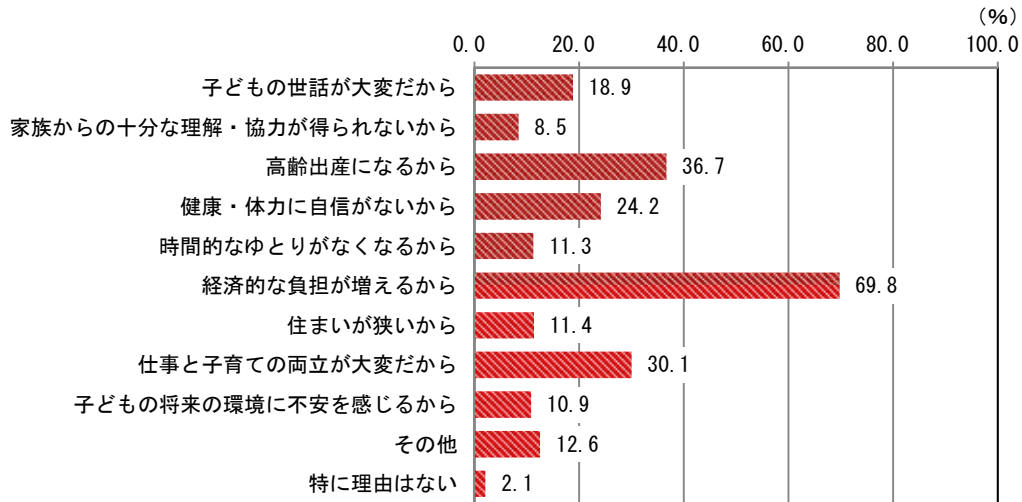
問8(1) ほしい子どもの人数<SA> (N=6,116)



問8(2) 実際に予定している子どもの人数<SA> (N=6,116)



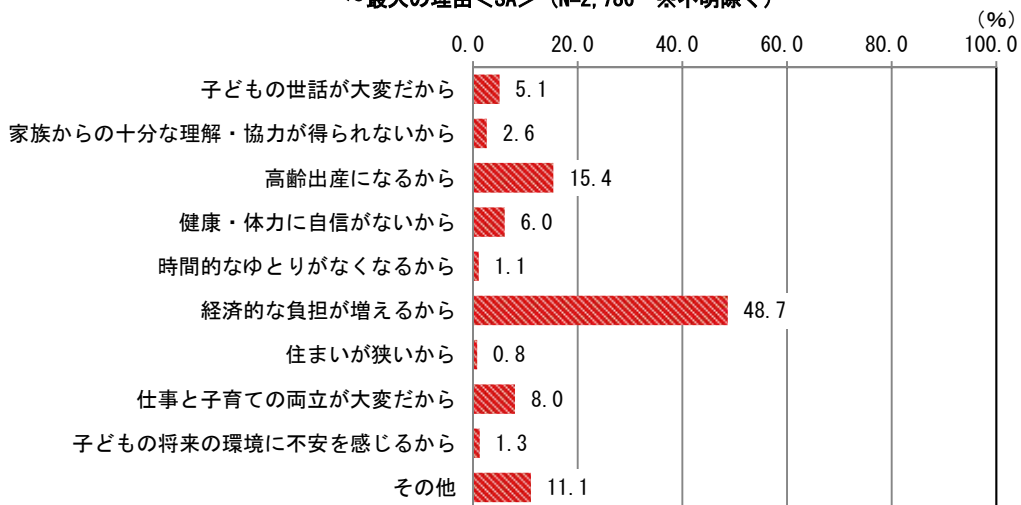
問9(1) 【予定している子どもの人数がほしい人数より少ない方限定】
 予定している子どもの人数がほしい人数より少ない理由<1~3A> (N=2,679 ※不明除く)



その他

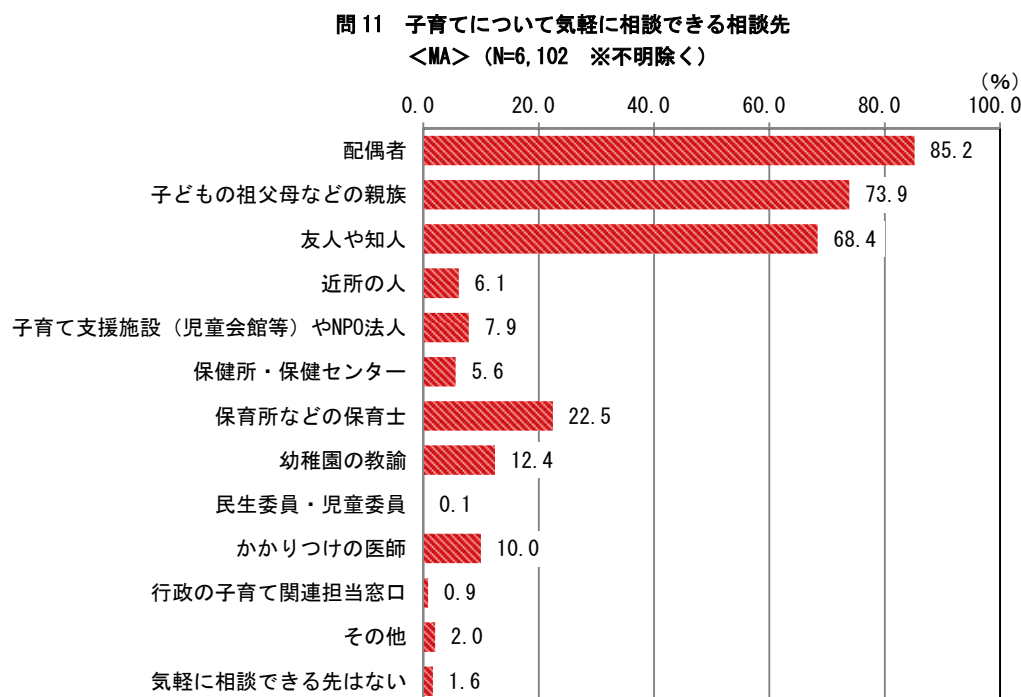
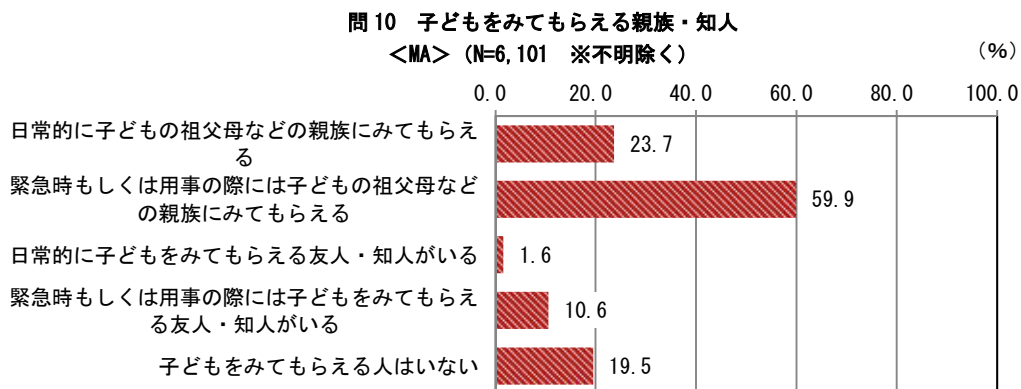
- 不妊症のため、不妊治療が必要・お金がかかるため (78)
- 離婚・死別等で一人親のため (55)
- 妊娠・悪阻・陣痛・出産が辛い・怖い (17)
- 帝王切開のため (16)
- 経済面で不安があるため (11)
- 子に障がい・病気があるため (9)
- 保育所等に入りにくい・少ないため、保育料が高いため (8)
- 子育てについて周りに頼れる人がいないため (8)
- 転勤があるため (7)
- 現在妊娠中のため (7)
- 産休・育休等がとれない・とりにくい (6)
- 自身・家族等が病気のため (6)
- 流産・死産・子の死を経験したため (5)
- 子どもが嫌い・苦手だから (5)
- 夫婦関係に問題があるため (5) など

問9(2) 【予定している子どもの人数がほしい人数より少ない方限定】
 予定している子どもの人数がほしい人数より少ない理由
 ~最大の理由<SA> (N=2,786 ※不明除く)



B. 子どもの育ちをめぐる環境

- 「問 10 子どもをみてもらえる親族・知人」では「緊急時もしくは用事の際には子どもの祖父母などの親族にみてもらえる」が 59.9%と最も多く、「日常的に子どもの祖父母などの親族にみてもらえる」が 23.7%で次ぐが、「子どもをみてもらえる人はいない」も 19.5%が挙げた。
- 「問 11 子育てについて気軽に相談できる相談先」としては「配偶者」が最も多く 85.2%であった。以下「祖父母などの親族」(73.9%)、「友人や知人」(68.4%)と続く。



その他

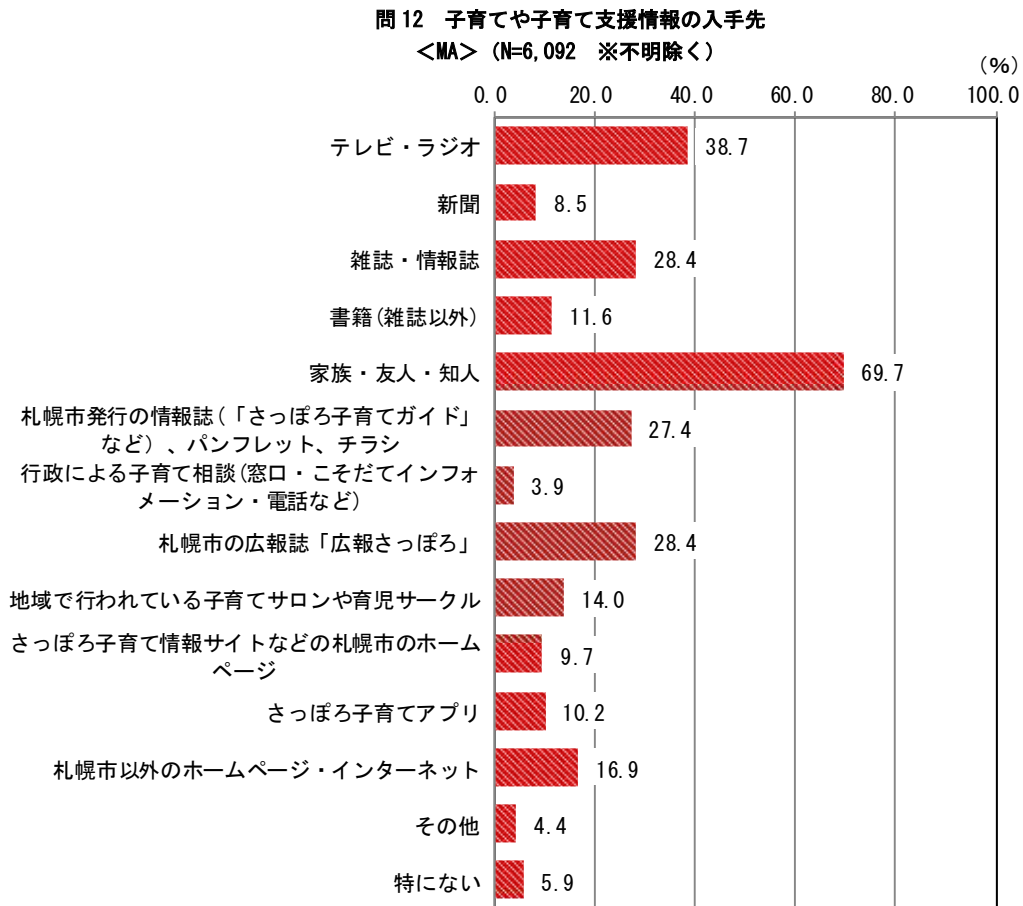
- 職場の人 (38)
- デイサービス・療育施設の関係者 (26)
- 助産院・助産師 (9)
- SNS・インターネット (6)
- 保育所の保育士・幼稚園の教諭・幼児教室の先生 (5) など

(クロス集計表) 問11 子育てについて気軽に相談できる相談先・各属性別<MA> (※不明除く)

	N	配偶者	親子 族 子どもの 祖父 母などの	友人 や知人	近所 の人	会館等)やN P O 法人	子育て 支援 施設 (児童 会館等)	保健所 ・保 健 セ ン タ ー	保育所 など の保 育 士	幼 稚 園 の 教 諭	民 生 委 員 ・ 児 童 委 員	か かり つ け の 医 師	窓 口 行 政 の 子 育 て 関 連 担 当	そ の 他	気 軽 に 相 談 で き る 先 は な い
全体	6,102	85.2	73.9	68.4	6.1	7.9	5.6	22.5	12.4	0.1	10.0	0.9	2.0	1.6	
問2 宛名児童の生年月日															
H30年4月以降	827	89.7	81.9	68.0	5.2	6.2	8.9	10.0	2.5	-	11.4	1.0	1.7	0.7	
H29年4～30年3月	1,225	87.5	78.3	70.5	4.2	10.9	8.1	20.0	3.2	0.1	11.4	1.5	1.7	1.5	
H28年4～29年3月	1,081	87.0	74.2	68.1	7.4	10.7	5.6	27.8	5.0	0.2	9.1	1.2	1.9	1.6	
H27年4～28年3月	949	84.0	72.5	66.5	6.3	8.0	4.3	28.2	12.1	0.1	8.7	0.3	3.3	2.2	
H26年4～27年3月	931	82.2	69.4	68.2	7.0	5.6	2.7	24.2	27.2	-	9.8	0.2	1.7	1.5	
H25年4～26年3月	788	82.7	67.3	67.9	6.6	4.1	3.6	23.9	26.9	0.3	9.1	0.6	2.0	2.2	
H24年4～25年3月	263	77.6	71.1	71.5	8.7	6.8	5.3	21.7	20.9	-	10.6	1.1	1.5	1.5	
問19 平日の定期的な教育・保育事業の利用有無															
利用している	3,502	82.8	69.8	67.3	5.9	4.9	3.6	36.2	18.0	0.1	10.1	0.7	2.0	2.1	
利用していない	2,573	88.5	79.4	69.9	6.5	12.0	8.4	3.8	4.8	0.1	9.8	1.0	2.1	1.0	
問19-1 定期的に利用している事業															
幼稚園(通常の就園時間の利用)	1,034	84.3	69.2	70.5	8.5	5.7	2.8	2.5	41.0	0.1	9.3	0.8	1.5	2.0	
幼稚園一時預かり(通常の就園時間を延長して預かる事業※定期的な利用のみ)	212	80.2	67.0	70.3	5.7	6.6	1.4	5.7	46.2	-	11.3	1.9	2.4	1.4	
認可保育所・公立保育所	1,401	81.4	69.5	63.6	3.0	2.5	3.1	57.9	1.4	0.1	9.6	0.4	2.5	2.3	
認定こども園	572	85.7	75.5	72.7	9.8	6.1	4.5	32.7	28.8	0.3	11.9	1.0	1.4	1.4	
家庭的保育事業(保育ママ)	6	66.7	66.7	50.0	16.7	-	16.7	83.3	16.7	-	-	-	-	-	
小規模保育事業	87	80.5	65.5	60.9	1.1	9.2	9.2	64.4	1.1	-	13.8	1.1	3.4	4.6	
事業所内保育事業(認可/認可外)	95	91.6	70.5	71.6	5.3	8.4	3.2	49.5	5.3	1.1	9.5	2.1	4.2	-	
認可外保育施設	140	77.1	65.7	69.3	5.7	7.9	3.6	49.3	5.7	-	8.6	1.4	1.4	2.1	
企業主導型保育事業	106	83.0	68.9	64.2	6.6	1.9	5.7	64.2	1.9	-	15.1	0.9	0.9	2.8	
居宅訪問型保育事業(ベビーシッター)	2	100.0	50.0	100.0	-	100.0	-	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	
さっぽろ子育てサポートセンター	20	85.0	70.0	55.0	-	50.0	25.0	30.0	5.0	-	15.0	10.0	10.0	-	
その他	93	68.8	57.0	57.0	3.2	26.9	8.6	18.3	20.4	-	23.7	1.1	8.6	1.1	

※色付きは各行について濃い順に1・2・3番めに高い値であることを示している。

○「問 12 子育てや子育て支援情報の入手先」として「家族・友人・知人」が最も多く 69.7%であった。以下「テレビ・ラジオ」(38.7%)、「札幌市の広報誌『広報さっぽろ』」(28.4%)、「雑誌・情報誌」(28.4%)、「札幌市発行の情報誌(『さっぽろ子育てガイド』など)、パンフレット、チラシ」(27.4%)がほぼ同率で続く。



札幌市以外のホームページ・インターネット

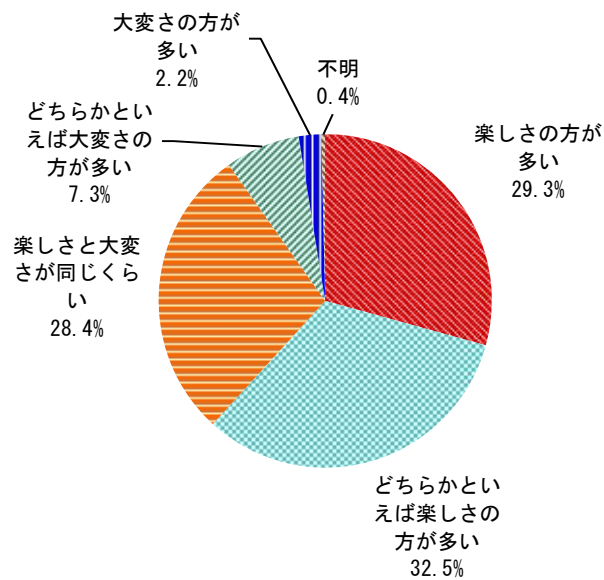
- 特定のサイトはない・都度検索する (174)
- ママリ (76)
- Twitter (40)
- イン스타그램 (37)
- SNS (34)
- ベネッセ・たまひよ・ウィメンズパーク (34)
- 子育て等のブログ (30)
- こそだてハック (16)
- スマホのアプリ (14)
- Facebook (13)
- ニュース・ニュースサイト・ニュースアプリ (10)
- Yahoo 知恵袋 (9)
- ママナビ (6) など

その他

- SNS (Twitter、Facebook、インスタグラム等) (57)
- インターネット・ネット検索 (48)
- 保育所・保育士 (42)
- 幼稚園・幼稚園教諭 (25)
- スマホのアプリ (22)
- 子育て等のブログ (9)
- 医療機関・医師・看護師 (8)
- 保健センター・保健師 (6)
- 児童会館・児童クラブ (5)
- こどもちゃれんじ (5) など

○「問13 子育てに楽しさと大変さ、どちらを感じる人が多いか」との設問について「楽しさの方が多い」「どちらかといえば楽しさの方が多い」と答えた人は計61.8%であった。一方、「どちらかといえば大変さの方が多い」「大変さの方が多い」と答えた人は計9.5%であった。

問13 子育てに楽しさと大変さ、どちらを感じる人が多いか
<SA> (N=6,116)



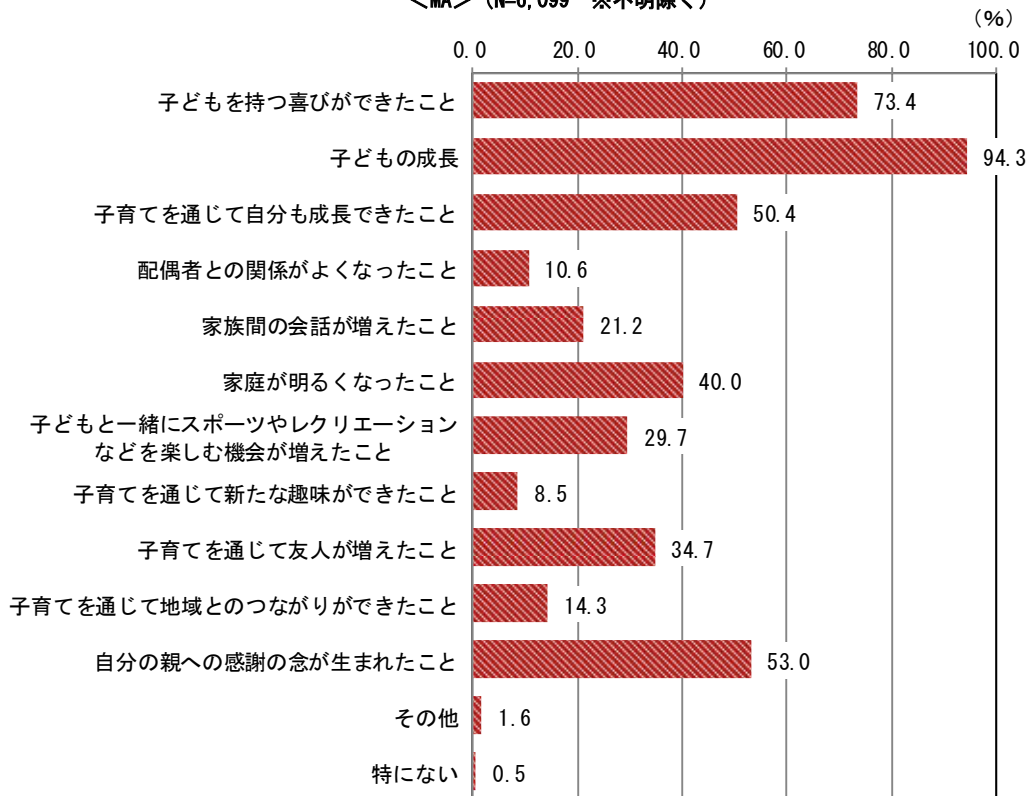
(クロス集計表) 問13 子育てに楽しさと大変さ、どちらを感じるが多いか・各属性別<SA>

	N	楽しさの方が 多い	さど ち ら か と い え ば 楽 し い	く 楽 し さ と 大 変 さ が 同 じ	さ ど ち ら か と い え ば 大 変	大 変 さ の 方 が 多 い	不 明
全体	6,116	29.3	32.5	28.4	7.3	2.2	0.4
問2 宛名児童の生年月日							
H30年4月以降	829	39.6	31.5	20.7	5.9	1.8	0.5
H29年4～30年3月	1,225	36.2	32.1	24.9	5.1	1.5	0.2
H28年4～29年3月	1,082	28.2	33.0	28.9	7.8	1.9	0.2
H27年4～28年3月	949	26.7	29.9	30.6	9.1	3.1	0.7
H26年4～27年3月	931	23.2	33.8	31.0	9.1	2.6	0.2
H25年4～26年3月	788	22.5	34.5	32.7	7.1	2.4	0.8
H24年4～25年3月	264	22.0	33.7	36.4	6.8	1.1	-
問4 世帯構成							
お子さん+ご両親(二世 代世帯)	5,469	29.2	32.5	28.8	7.1	2.0	0.4
お子さん+ご両親+祖父 母(三世代世帯)	335	33.1	34.9	22.1	7.2	2.4	0.3
お子さん+母/父親(ひと り親・二世代世帯)	195	25.1	26.7	28.7	12.3	6.2	1.0
お子さん+母/父親+祖父 母(ひとり親・三世代世帯)	98	32.7	32.7	25.5	8.2	1.0	-
問6 世帯年収							
200万円未満	218	29.4	26.1	30.3	9.2	3.2	1.8
200～300万円未満	419	26.5	28.6	32.5	9.5	2.4	0.5
300～400万円未満	828	27.8	33.9	27.5	8.3	1.8	0.6
400～500万円未満	1,032	26.8	34.2	29.2	7.3	2.0	0.5
500～700万円未満	1,674	29.8	32.9	28.6	6.3	2.2	0.1
700～1,000万円未満	1,061	32.5	33.8	26.0	5.8	1.5	0.3
1,000万円以上	423	35.0	30.0	22.9	8.5	3.3	0.2
わからない・答えたくない	347	25.6	31.1	31.1	9.5	2.3	0.3
問10 子どもをみてもらえる 親族・知人							
日常的に子どもの祖父母な どの親族にみてもらえる	1,444	38.0	32.8	22.6	5.1	1.0	0.6
緊急時もしくは用事の際に は子どもの祖父母などの親 族にみてもらえる	3,655	29.2	32.6	29.2	6.9	1.7	0.4
日常的に子どもをみてもら える友人・知人がいる	97	41.2	34.0	20.6	3.1	1.0	-
緊急時もしくは用事の際に は子どもをみてもらえる友 人・知人がいる	646	34.8	36.7	23.7	3.3	1.2	0.3
子どもをみてもらえる人 はいない	1,189	22.2	30.7	32.4	10.0	4.4	0.3
問17・18 (1) 世帯の就労状況							
共働き(フルタイム)	1,833	33.8	32.2	26.3	6.2	1.3	0.2
共働き(片方・両方がパート タイム)	1,222	27.7	32.6	29.4	7.4	2.5	0.4
片働き(専業主婦)	2,302	27.2	33.6	29.1	7.4	2.4	0.3
片働き(専業主夫)	20	20.0	35.0	30.0	10.0	5.0	-
就労していない	18	16.7	16.7	50.0	16.7	-	-
その他	283	28.3	28.6	27.2	11.0	4.6	0.4
問19 平日の定期的な教育・ 保育事業の利用有無							
利用している	3,509	26.0	32.8	30.3	8.0	2.5	0.4
利用していない	2,578	34.0	32.0	25.8	6.3	1.5	0.3

※色付きは各行について濃い順に1・2・3番めに高い値であることを示している。

○「問 14 子育てをされていてよかったこと、うれしかったこと」については「子どもの成長」を 94.3%の方が挙げた。以下「子どもを持つ喜びができたこと」(73.4%)、「自分の親への感謝の念が生まれたこと」(53.0%)が続く。

問 14 子育てをされていてよかったこと、うれしかったこと
 <MA> (N=6,099 ※不明除く)

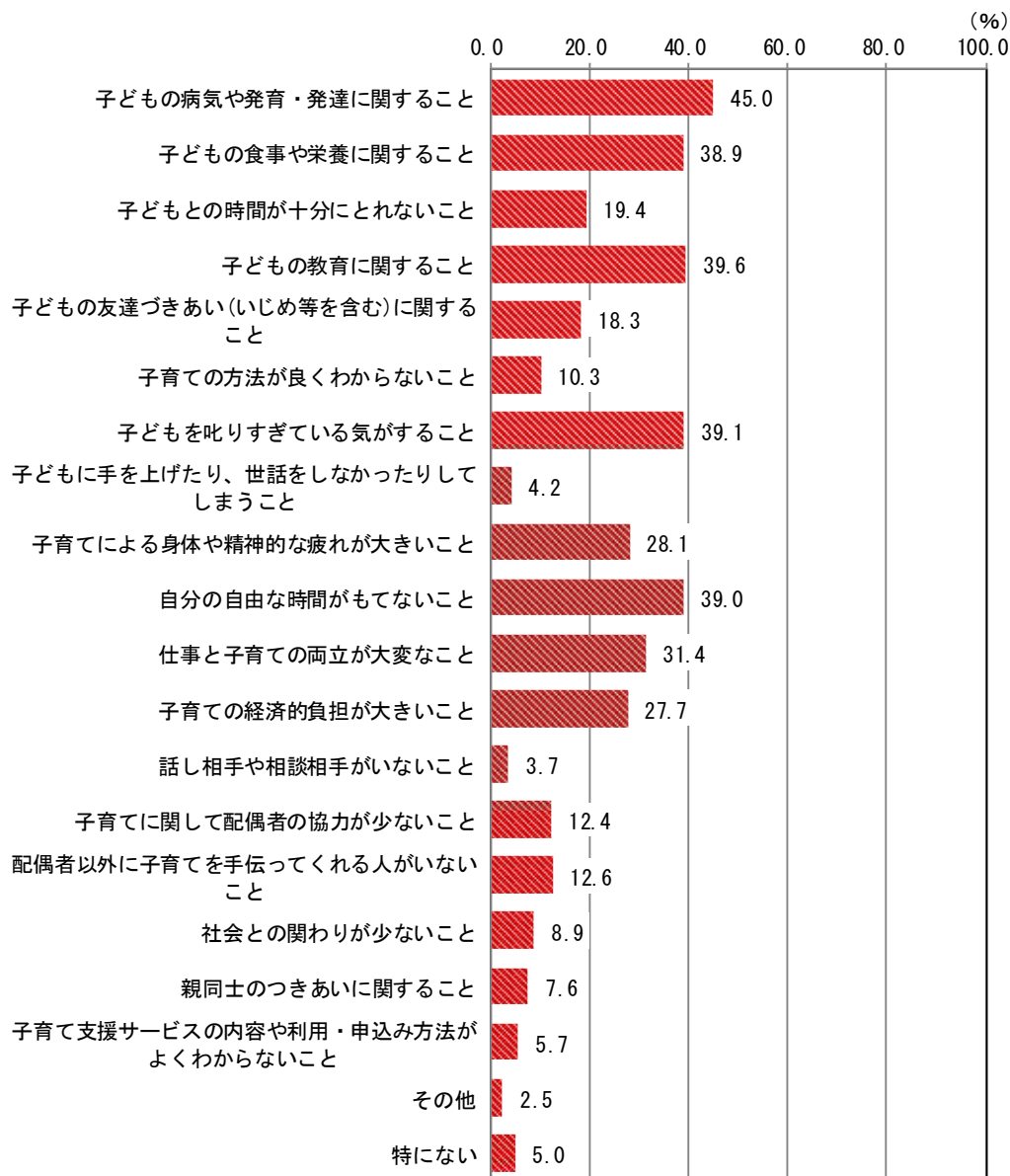


その他

- 子どもがかわいいこと (14)
- 子どもの祖父母・親戚が喜んでくれたこと (10)
- 子どもの祖父母・親戚と親しくなれたこと (8)
- 自分の視野・興味が広がったこと (8)
- 自分の必要性を感じられたこと (6)
- より幸せ・楽しさ・喜びを感じられるようになったこと (6)
- 仕事のやりがいが増えたこと (5) など

○「問 15 子育ての悩み」として、「子どもの病気や発育・発達に関すること」(45.0%)が最も多く挙げられた。以下「子どもの教育に関すること」(39.6%)、「子どもを叱りすぎている気がする」(39.1%)、「子どもの食事や栄養に関すること」(38.9%)がほぼ同率で多く挙げられている。

問 15 子育ての悩み<MA> (N=6,065 ※不明除く)



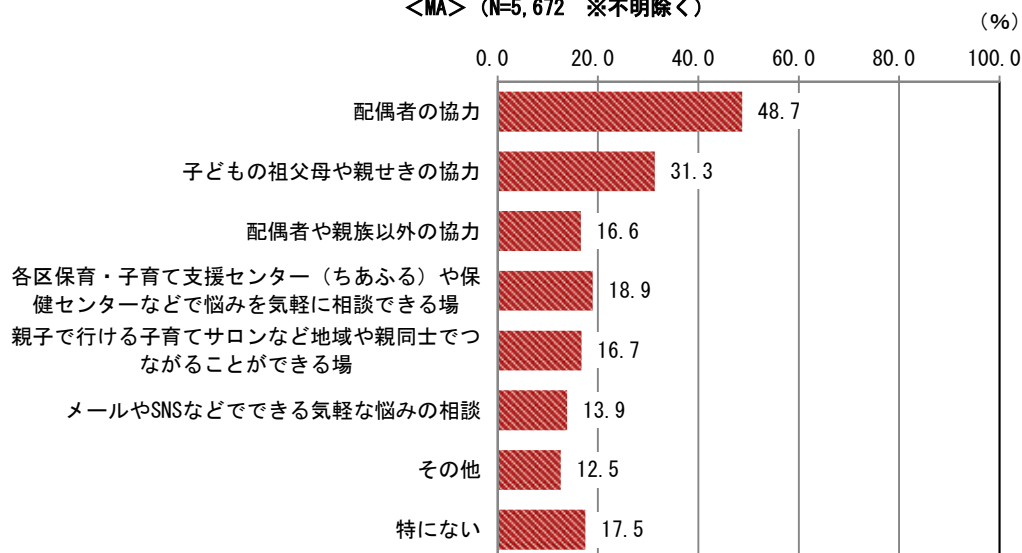
その他

- 希望する保育所・幼稚園等に入れないこと・入れるか不安なこと (15)
- 子どもが病気の際や緊急時の預け先がない・仕事を休まなければならない・休みにくいこと (7)
- 配偶者との子育て方針・意見の相違 (7)
- 子育てと仕事・家事のバランス (7)
- ストレス・イライラがたまること (6)
- 近くに子どもが遊べる場所・サロンがないこと (6)
- 経済的に余裕がないこと (5) など

○「問 16 悩みを軽減するためにあればよいと思うサポート」として「配偶者の協力」(48.7%)
が最も多く挙げられた。「子どもの祖父母や親せきの協力」(31.3%)が次ぐ。

問 16 悩みを軽減するためにあればよいと思うサポート

<MA> (N=5,672 ※不明除く)



その他

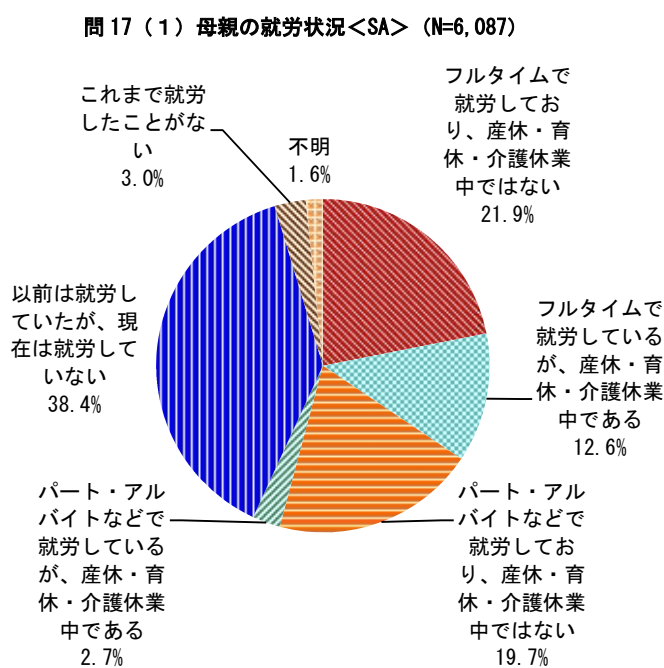
- 経済的な補助・負担軽減（保育費・医療費・教育費等）（172）
- 職場の理解・労働環境の改善・時短（106）
- 一時預かりが可能な施設・人数・情報の拡充等（54）
- 社会全体の子育てに関する理解・意識・制度の変化（41）
- 保育所等の拡充・保育士の増員・待機児童解消（40）
- 気軽に・安心して預けられる託児施設・サービスの整備（40）
- 無料・安価な託児施設・サービスの整備（23）
- 病児保育の拡充・利便性向上等（22）
- 子育てについて相談できる場・窓口の充実（22）
- 子どもの屋内等の遊び場整備（19）
- 親・子育て世帯同士が交流できる場等（13）
- 家事をサポートしてくれるサービスの拡充（7） など

C. 保護者の就労状況

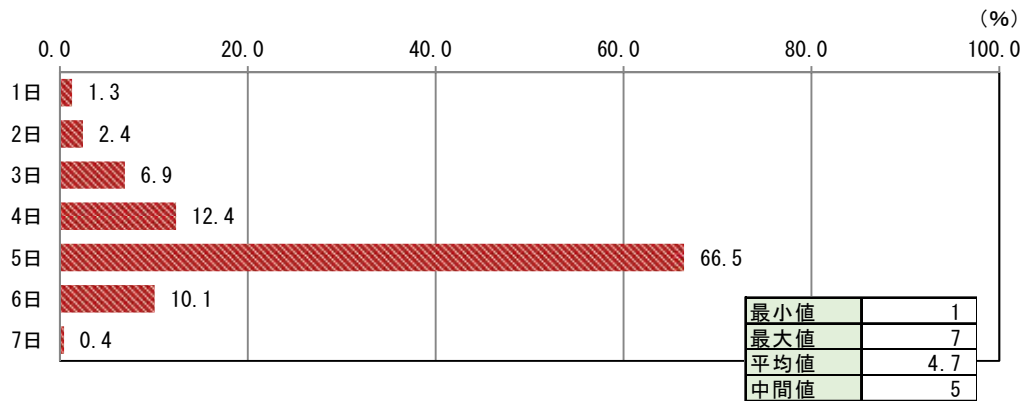
<母親>

○「問 17（1）母親の就労状況」を見ると就労している方（「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」）が計 56.9%であった。就労していない方（「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」）は 41.4%と約 4 割となっている。

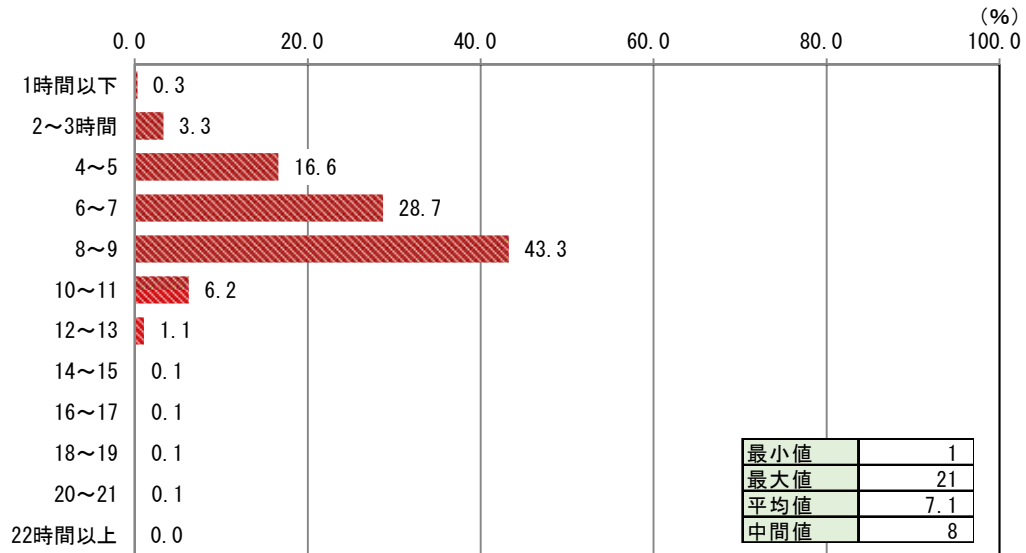
○就労している母親の「問 17（2）週あたりの就労日数」は平均 4.7 日、問 17（2）1 日あたりの就労時間」は平均 7.1 時間であった。1 ヶ月あたりの就労時間に換算すると、平均で 136.6 時間となる。



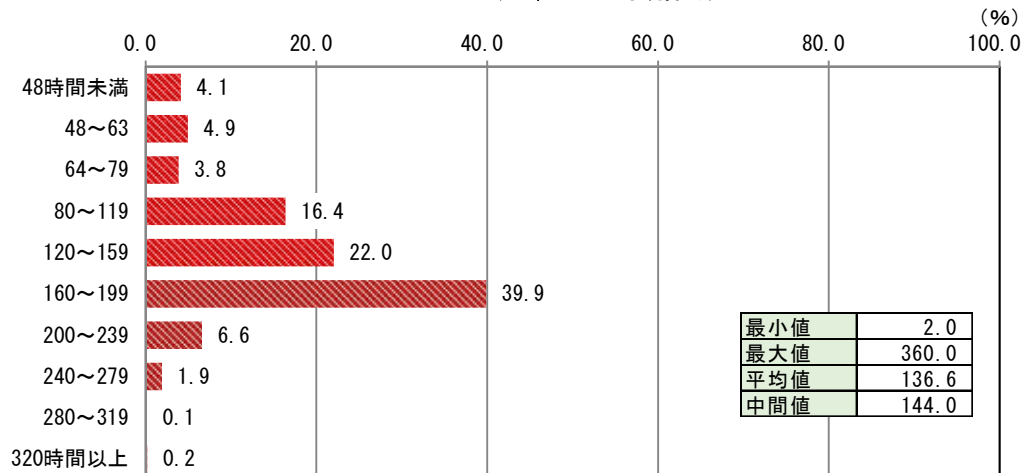
問 17 (2) 【就労者限定】母親の週あたりの就労日数
 <IN> (N=3,435 ※不明除く)



問 17 (2) 【就労者限定】母親の1日あたりの就労時間
 <IN> (N=3,399 ※不明除く)

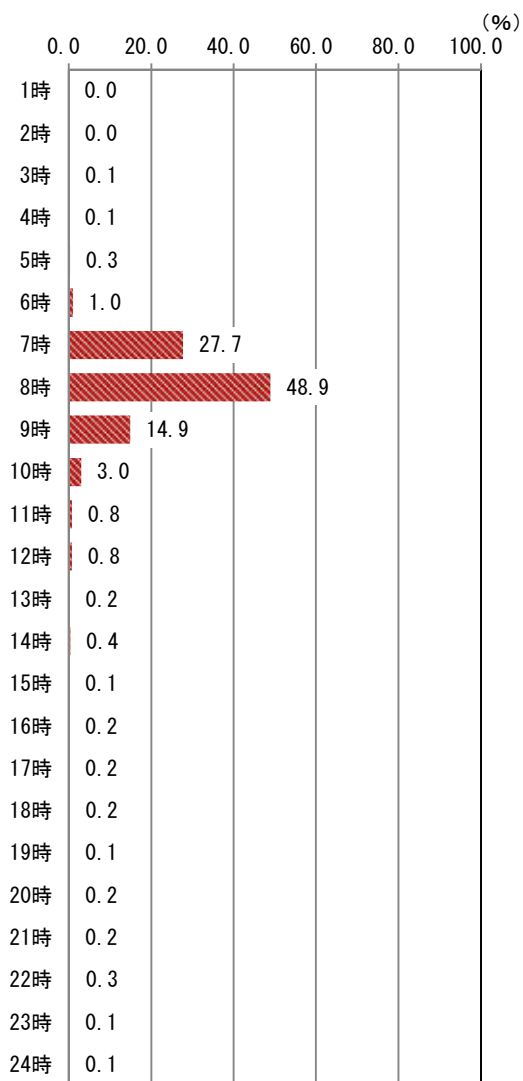


問 17 (2) 【就労者限定】母親の1ヶ月あたりの就労時間
 <IN> (N=3,384 ※不明除く)

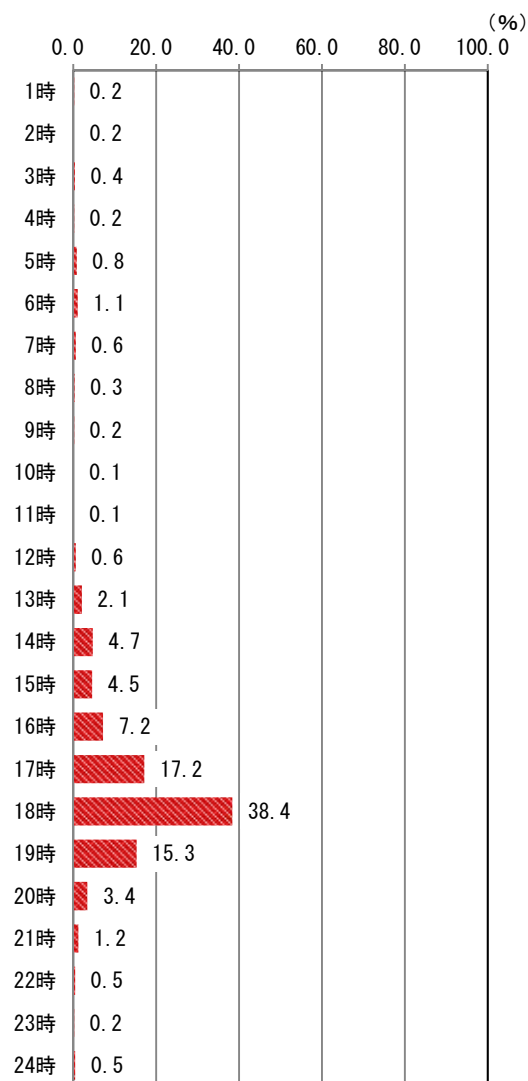


○就労している母親の「問 17（3）家を出る時刻」は「8 時」（48.9%）が最も多く、「問 17（3）帰宅時刻」は18時（38.4%）が最も多くなっている。

問 17（3）【就労者限定】母親の家を出る時刻
<IN> (N=3,411 ※不明除く)

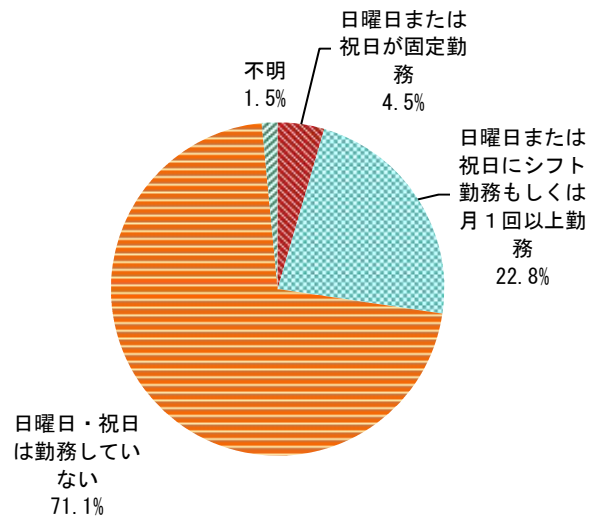


問 17（3）【就労者限定】母親の帰宅時刻
<IN> (N=3,407 ※不明除く)



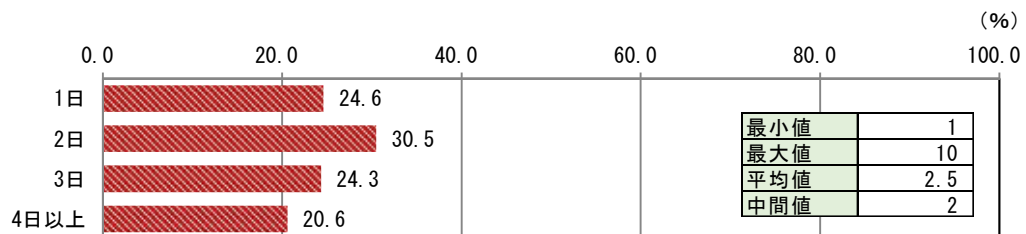
○就労している母親の「問 17（4）日曜・祝日の就労状況」であるが、「日曜日・祝日は勤務していない」が最も多く 71.1%であった。「日曜日または祝日が固定勤務」「日曜日または祝日にシフト勤務もしくは月 1 回以上勤務」の方は計 27.3%であった。

問 17（4）【就労者限定】母親の日曜・祝日の就労状況<SA> (N=3, 462)



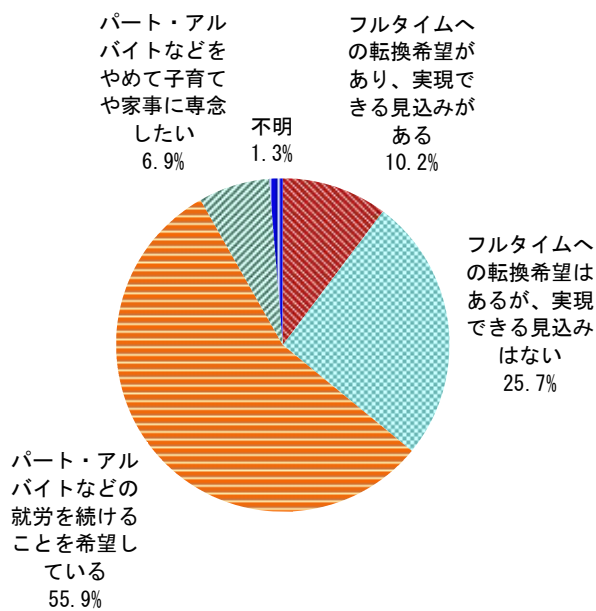
問 17（4）【日曜・祝日にシフト勤務もしくは月 1 回以上勤務者限定】

母親の日曜・祝日の月平均勤務日数<SA> (N=748 ※不明除く)

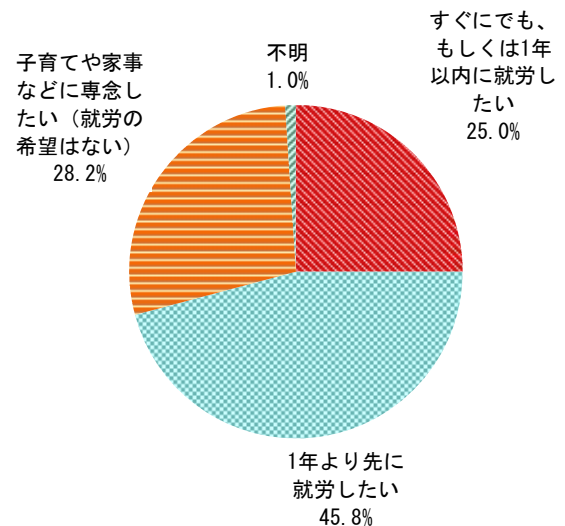


- 「問 17（5）母親のフルタイムへの転換希望・見込み」については、パート・アルバイトの方の 55.9%が「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望している」と回答した。フルタイムへの転換希望者（「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」）は計 35.9%であった。
- 未就労の母親について「問 17（6）就労希望の有無」を聞いたところ「1年より先に就労したい」方が最も多く 45.8%であった。「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」方は 25.0%であった。以上、就労の希望がある人は計 70.8%であった。

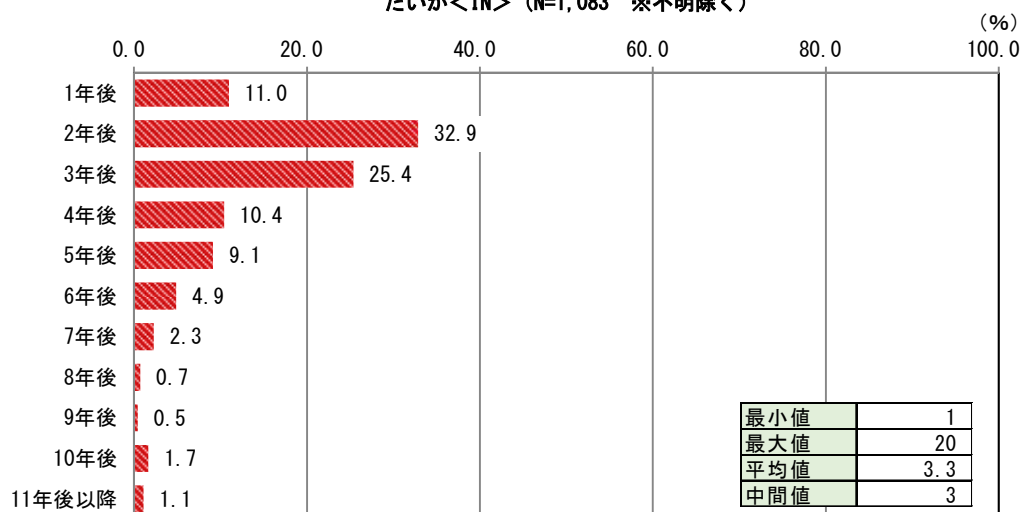
問 17（5）【パート・アルバイトの方限定】
母親のフルタイムへの転換希望・見込み
<SA> (N=1,366)



問 17（6）【未就労者限定】母親の就労希望の有無
<SA> (N=2,525)



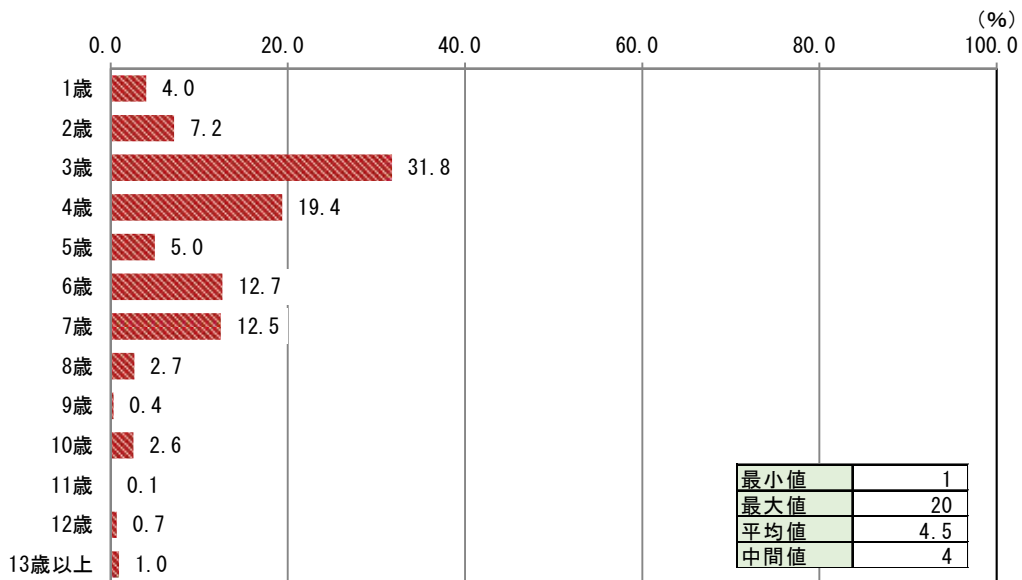
問 17（7）【1年より先に就労したい方限定】母親は何年後に就労したいか<IN> (N=1,083 ※不明除く)



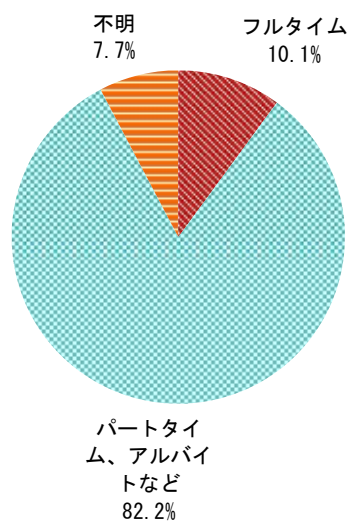
○1年より先に就労を希望する母親に「問17(7)一番下の子が何歳になったら就労したいか」を聞いたところ、最も多かったのは「3歳」(31.8%)であった。子が幼稚園に入る「3歳」「4歳」に1つの山があり、小学校に入る「6歳」「7歳」にもう一つの山ができていくことがわかる。

○未就労かつ就労を希望する母親に「問17(8)希望する就労形態」を聞いたところ、82.2%が「パートタイム、アルバイトなど」を挙げた。

問17(7) 【1年より先に就労したい方限定】
母親が一番下の子が何歳になったら就労したいか<IN> (N=1,114 ※不明除く)



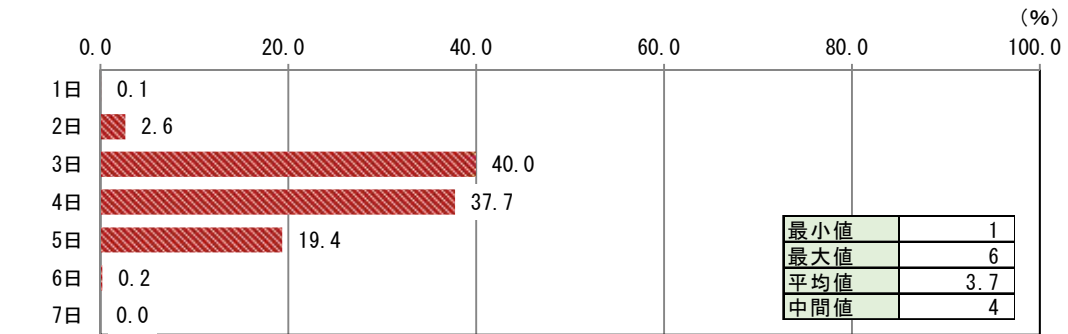
問17(8) 【未就労かつ就労希望者限定】
母親が希望する就労形態<SA> (N=1,788)



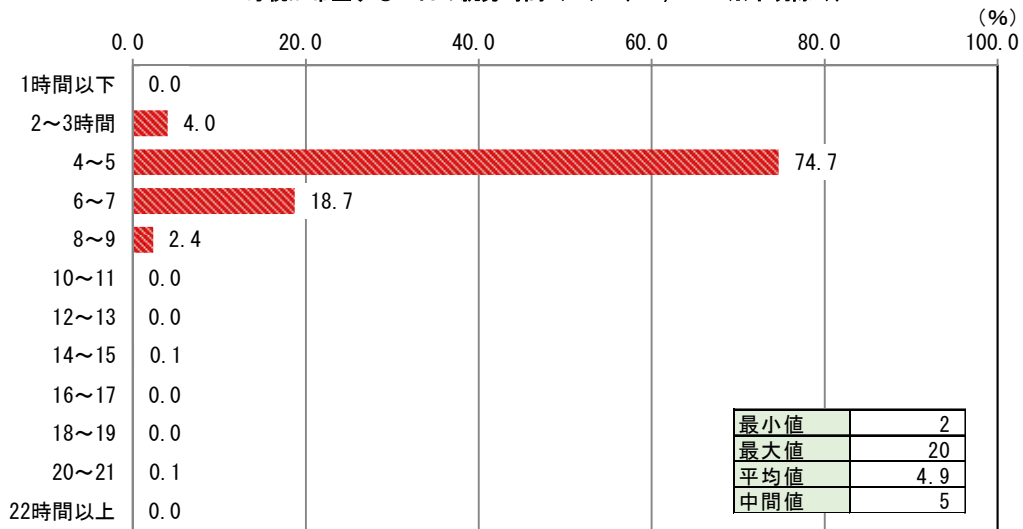
○未就労かつ就労を希望する母親に「問 17（8）希望する週の就労日数」を聞いたところ、平均値は 3.7 日であった。

○「問 17（8）希望する 1 日の就労時間」の平均値は 4.9 時間であった。

問 17（8）【未就労かつ就労希望者限定】
母親が希望する週の就労日数<IN>（N=1,436 ※不明除く）



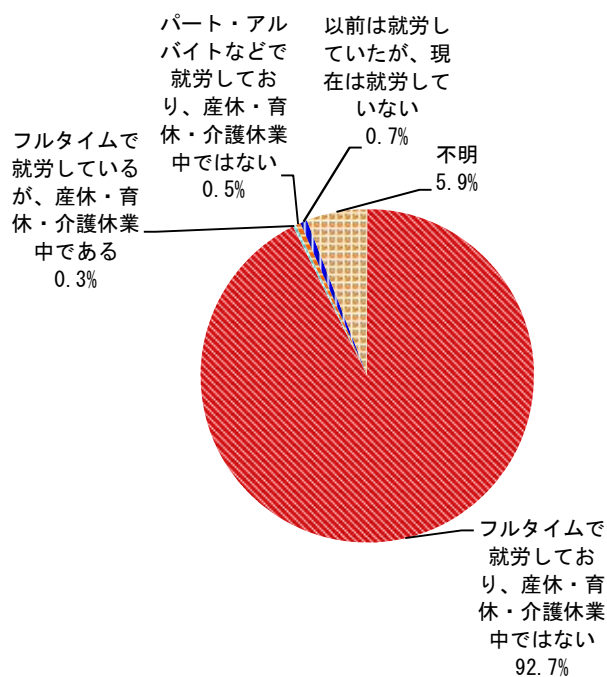
問 17（8）【未就労かつ就労希望者限定】
母親が希望する 1 日の就労時間<IN>（N=1,443 ※不明除く）



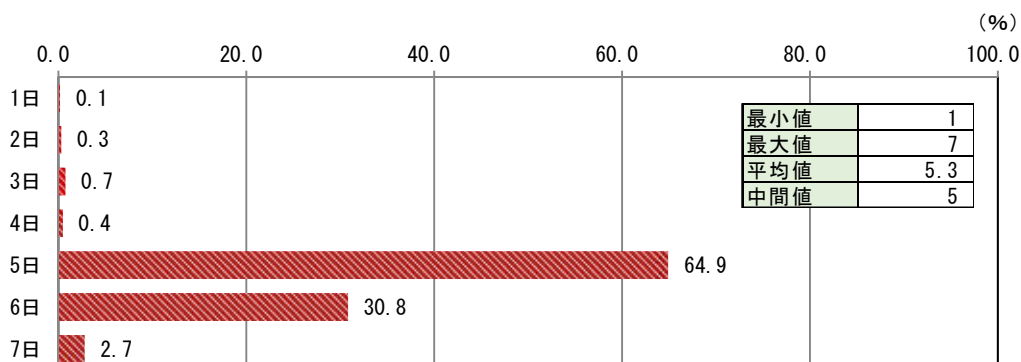
<父親>

- 「問 18（1）父親の就労状況」を見ると、ほとんどの方が「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（92.7%）と回答した。
- 就労している父親の「問 18（2）週あたりの就労日数」は平均 5.3 日、問 18（2）1 日あたりの就労時間」は平均 10.2 時間であった。1 ヶ月あたりの就労時間に換算すると、平均で 217.7 時間となる。

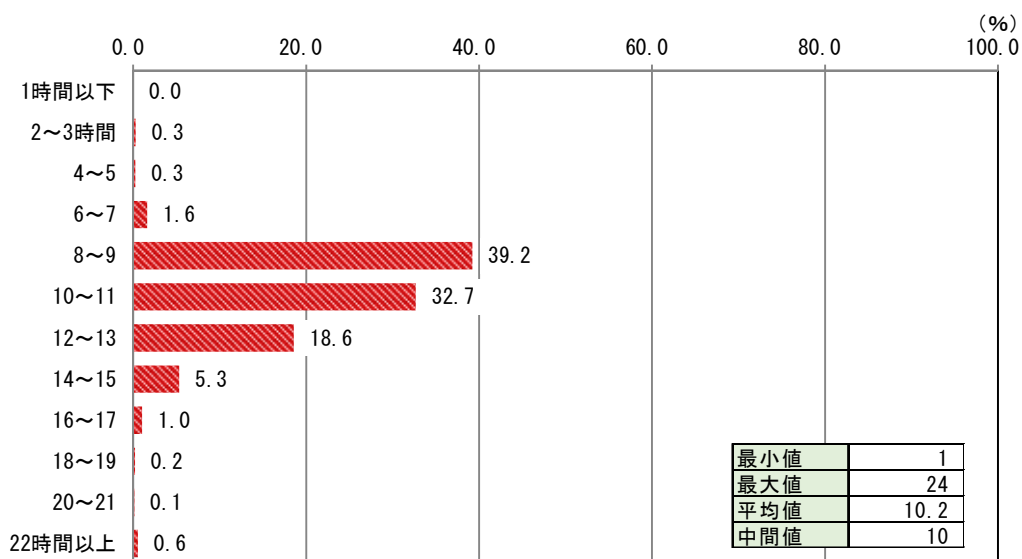
問 18（1）父親の就労状況<SA>（N=5,814）



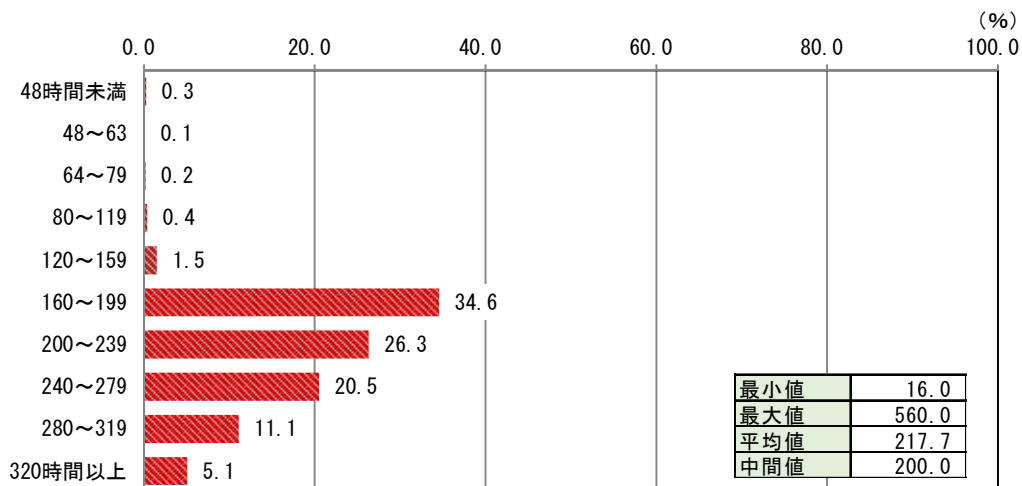
問 18（2）【就労者限定】父親の週あたりの就労日数
<IN>（N=5,387 ※不明除く）



問 18 (2) 【就労者限定】父親の1日あたりの就労時間
 <IN> (N=5, 295 ※不明除く)

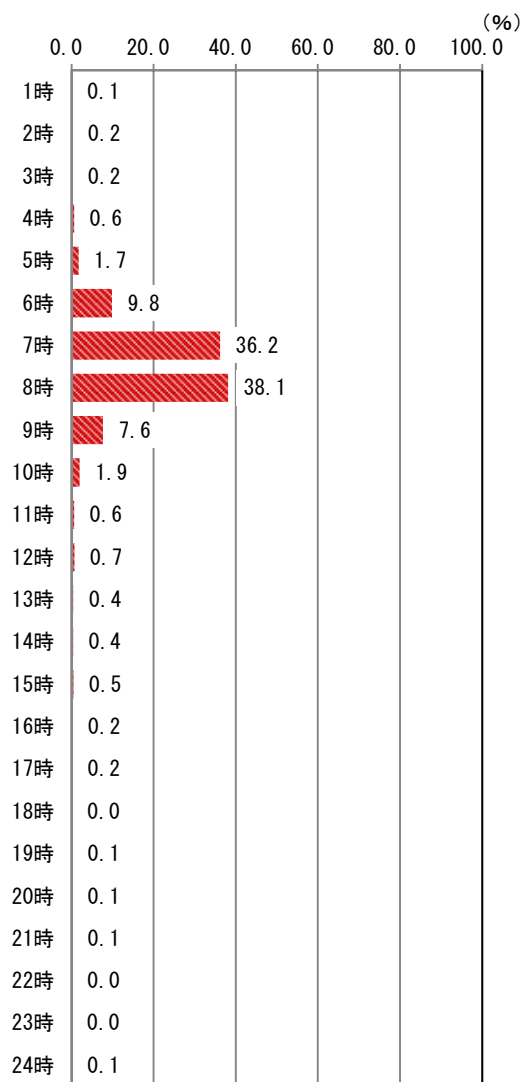


問 18 (2) 【就労者限定】父親の1ヶ月あたりの就労時間
 <IN> (N=5, 283 ※不明除く)

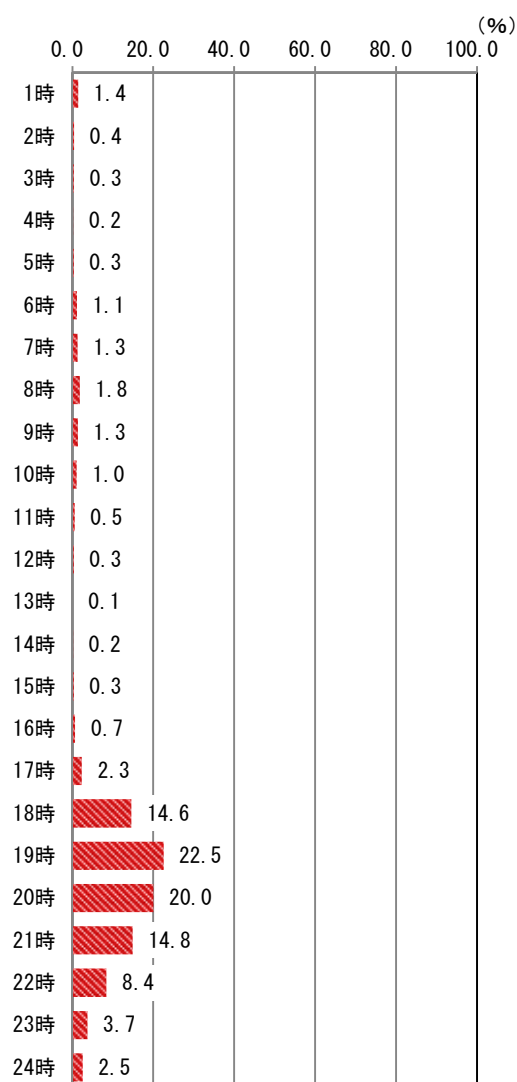


○就労している父親の「問 18（3）家を出る時刻」は「8時」（38.1%）が最も多く、僅差で「7時」（36.2%）が次ぐ。「問 17（3）帰宅時刻」は「19時」（22.5%）が最も多く、「20時」（20.0%）が次ぐ。

問 18（3）【就労者限定】父親の家を出る時刻
<IN> (N=5,390 ※不明除く)

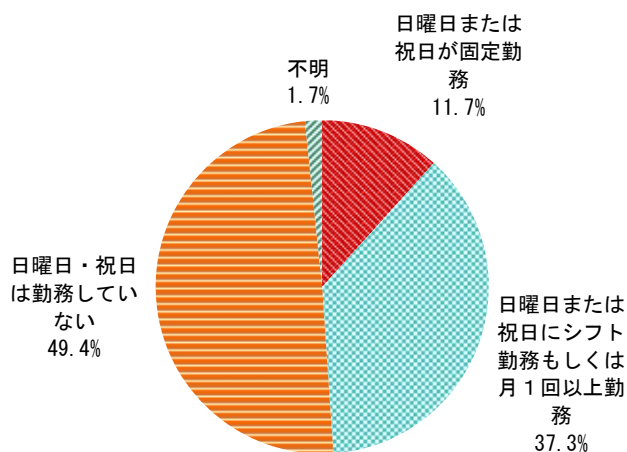


問 18（3）【就労者限定】父親の帰宅時刻
<IN> (N=5,383 ※不明除く)

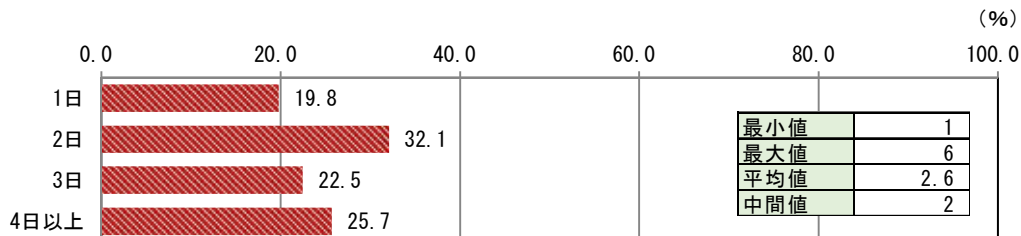


○就労している父親の「問 18（4）日曜・祝日の就労状況」であるが、「日曜日または祝日が固定勤務」「日曜日または祝日にシフト勤務もしくは月 1 回以上勤務」の方が計 49.0%であった。

問 18（4）【就労者限定】父親の日曜・祝日の就労状況<SA> (N=5, 433)



問 18（4）【日曜・祝日にシフト勤務もしくは月 1 回以上勤務者限定】
父親の日曜・祝日の月平均勤務日数<SA> (N=1, 852 ※不明除く)

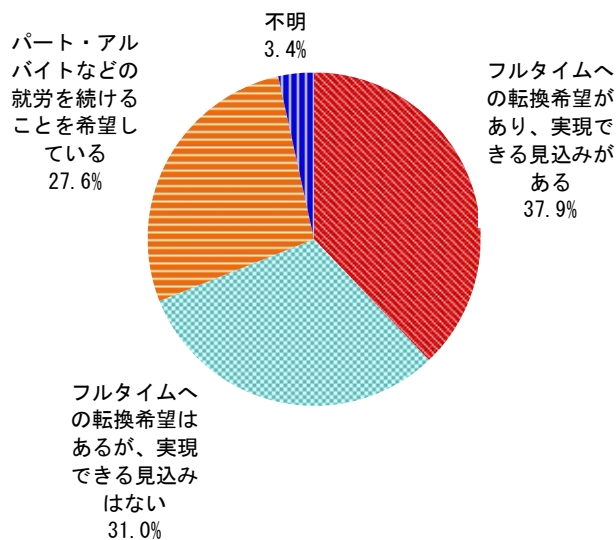


○先述の「問 18（1）父親の就労状況」から、フルタイム勤務以外の方（「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「以前は就労していたが、現在は就労していない」）は計 1.2%とわずかである。

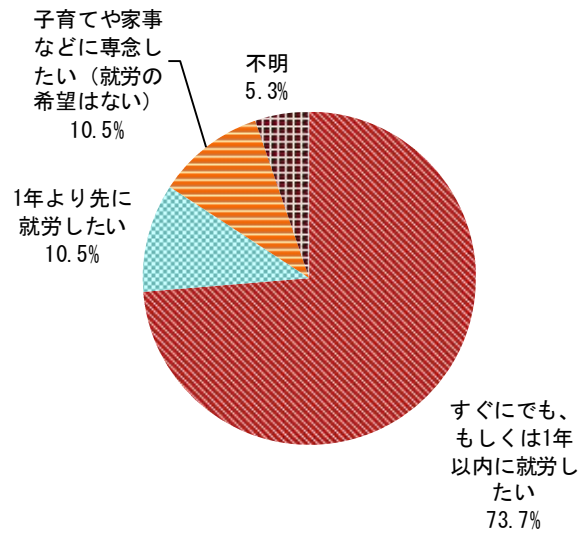
○「問 18（5）父親のフルタイムへの転換希望・見込み」について、パート・アルバイトの方でフルタイムへの転換希望（「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」）がある方は計 68.9%であった。一方、「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望している」方は 27.6%であった。

○未就労の父親について「問 18（6）就労希望の有無」を聞いたところ「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」方が最も多く 73.7%であった。「1 年より先に就労したい」方は 10.5%であった。以上、就労の希望がある人は計 84.2%であった。

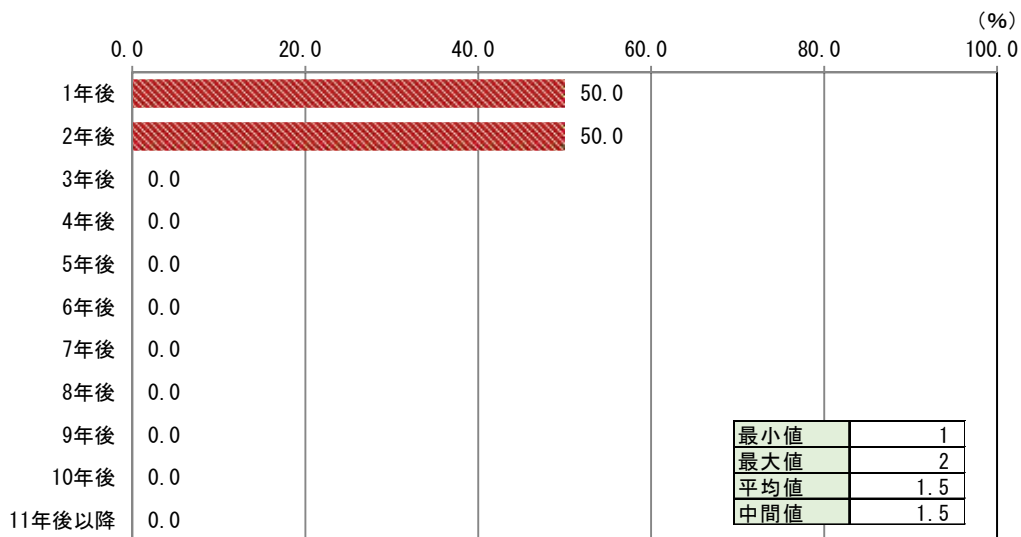
問 18（5）【パート・アルバイトの方限定】
父親のフルタイムへの転換希望・見込み
<SA> (N=29)



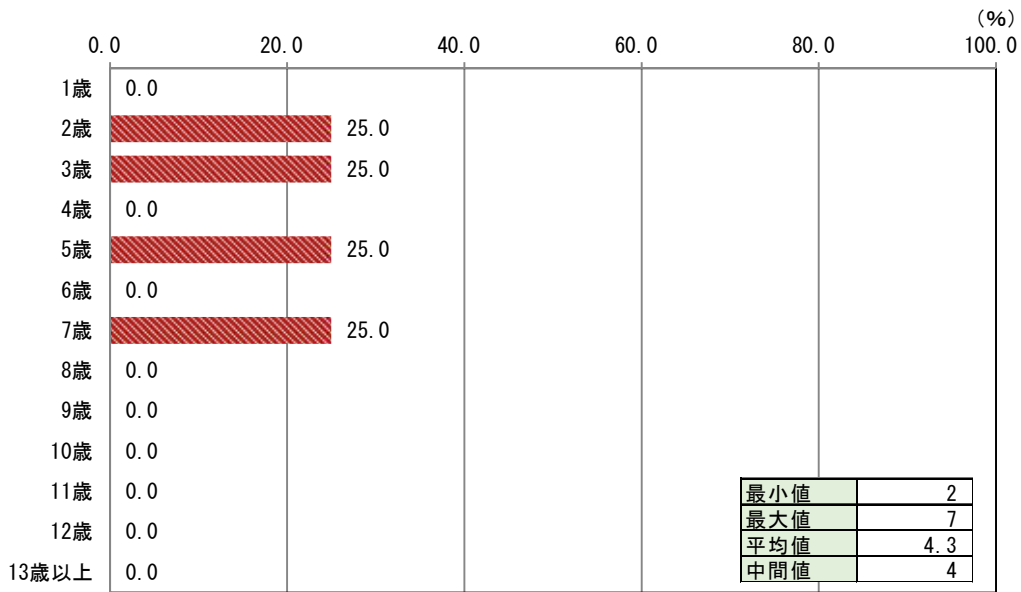
問 18（6）【未就労者限定】父親の就労希望の有無
<SA> (N=38)



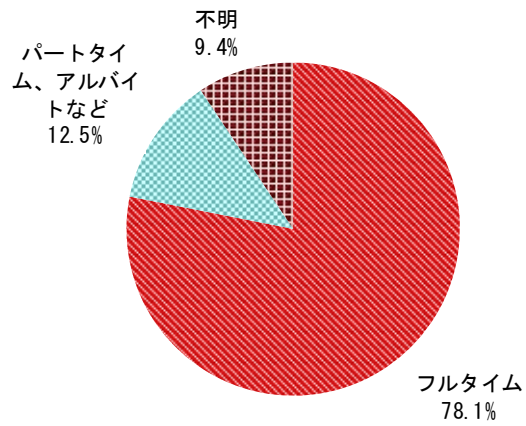
問 18（7）【1 年より先に就労したい方限定】
父親は何年後に就労したいか<IN> (N=4 ※不明除く)



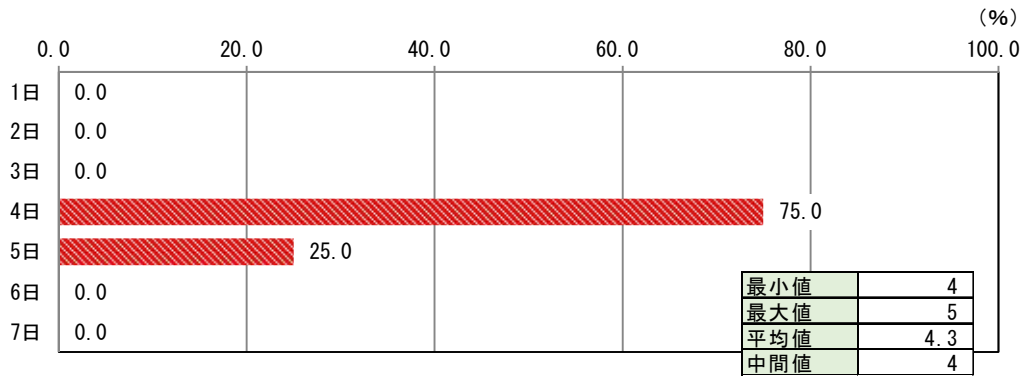
問 18 (7) 【1年より先に就労したい方限定】
 父親が一番下の子が何歳になったら就労したいか<IN> (N=4 ※不明除く)



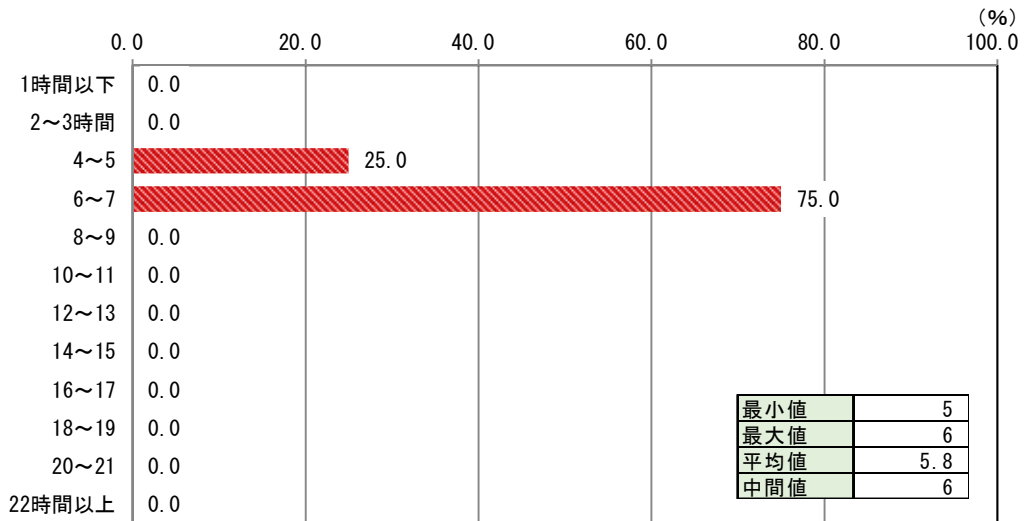
問 18 (8) 【未就労かつ就労希望者限定】父親が希望する就労形態
 <SA> (N=32)



問 18 (8) 【未就労かつ就労希望者限定】
 父親が希望する週の就労日数<IN> (N=4 ※不明除く)



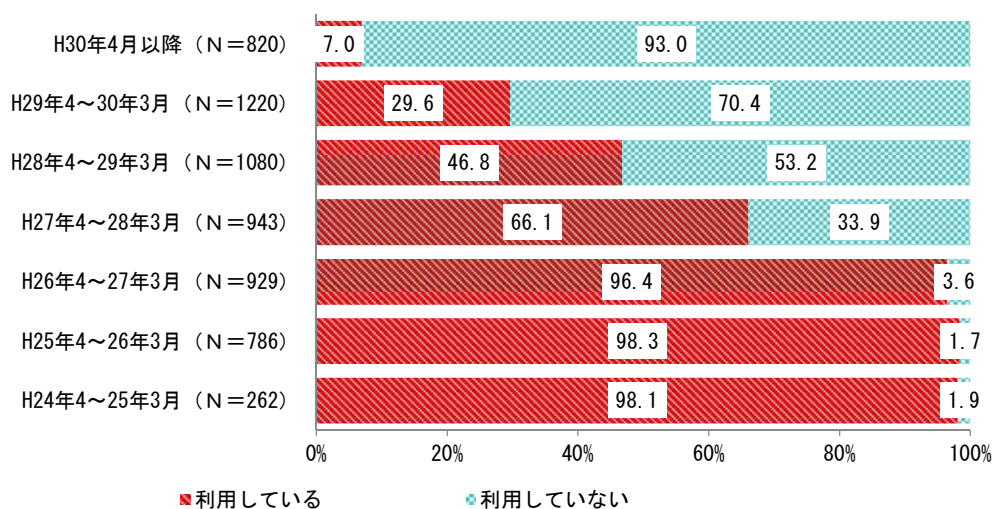
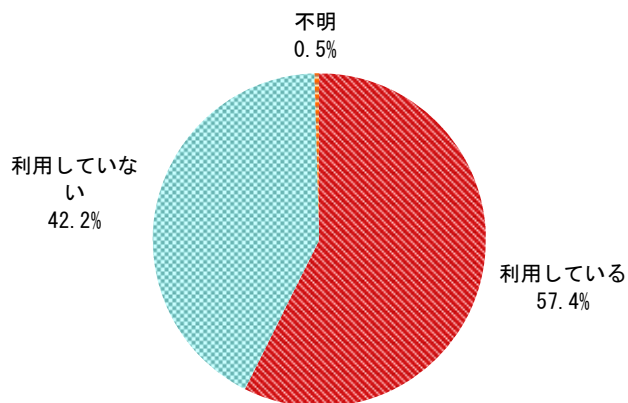
問 18 (8) 【未就労かつ就労希望者限定】父親が希望する1日の就
 労時間<IN> (N=4 ※不明除く)



D. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

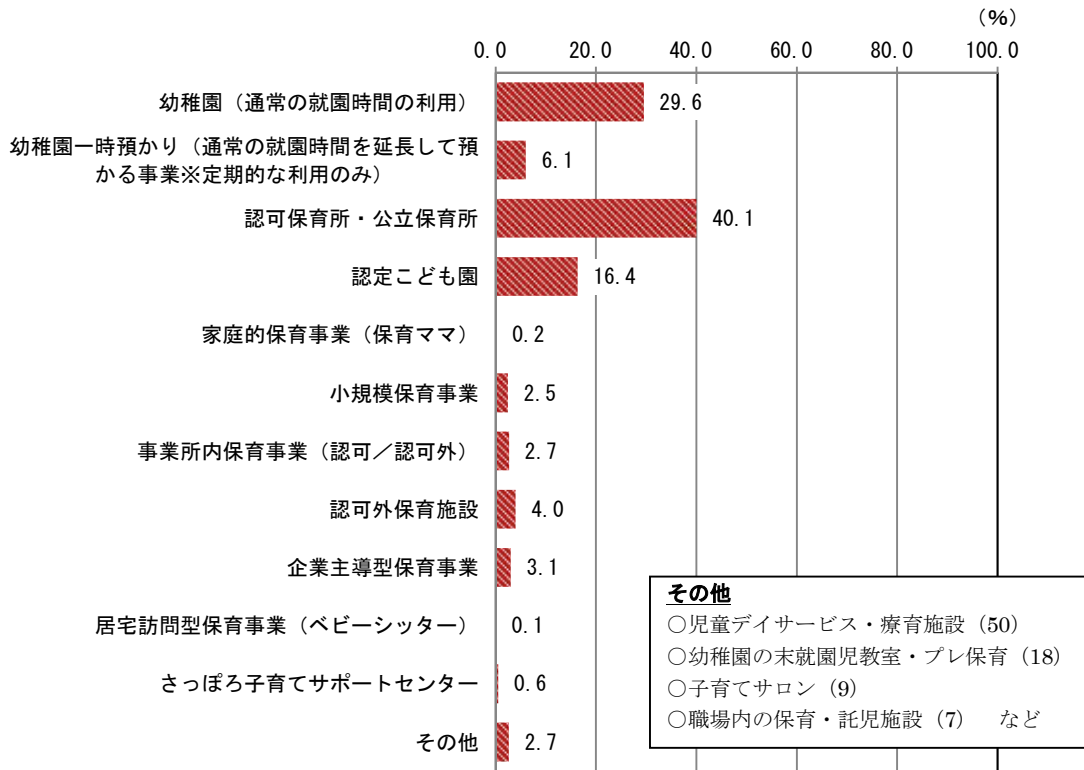
○「問 19 平日の定期的な教育・保育事業の利用有無」を聞いたところ 57.4%が「利用している」と回答した。

問 19 平日の定期的な教育・保育事業の利用有無<SA> (N=6,116)



○「問 19-1 定期的に利用している事業」としては「認可保育所・公立保育所」が最も多く(40.1%)、「幼稚園」(29.6%)が次ぐ。

問 19-1 【教育・保育事業利用者限定】定期的に利用している事業
<MA> (N=3,502 ※不明除く)



(クロス集計表) 問 19-1 定期的に利用している事業・各属性別<MA> (※不明除く)

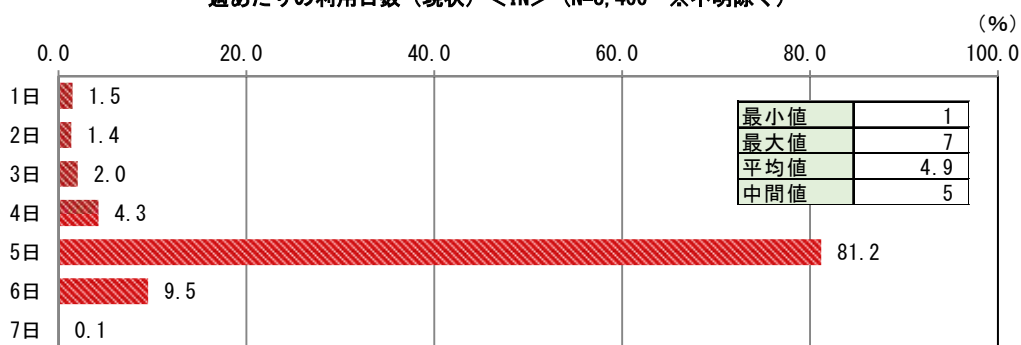
	N	幼稚園 (通常の就園時間)	幼稚園一時預かり (通常の就園時間を延長して預かる事業)	認可保育所・公立保育所	認定こども園	家庭的保育事業 (保育ママ)	小規模保育事業	事業所内保育事業 (認可/認可外)	認可外保育施設	企業主導型保育事業	居宅訪問型保育事業 (ベビーシッター)	さっぽろ子育てサポートセンター	その他
全体	3,502	29.6	6.1	40.1	16.4	0.2	2.5	2.7	4.0	3.1	0.1	0.6	2.7
問 4 世帯構成													
お子さん+ご両親 (二世帯世帯)	3,076	30.4	6.0	39.1	16.5	0.2	2.6	2.9	3.8	3.0	0.1	0.6	2.6
お子さん+ご両親+祖父母 (三世帯世帯)	187	35.3	8.0	36.9	15.5	-	2.1	3.2	4.3	2.7	-	-	2.1
お子さん+母/父親 (ひとり親・二世帯世帯)	160	11.2	5.0	56.9	13.8	0.6	0.6	0.6	7.5	5.0	-	0.6	5.6
お子さん+母/父親+祖父母 (ひとり親・三世帯世帯)	67	19.4	4.5	56.7	17.9	-	1.5	-	4.5	-	-	-	1.5
お子さん+祖父母		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
問 17・18 (1) 世帯の就労状況													
共働き (フルタイム)	1,280	6.2	3.2	63.5	15.5	0.1	2.2	4.8	4.4	3.7	0.1	0.6	0.5
共働き (片方・両方がパートタイム)	991	28.9	12.4	37.4	16.1	0.4	4.2	2.7	4.6	4.0	0.1	0.1	2.2
片働き (専業主婦)	764	72.8	3.4	1.2	18.7	-	0.8	0.1	1.8	0.7	-	0.9	5.8
片働き (専業主夫)	14	14.3	7.1	50.0	14.3	-	7.1	-	-	7.1	-	-	-
就労していない	6	50.0	16.7	16.7	16.7	-	-	-	-	-	-	-	16.7
その他	220	12.3	4.5	57.3	15.5	0.5	0.9	0.5	6.8	3.6	-	-	3.6

※色付きは各行について濃い順に1・2・3番めに高い値であることを示している。

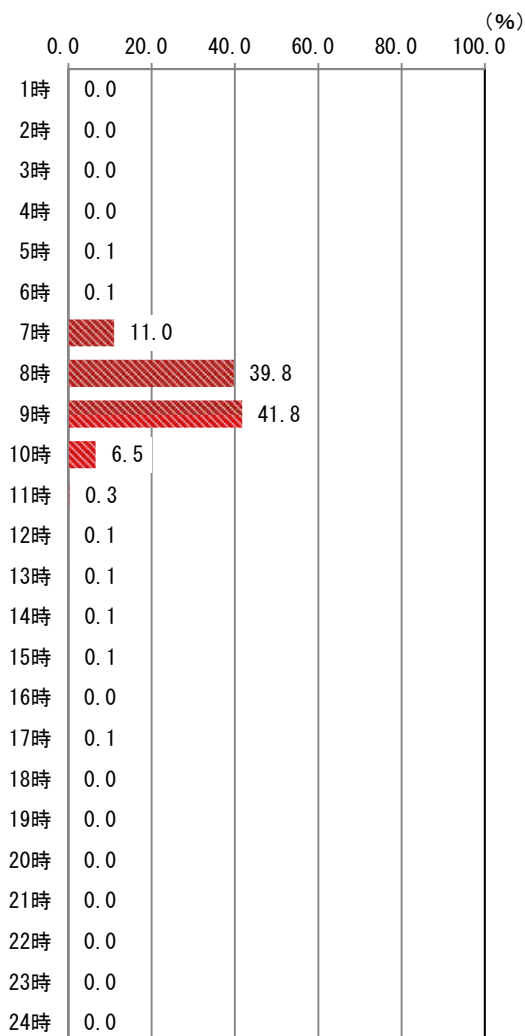
○「問 19-2 (1) 週あたりの利用日数 (現状)」としては「5 日」が最も多い (81.2%)。平均値は 4.9 日であった。

○「問 19-2 (1) 利用開始時刻 (現状)」は「9 時」(41.8%)、「8 時」(39.8%)、「問 19-2 (1) 利用終了時刻 (現状)」は「18 時」(26.8%)、「17 時」(19.6%) に次ぎ、「14 時」(18.9%) が続くという、2 つの山ができていている形となっている。保育所と幼稚園の利用時刻が反映されていると考えられる。

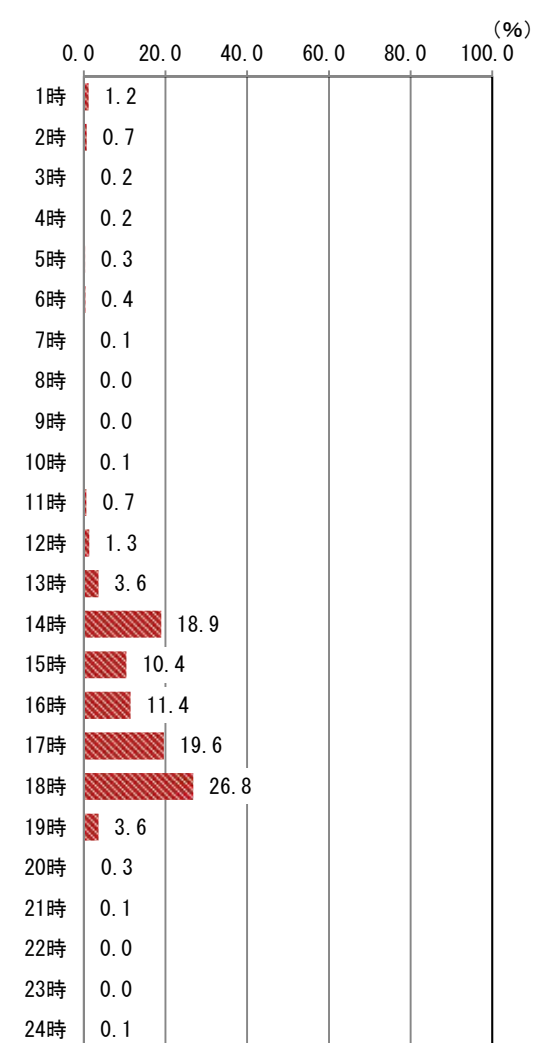
問 19-2 (1) 【教育・保育事業利用者限定】
週あたりの利用日数 (現状) <IN> (N=3,466 ※不明除く)



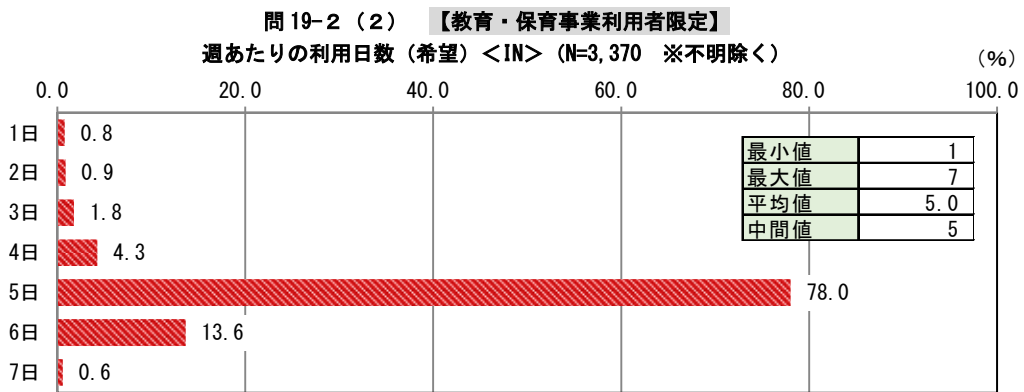
問 19-2 (1) 【教育・保育事業利用者限定】
利用開始時刻 (現状) <IN> (N=3,476 ※不明除く)



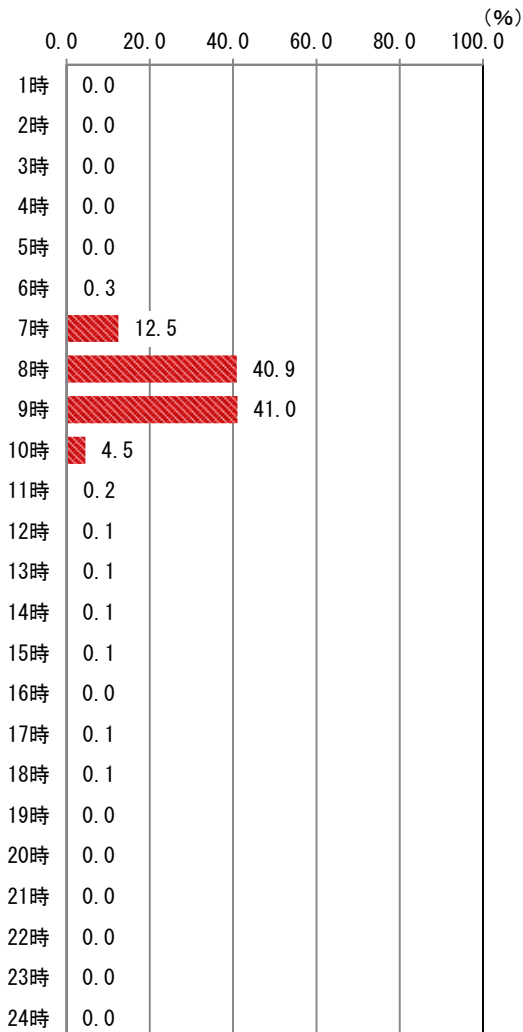
問 19-2 (1) 【教育・保育事業利用者限定】
利用終了時刻 (現状) <IN> (N=3,478 ※不明除く)



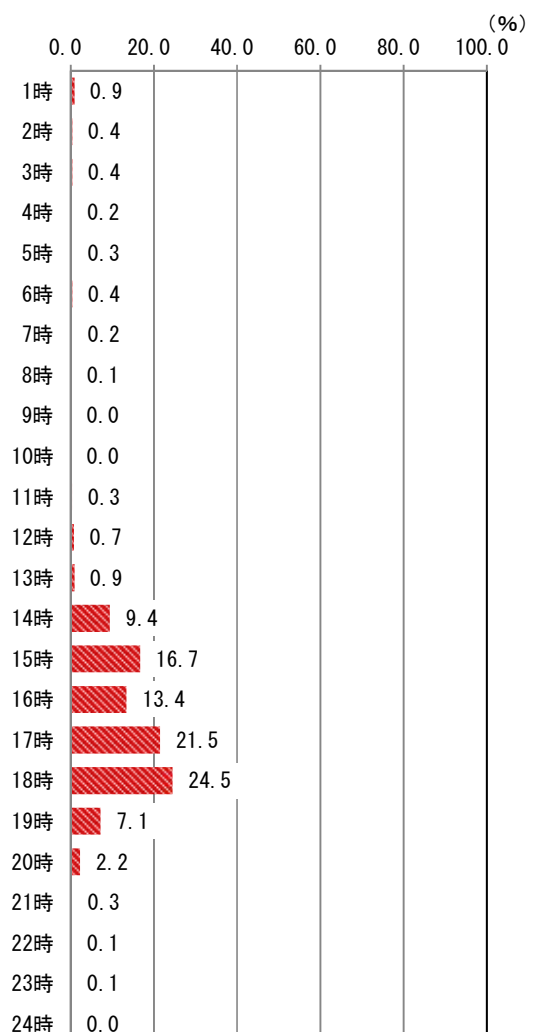
- 「問 19-2 (2) 週あたりの利用日数 (希望)」は「現状」と同様、「5 日」が最も多かった (78.0%)。
- 「問 19-2 (2) 利用開始時刻 (希望)」も「現状」と同様、「9 時」(41.0%)、「8 時」(40.9%) が多くなっている。
- 「問 19-2 (2) 利用終了時刻 (希望)」についても「現状」と同様、「18 時」(24.5%) 「17 時」(21.5%) 「15 時」(16.7%) の順となっている。



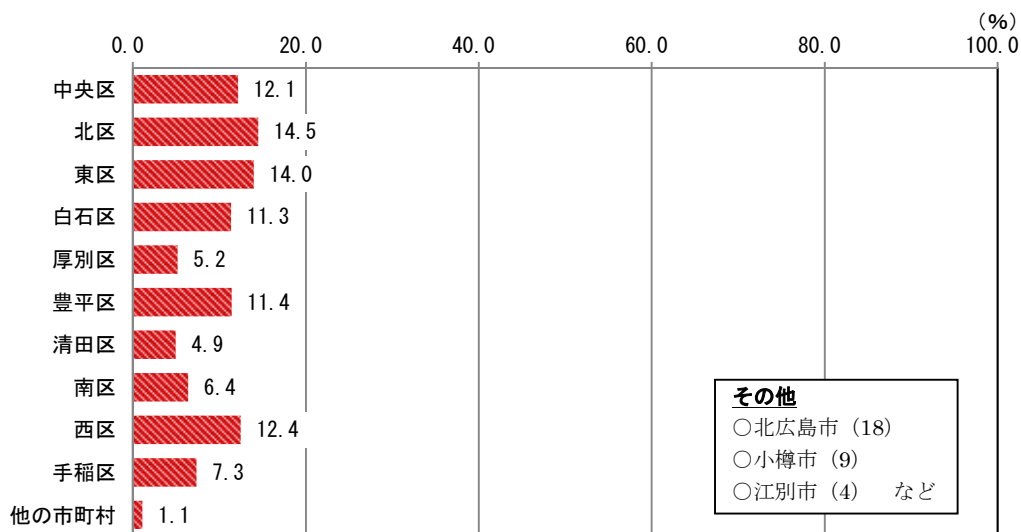
問 19-2 (2) 【教育・保育事業利用者限定】
利用開始時刻数 (希望) <IN> (N=3,380 ※不明除く) (%)



問 19-2 (2) 【教育・保育事業利用者限定】
利用終了時刻数 (希望) <IN> (N=3,378 ※不明除く) (%)



問 19-3 【教育・保育事業利用者限定】
教育・保育事業の実施場所<MA> (N=3,487 ※不明除く)



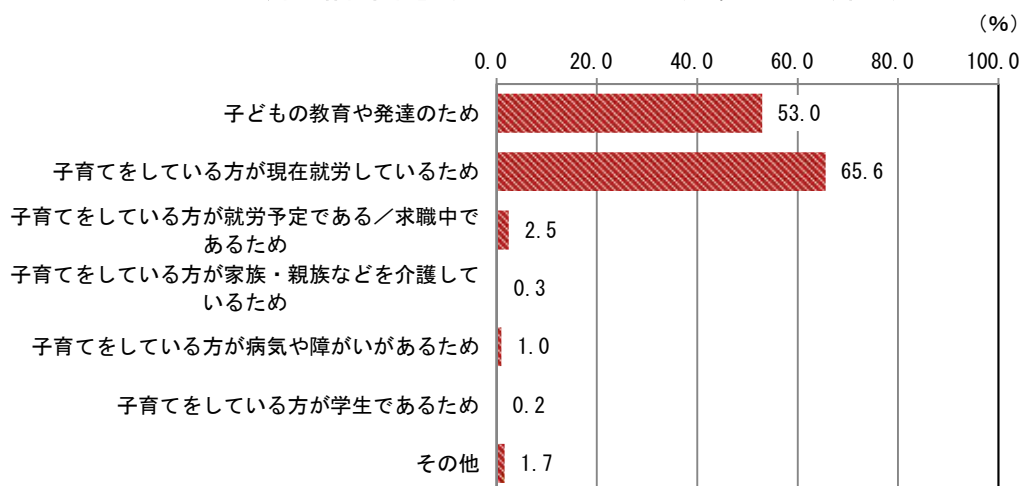
(クロス集計表) 問 19-3 教育・保育事業の実施場所・居住区別<MA> (※不明除く)

実施場所 \ 居住区	中央区	北区	東区	白石区	厚別区	豊平区	清田区	南区	西区	手稲区	他の市町村
全体 (N=3,475)	12.1	14.5	14.0	11.3	5.2	11.4	4.9	6.4	12.5	7.3	1.1
中央区 (N=386)	80.3	1.8	1.8	-	-	4.9	-	2.6	9.1	0.3	0.3
北区 (N=530)	3.6	83.0	6.4	0.4	0.4	0.6	-	0.2	3.6	1.7	0.6
東区 (N=484)	4.1	5.6	88.2	1.4	0.4	0.4	-	-	-	-	-
白石区 (N=373)	3.8	-	2.4	84.2	1.9	6.4	0.5	-	0.5	0.3	0.3
厚別区 (N=200)	2.5	0.5	-	11.0	78.5	1.0	1.0	-	-	-	6.0
豊平区 (N=386)	3.6	0.3	1.0	9.1	0.3	79.8	1.6	4.9	0.3	-	0.5
清田区 (N=206)	-	-	0.5	4.4	5.3	7.3	78.2	0.5	-	-	4.4
南区 (N=222)	4.1	0.5	0.5	-	-	9.5	-	85.6	-	-	-
西区 (N=417)	6.5	5.0	0.2	0.5	-	0.2	-	0.2	82.3	5.0	0.5
手稲区 (N=271)	1.5	1.8	0.4	-	-	-	0.4	-	12.2	81.5	2.6
札幌市外 (N=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※色付きは各行について濃い順に1・2・3番めに高い値であることを示している。

○「問 19-4 教育・保育事業を利用している理由」としては「子育てをしている方が現在就労しているため」(65.6%) が最も多く挙げられた。「子どもの教育や発達のため」(53.0%) が次ぐ。他の理由はいずれも 3%以下と小さい。

問 19-4 【教育・保育事業利用者限定】
教育・保育事業を利用している理由<MA> (N=3,469 ※不明除く)

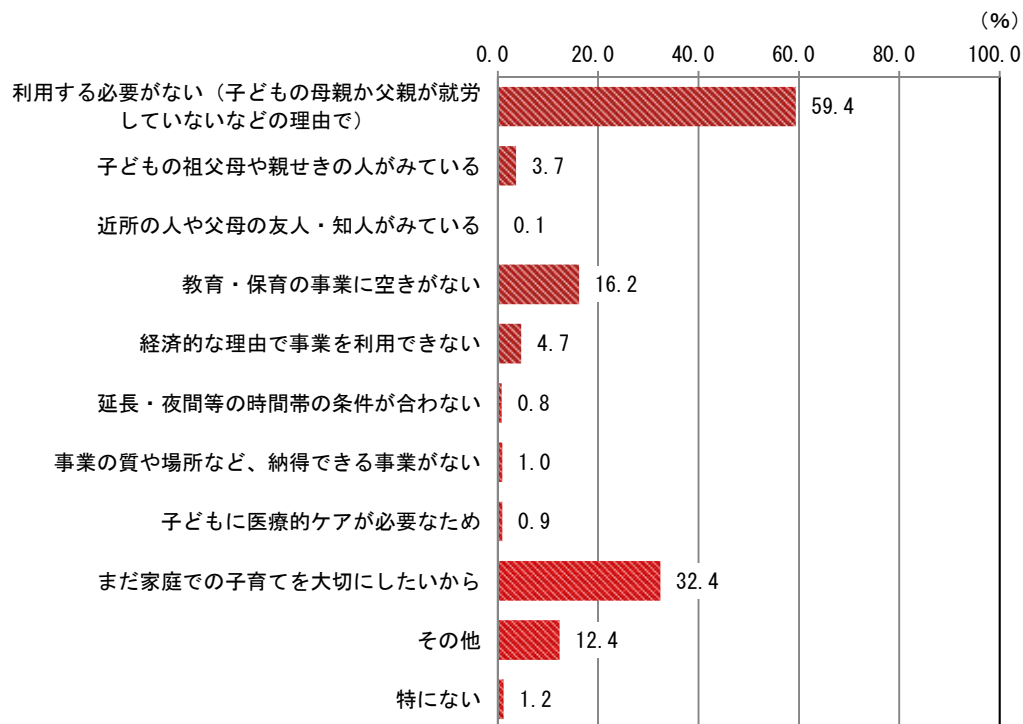


その他

- 下の子などの育児・出産のため (19)
- 自分の時間がほしいため (9)
- 育児の負担軽減のため (6)
- 他の子との交流・集団生活に慣らすため (5) など

○「問 19-5 教育・保育事業を利用していない理由」としては「利用する必要がない」(59.4%)
 が最も多く挙げられ、「まだ家庭での子育てを大切にしたいから」(32.4%) が次ぐ。

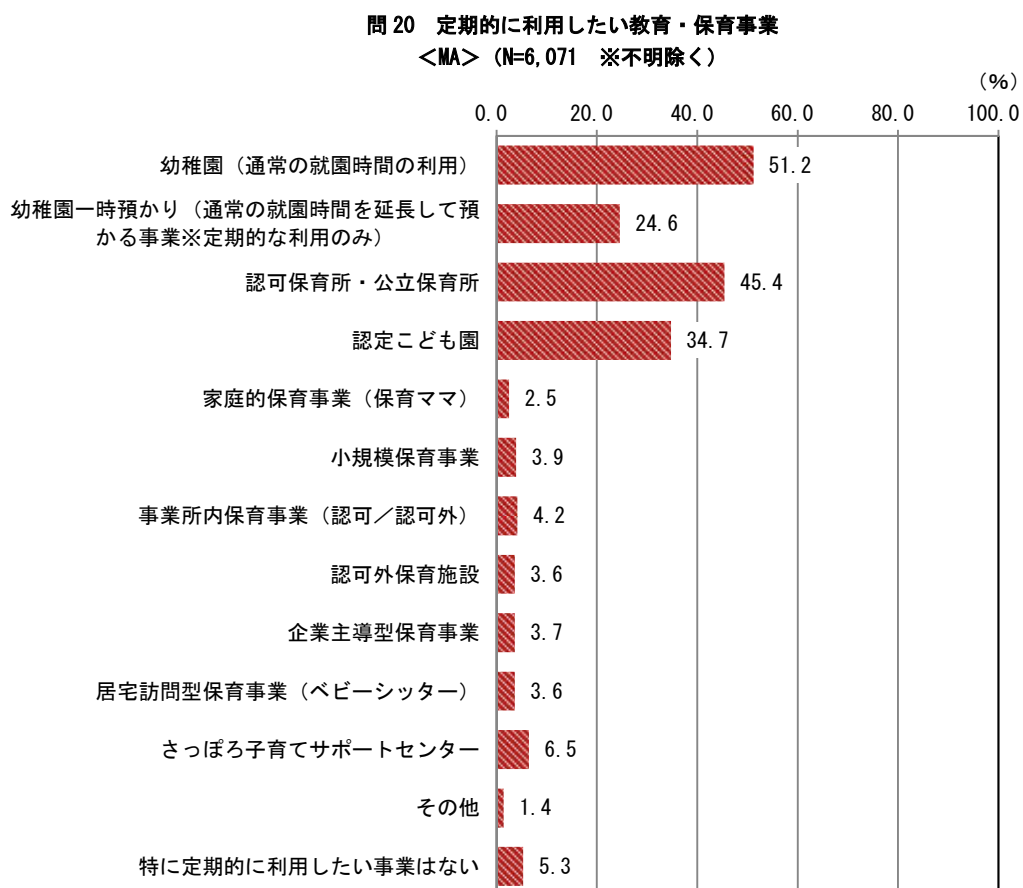
問 19-5 【教育・保育事業未利用者限定】
 教育・保育事業を利用していない理由<MA> (N=2,568 ※不明除く)



その他

- 今後入所・入園予定、申込中 (98)
- 産休・育休中のため (83)
- 子どもが生まれたばかり・まだ小さいため (51)
- 保育所の待機中・空きがないため (18)
- 児童デイサービス・療育施設に通っているため (12)
- 幼稚園の未就園児教室に通っているため (9) など

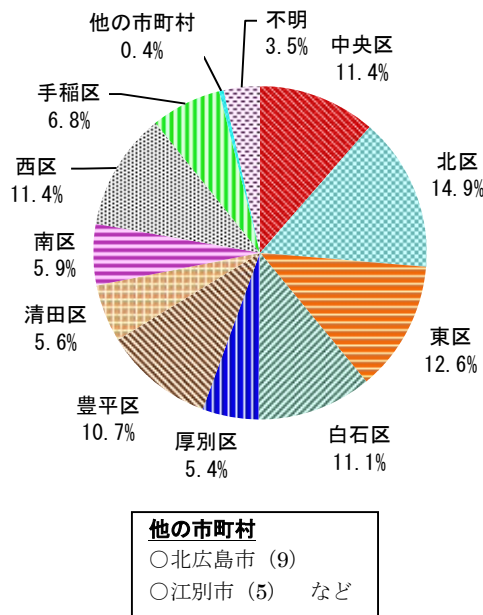
○「問 20 定期的に利用したい教育・保育事業」としては「幼稚園」が 51.2%と半数以上が挙げた。以下「認可保育所・公立保育所」(45.4%)、「認定こども園」(34.7%)と次ぐ。



その他

- 児童デイサービス・療育施設 (18)
- 病後児保育 (13)
- 子育てサロン (8)
- ショートステイ・一時預かり (6)
- 放課後児童クラブ (5) など

問 20-1 【利用したい事業がある方限定】
 教育・保育事業を最も利用したい場所<SA> (N=5,748)



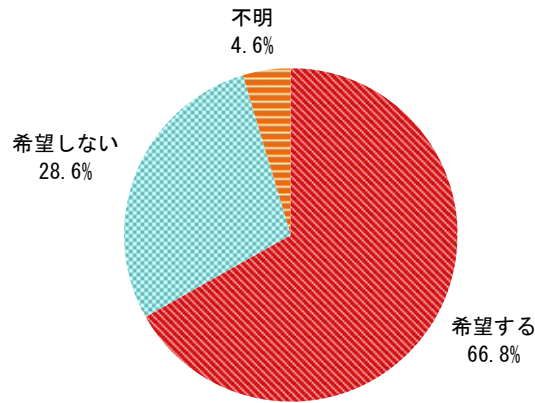
(クロス集計表) 問 20-1 教育・保育事業を最も利用したい場所・居住区別<SA> (※不明除く)

実施場所 居住区	中央区	北区	東区	白石区	厚別区	豊平区	清田区	南区	西区	手稲区	他の市町村
全体 (N=5,527)	11.9	15.5	13.1	11.5	5.6	11.1	5.8	6.1	11.8	7.1	0.5
中央区 (N=625)	94.2	0.3	0.8	0.2	-	0.8	0.2	0.5	3.0	-	-
北区 (N=835)	0.1	95.1	1.6	0.4	-	-	-	-	1.2	1.3	0.4
東区 (N=761)	2.2	4.5	91.7	0.5	-	0.3	-	-	0.4	0.3	0.1
白石区 (N=633)	1.1	0.5	0.8	92.9	0.6	2.1	0.2	0.5	0.8	0.2	0.5
厚別区 (N=328)	0.9	-	-	4.3	90.2	1.2	1.2	-	-	-	2.1
豊平区 (N=630)	1.6	0.5	-	4.1	0.3	89.8	0.6	2.1	0.2	0.5	0.3
清田区 (N=335)	0.6	-	-	0.3	2.4	1.8	93.1	-	-	-	1.8
南区 (N=347)	2.3	0.3	-	-	-	4.6	0.3	91.9	0.3	0.3	-
西区 (N=643)	2.0	2.2	0.2	0.2	0.2	-	-	0.2	92.5	2.3	0.3
手稲区 (N=390)	1.3	0.8	0.5	-	-	-	-	-	5.1	92.1	0.3
札幌市外 (N=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※色付きは各行について濃い順に1・2・3番めに高い値であることを示している。

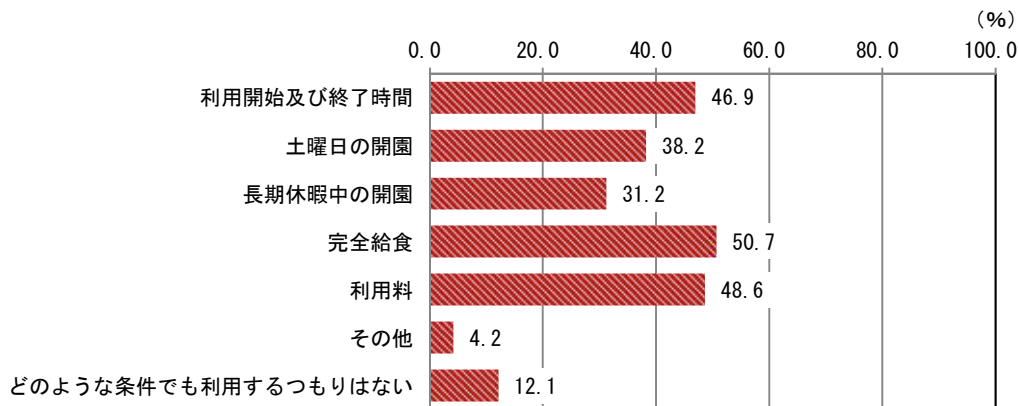
○幼稚園と合わせて他の事業を利用したい方に「問 20-2 特に幼稚園の利用を強く希望するか」を聞いたところ、66.8%が「希望する」と回答した。

問 20-2 【幼稚園と合わせて他の事業を利用したい方限定】
特に幼稚園の利用を強く希望するか<SA> (N=1,618)



○「問 20-3 幼稚園の一時預かりをどのような条件が整えば利用したいか」との設問に対して「完全給食」(50.7%)が最も多かった。以下、「利用料」(48.6%)、「利用開始及び終了時間」(46.9%)が続く。

問 20-3 幼稚園の一時預かりをどのような条件が整えば利用したいか
<MA> (N=5,849 ※不明除く)



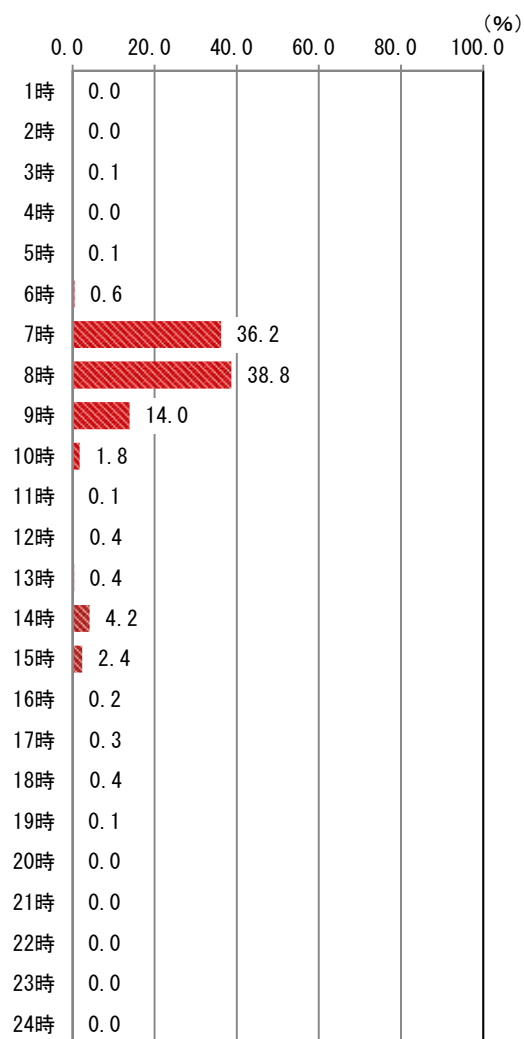
その他

- 送迎あり (29)
- 土・日・祝日に預けられる (20)
- 利用しやすい・預けたいときに預けられる (18)
- 考えていない・わからない (18)
- 自宅に近い・立地が良い (16)
- 急な預かりに対応してもらえる (13)
- 現状で満足している (9)
- 保育所の一時保育と同等・以上の環境・条件 (7)
- 乳児など小さい子も預けられる (6) など

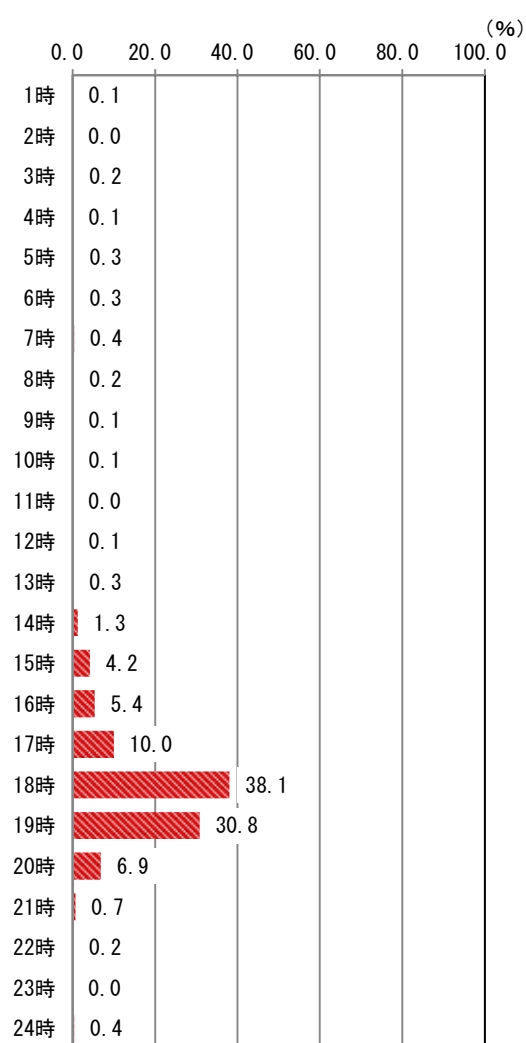
○幼稚園の一時預かりを利用開始・終了時間が合えば利用したい方に「問 20-3 希望する利用開始時間」を聞いたところ、38.8%が「8時」と回答した。「7時」(36.2%)が続く。

○「問 20-3 希望する利用終了時間」については、38.1%が「18時」、30.8%が「19時」と回答した。

問 20-3 【幼稚園の一時預かりを利用開始・終了時間が合えば利用したい方限定】
希望する利用開始時間<IN> (N=3, 258 ※不明除く)

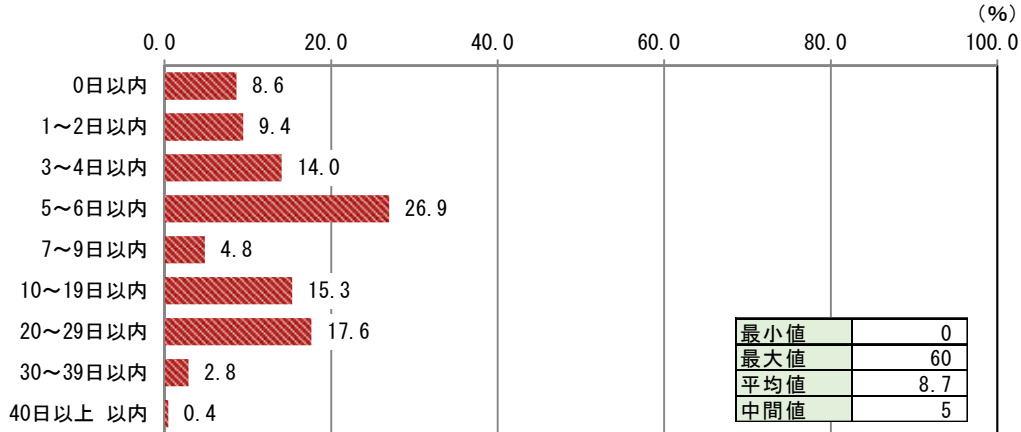


問 20-3 【幼稚園の一時預かりを利用開始・終了時間が合えば利用したい方限定】
希望する利用終了時間<IN> (N=3, 298 ※不明除く)



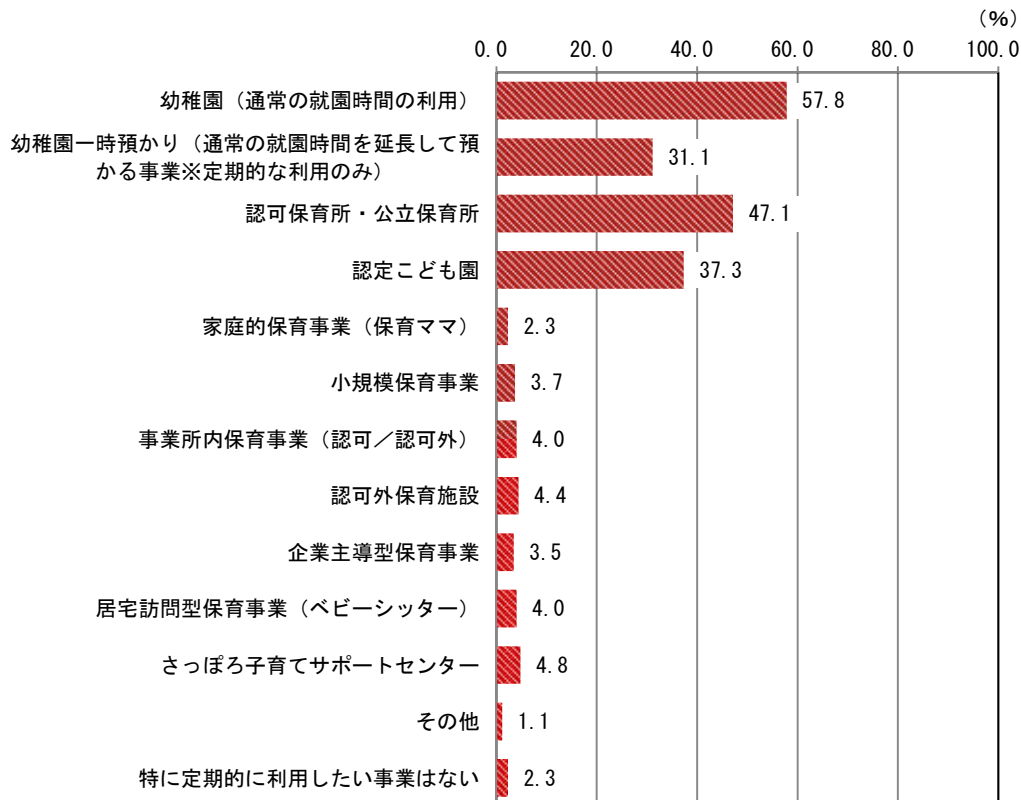
○幼稚園の一時預かりを長期休暇中の開園があれば利用したい方に「問 20-3 長期休暇中の休園日が何日以内であれば良いか」聞いたところ、平均値は 8.7 日であった。

問 20-3 【幼稚園の一時預かりを長期休暇中の開園があれば利用したい方限定】
長期休暇中の休園日が何日以内であれば良いか<IN> (N=954 ※不明除く)



○「問 21 幼児教育・保育が無償化された場合に利用したい事業」として「幼稚園」(57.8%) が最も多く挙げられた。「認可保育所・公立保育所」(47.1%)、「認定こども園」(37.3%)、「幼稚園一時預かり」(31.1%)が続く

問 21 幼児教育・保育が無償化された場合に利用したい事業
<MA> (N=6,079 ※不明除く)

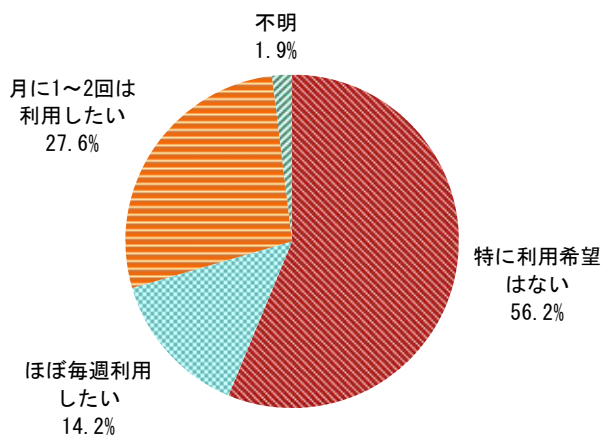


その他
○児童デイサービス・療育施設 (19)
○病後児保育 (10) など

E. 土日祝日、長期休暇中の「教育・保育事業」の利用希望

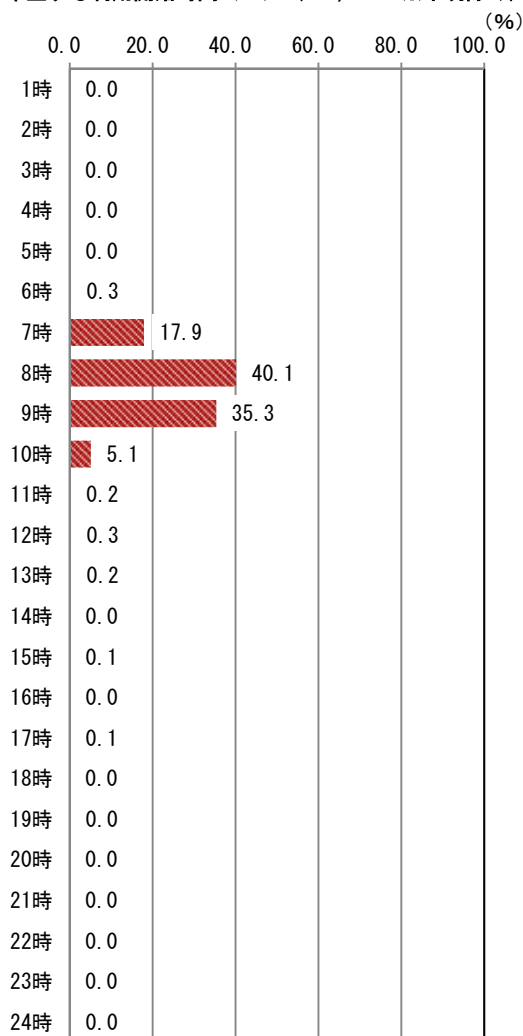
- 「問 22 (1) 土曜日の『教育・保育事業』利用希望」については、半数以上が「特に利用希望はない」(56.2%)と回答した。
- 「問 22 (1) 希望する利用開始時間」としては「8時」(40.1%)が、「問 22 (1) 希望する利用終了時間」は「18時」(32.7%)が最も多く挙げられている。

問 22 (1) 土曜日の「教育・保育事業」利用希望<SA> (N=6,116)



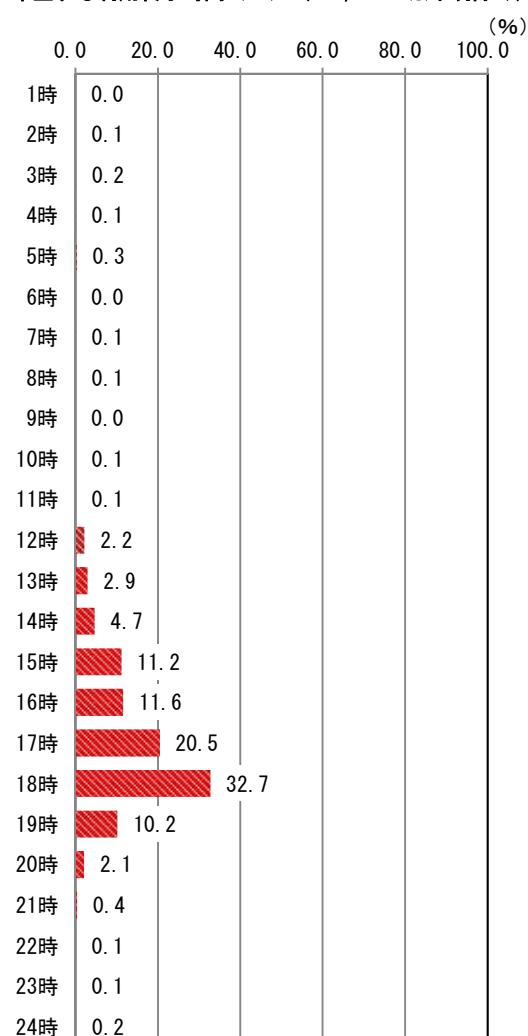
問 22 (1) 【土曜日利用希望者限定】

希望する利用開始時間<IN> (N=2,447 ※不明除く)



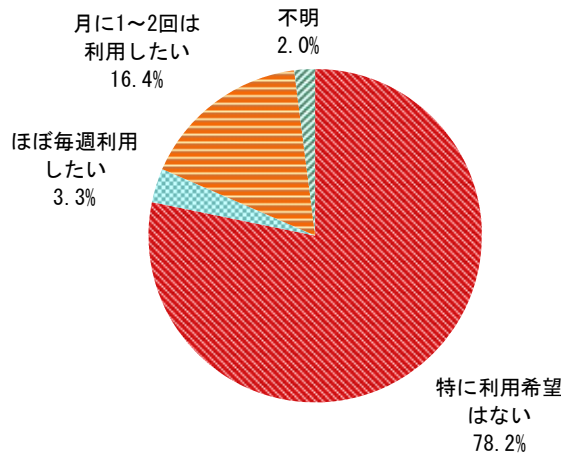
問 22 (1) 【土曜日利用希望者限定】

希望する利用終了時間<IN> (N=2,447 ※不明除く)

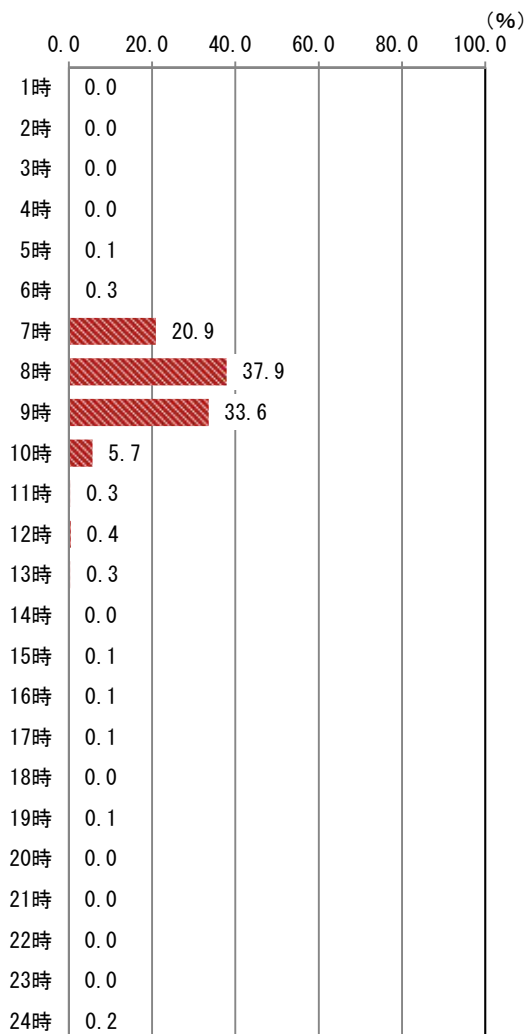


- 「問 22 (2) 日曜・祝日の『教育・保育事業』利用希望」については、約 8 割が「特に利用希望はない」(78.2%) と回答した。
- 「問 22 (2) 希望する利用開始時間」としては「8 時」(37.9%) が、「問 22 (2) 希望する利用終了時間」は「18 時」(38.6%) が最も多く挙げられている。

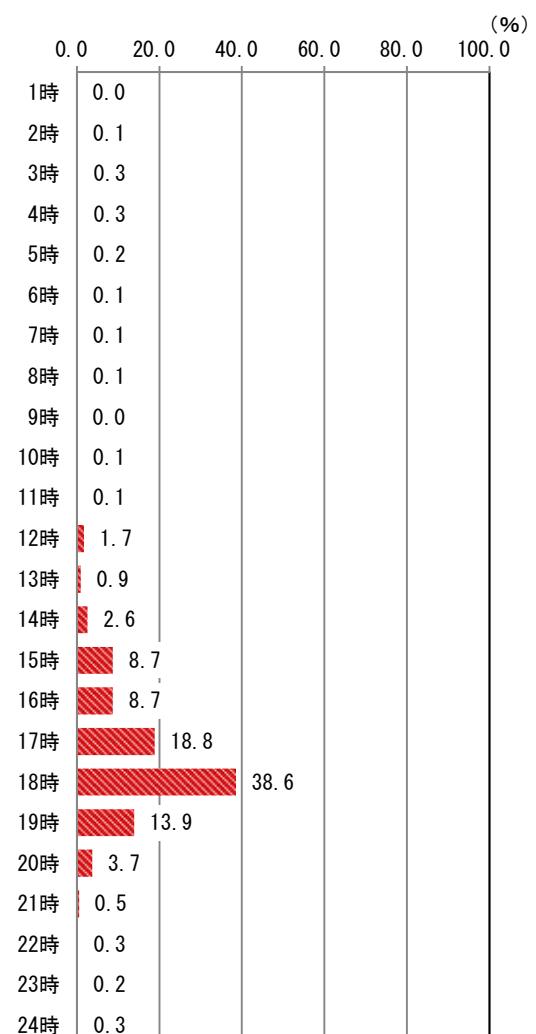
問 22 (2) 日曜・祝日の「教育・保育事業」利用希望<SA> (N=6, 116)



問 22 (2) 【日曜・祝利用希望者限定】
希望する利用開始時間<IN> (N=1, 162 ※不明除く)



問 22 (2) 【日曜・祝利用希望者限定】
希望する利用終了時間<IN> (N=1, 162 ※不明除く)



(クロス集計表) 問 22 (2) 日曜・祝日の「教育・保育事業」利用希望・母/父親の就労状況別<SA>

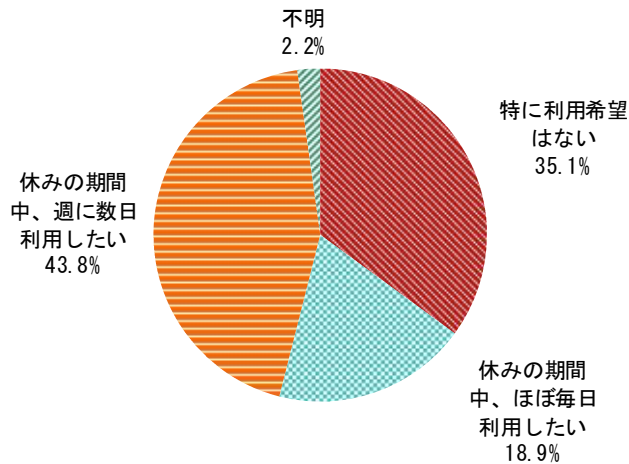
	N	特に 利用 希望 はない	ほ ぼ 毎 週 利 用 し た い	た 月 に 1 〜 2 回 は 利 用 し	不 明
全体	6,116	78.2	3.3	16.4	2.0
問17(4) 母親の日曜・祝日の就労状況					
日曜日または祝日が固定勤務	157	54.1	20.4	24.8	0.6
日曜日または祝日にシフト勤務もしくは月1回以上勤務	790	42.5	10.0	44.9	2.5
日曜日・祝日は勤務していない	2,462	81.8	1.7	14.8	1.7
問18(4) 父親の日曜・祝日の就労状況					
日曜日または祝日が固定勤務	635	72.8	7.1	18.4	1.7
日曜日または祝日にシフト勤務もしくは月1回以上勤務	2,024	71.2	4.5	22.7	1.6
日曜日・祝日は勤務していない	2,683	87.6	0.7	9.7	2.0

※色付きは各行について濃い順に1・2・3番めに高い値であることを示している。

○幼稚園利用者に「問 23 長期休暇期間中の利用希望」について聞いたところ、43.8%が「休みの期間中、週に数日利用したい」、18.9%が「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」と回答。

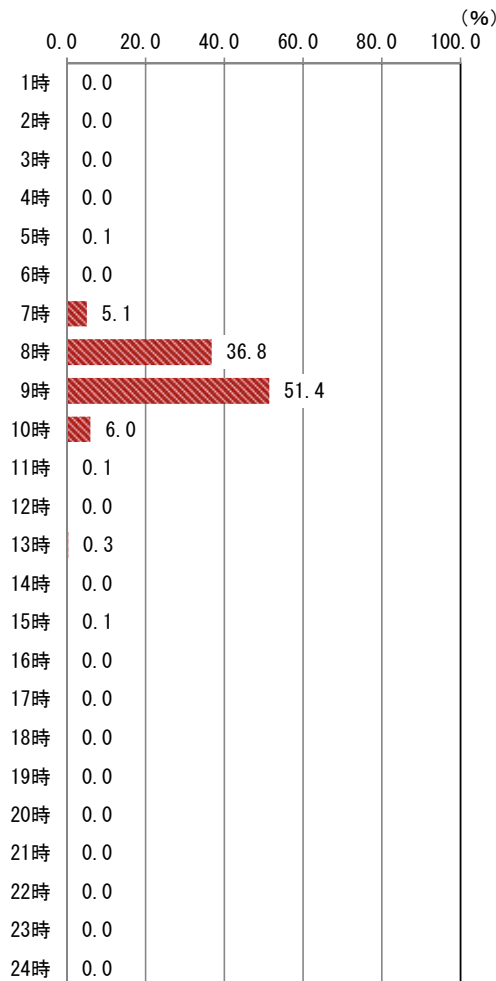
○「問 23 希望する利用開始時間」としては「9時」(51.4%)が、「問 23 希望する利用終了時間は「15時」(27.1%)が最も多く挙げられている。

問 23 【幼稚園利用者限定】長期休暇期間中の利用希望
<SA> (N=1,084)



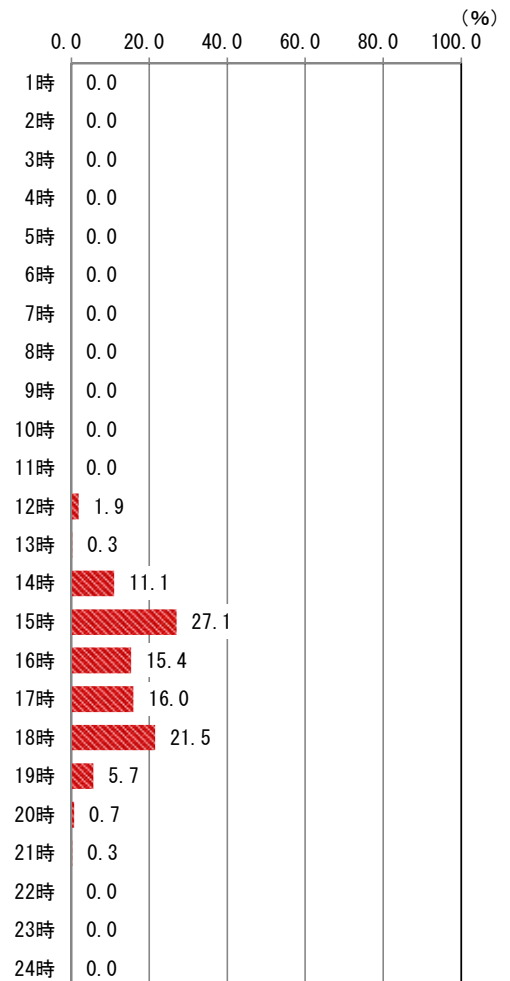
問 23 【幼稚園利用者かつ長期休暇期間中の利用希望者限定】

希望する利用開始時間<IN> (N=669 ※不明除く)



問 23 【幼稚園利用者かつ長期休暇期間中の利用希望者限定】

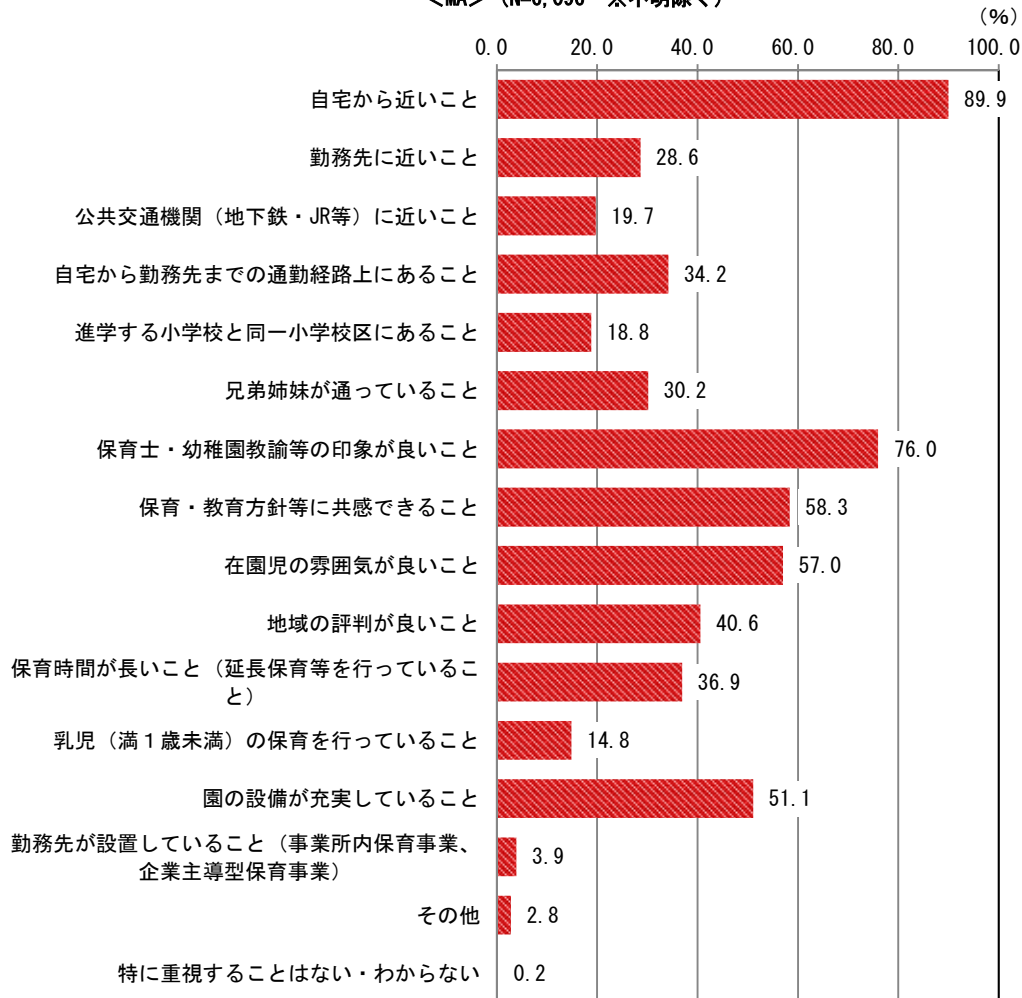
希望する利用終了時間<IN> (N=669 ※不明除く)



F. 「教育・保育事業」の利用にあたって重視すること

○「問 24 『教育・保育事業』の利用にあたって重視すること」としては、「自宅から近いこと」(89.9%)を約9割の方が挙げた。以下「保育士・幼稚園教諭等の印象が良いこと」(76.0%)、「保育・教育方針等に共感できること」(58.3%)、「在園児の雰囲気が良いこと」(57.0%)、「園の設備が充実していること」(51.1%)を半数以上の方が挙げている。

問 24 「教育・保育事業」の利用にあたって重視すること
<MA> (N=6,096 ※不明除く)

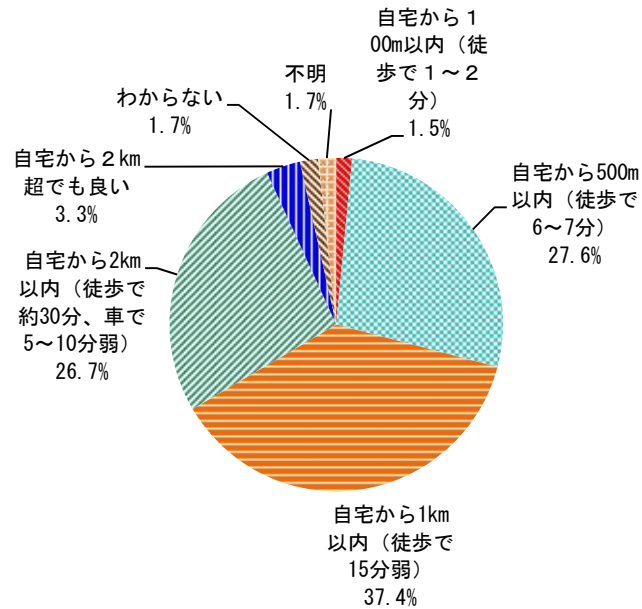


その他

- 送迎があること（22）
- 給食があること・完全給食（17）
- 費用（14）
- 食事の内容（添加物、アレルギー配慮など）（12）
- 施設が清潔・衛生的であること（12）
- 行事・物品準備等の手間・負担が小さいこと（9）
- 子どもに合っていること（9）
- 自宅に近い・立地が良いこと（8）
- 駐車場がある・整備されていること（8）
- 安全・安心に預けられること（7）
- 障がい・発達障がい等の子どもへの理解があること（5） など

○重視することとして「自宅から近いこと」を挙げた回答者に「問 24-1 利用できると考える『教育・保育事業』利用先までの距離」を聞いたところ「自宅から2km超でも良い」との回答は3.3%とわずかであり、9割以上が自宅から2km以内の距離で回答した。

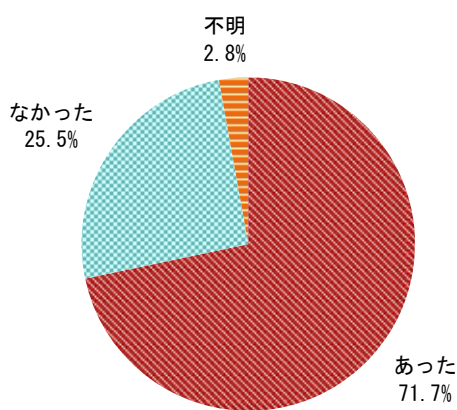
問 24-1 【「自宅から近いこと」回答者限定】
 利用できると考える「教育・保育事業」利用先までの距離<MA> (N=5,548)



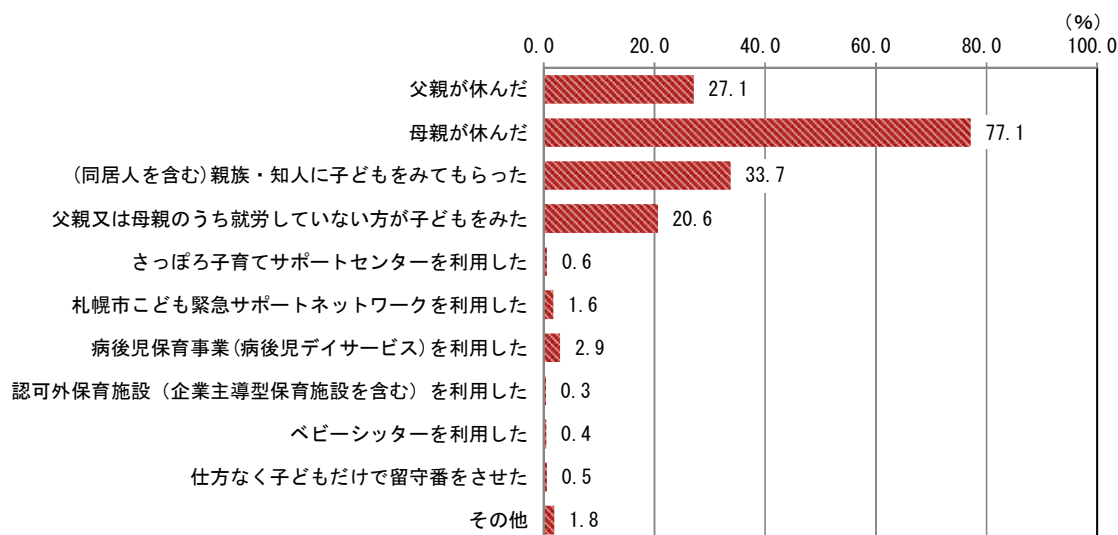
G. 【平日の「教育・保育事業」利用者限定】子どもが病気・ケガの際の対応

- 「教育・保育事業」の利用者で「問 25 子どもが病気やケガで『教育・保育事業』が利用できなかつたことがあったか」との設問に対して、71.7%が「あった」と回答した。
- 「問 25-1 どのように対応したか」との設問では「母親が休んだ」(77.1%)が約8割と最も多かった。以下、「親族・知人に子どもをみてもらった」(33.7%)、「父親が休んだ」(27.1%)、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」(20.6%)と続く。
- これらについてその年間の「問 25-1 それぞれの対応日数」の平均値を見ると「父親が休んだ」は4.2日である一方、「母親が休んだ」日数は10.1日と10日を超えている。

問 25 子どもが病気やケガで「教育・保育事業」が利用できなかつたことがあったか<SA> (N=3,509)



問 25-1 【子どもが病気やケガで「教育・保育事業」が利用できなかつたことがあった方限定】
どのように対応したか<MA> (N=2,494 ※不明除く)



その他

- 母親が子どもをみた (9)
- 職場に連れて行った (8)
- 職場の病児・病後児保育を利用した (7) など

問 25-1 【子どもが病気やケガで「教育・保育事業」が利用できなかったことがあった方限定】
 どのように対応したか～それぞれの対応日数<IN>（※不明除く）

■度数分布

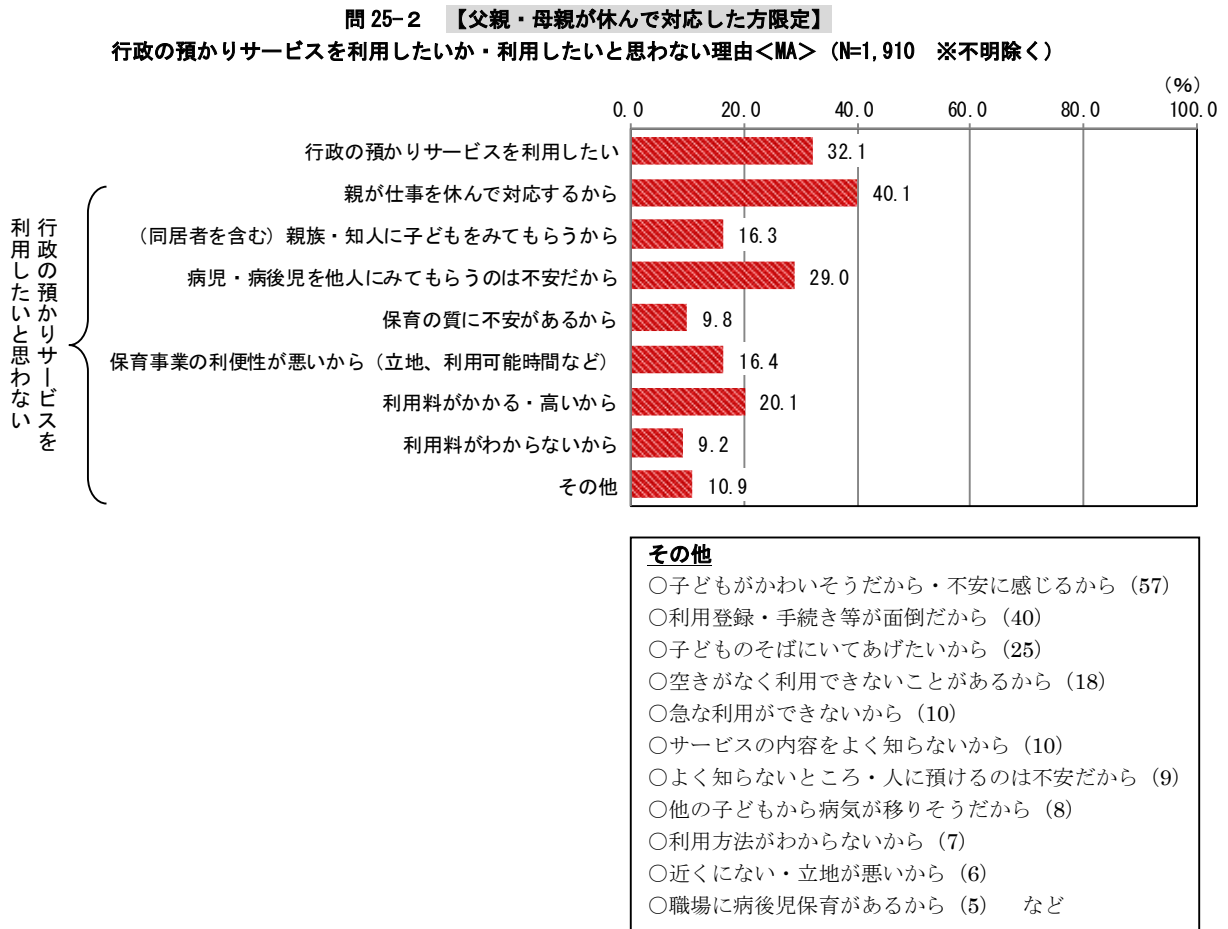
選択肢	N	1～2日	3～4	5～6	7～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50日以上
父親が休んだ	666	38.1	26.0	18.3	5.6	8.7	1.7	1.5		0.2	
母親が休んだ	1,884	10.8	13.6	18.6	10.1	25.2	6.4	9.0	4.7	0.7	1.0
(同居人を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	821	21.3	18.9	21.0	6.6	20.3	3.5	5.8	2.1	0.1	0.4
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	495	11.7	14.1	17.8	9.5	26.9	5.7	9.3	2.6	0.4	2.0
さっぽろ子育てサポートセンターを利用した	14	57.1	14.3	7.1		14.3	7.1				
札幌市子ども緊急サポートネットワークを利用した	41	51.2	17.1	14.6	7.3	4.9	2.4	2.4			
病後児保育事業(病後児デイサービス)を利用した	71	40.8	21.1	12.7	7.0	15.5		2.8			
認可外保育施設(企業主導型保育施設を含む)を利用した	6	16.7	33.3		16.7				16.7		16.7
ベビーシッターを利用した	9	11.1	33.3	22.2		33.3					
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	10	40.0	30.0	20.0			10.0				
その他	40	17.5	20.0	7.5	10.0	22.5	2.5	12.5	2.5		5.0

※色付きは各行について濃い順に1・2・3番めに高い値であることを示している。

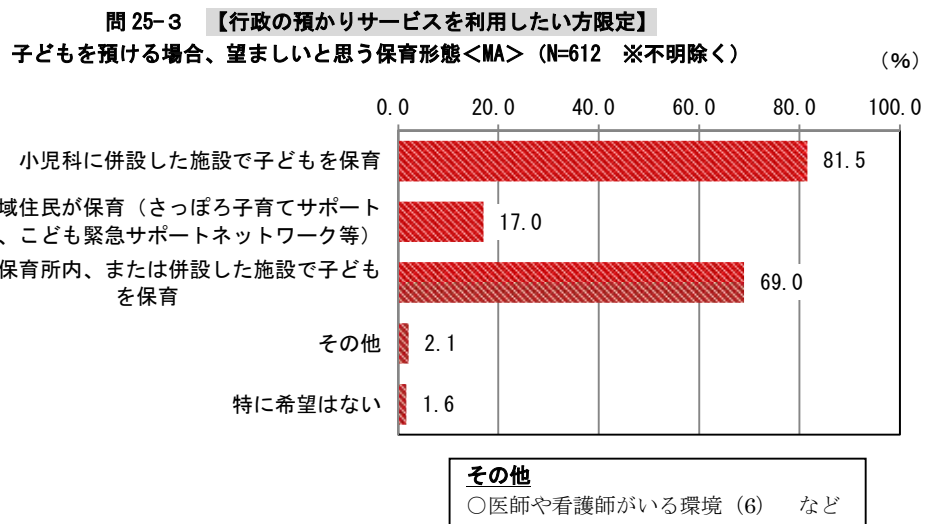
■最小・最大・平均・中間値

選択肢	N	最小値	最大値	平均値	中間値
父親が休んだ	666	0.5	40	4.2	3
母親が休んだ	1,884	1	306	10.1	7
(同居人を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	821	1	100	7.2	5
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	495	1	100	10.0	7
さっぽろ子育てサポートセンターを利用した	14	1	20	4.4	2
札幌市子ども緊急サポートネットワークを利用した	41	1	20	4.0	2
病後児保育事業(病後児デイサービス)を利用した	71	1	20	4.5	3
認可外保育施設(企業主導型保育施設を含む)を利用した	6	1	96	23.5	5.5
ベビーシッターを利用した	9	2	10	5.8	5
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	10	1	15	4.0	3
その他	40	1	60	11.1	7

- 「父親／母親が休んだ」方に「問 25-2 行政の預かりサービスを利用したいか・利用したいと思わない理由」を聞いたところ、32.1%が「行政の預かりサービスを利用したい」と回答した。
- 「利用したいと思わない」理由としては「親が仕事を休んで対応するから」(40.1%)、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安だから」(29.0%)が多く挙げられている。



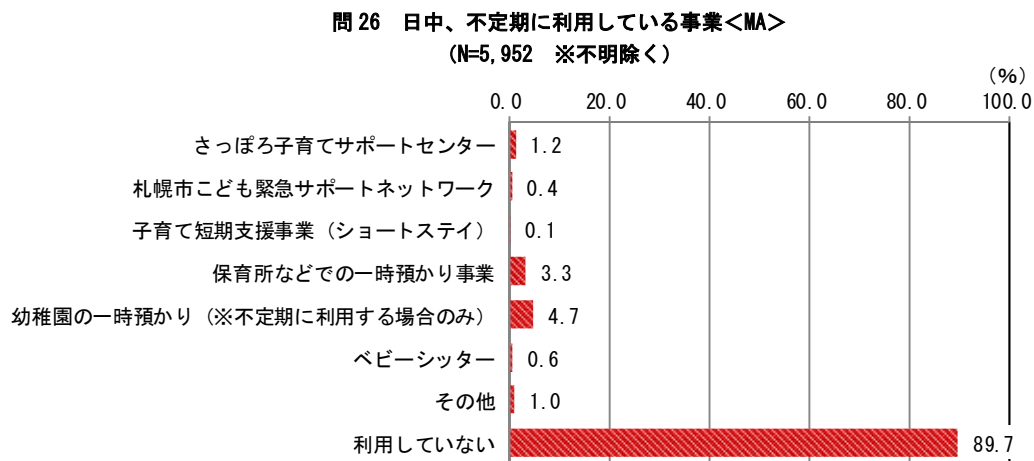
- 行政の預かりサービスを利用したい方に「問 25-3 子どもを預ける場合、望ましいと思う保育形態」を聞いたところ81.5%が「小児科に併設した施設で子どもを保育」を、69.0%が「幼稚園や保育所内、または併設した施設で子どもを保育」を挙げた。



H. 不定期の教育・保育事業、宿泊を伴う一時預かり等の利用

○「問 26 日中、不定期に利用している事業」を聞いたところ、89.7%が「利用していない」と回答した。利用している事業として「幼稚園の一時預かり」(4.7%)、「保育所などでの一時預かり事業」(3.3%)が比較的多く挙げられている。

○これらの利用日数を見ると「幼稚園の一時預かり」の平均値は15.8日、「保育所などでの一時預かり保育」は13.8日であった。



その他

- 認可外保育施設 (7)
- 児童デイサービス・療育施設 (6)
- 子どもの祖父母に預ける (6)
- 医療機関併設の託児施設 (6)
- 子育てサロン (5) など

問 26 不定期に利用している事業～年間の利用日数

<IN> (※不明除く)

■度数分布

選択肢	N	1～2日	3～4	5～6	7～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50日以上
さっぽろ子育てサポートセンター	70	30.0	10.0	25.7	2.9	18.6	1.4	5.7	1.4	1.4	2.9
札幌市子ども緊急サポートネットワーク	25	60.0	16.0	12.0		8.0	4.0				
子育て短期支援事業（ショートステイ）	6	33.3				16.7			33.3		16.7
保育所などでの一時預かり事業	185	30.3	9.7	16.8	4.9	15.7	1.1	6.5	5.9	1.6	7.6
幼稚園の一時預かり（※不定期に利用する場合のみ）	266	13.2	13.5	15.0	2.6	19.2	3.0	14.3	7.1	5.6	6.4
ベビーシッター	34	23.5	8.8	11.8	2.9	20.6	2.9	8.8	2.9	5.9	11.8
その他	53	22.6	7.5	11.3	3.8	11.3	3.8	13.2	5.7	1.9	18.9

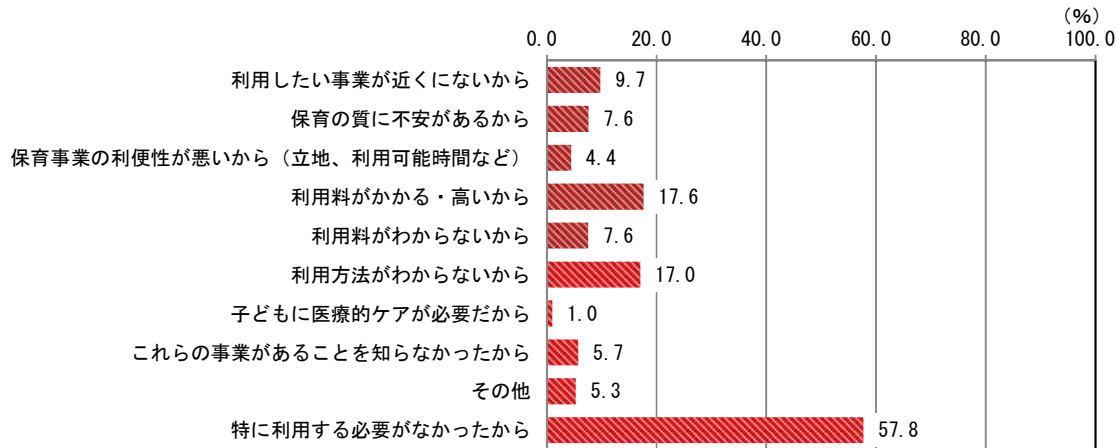
※色付きは各行について濃い順に1・2・3番めに高い値であることを示している。

■最小・最大・平均・中間値

選択肢	N	最小値	最大値	平均値	中間値
さっぽろ子育てサポートセンター	70	1	70	8.6	5
札幌市子ども緊急サポートネットワーク	25	1	20	3.7	2
子育て短期支援事業（ショートステイ）	6	2	50	20.7	20
保育所などでの一時預かり事業	185	1	180	13.8	5
幼稚園の一時預かり（※不定期に利用する場合のみ）	266	1	200	15.8	10
ベビーシッター	34	1	90	17.3	10
その他	53	1	270	27.9	10

○不定期に教育・保育事業を利用していない方に「問 26-1 不定期に教育・保育事業を利用していない理由」を聞いたところ「特に利用する必要がなかったから」(57.8%)が最も多く挙げられた。「利用料がかかる・高いから」(17.6%)、「利用方法がわからないから」(17.0%)も比較的多く挙げられている。

問 26-1 【不定期に教育・保育事業を利用していない方限定】
不定期に教育・保育事業を利用していない理由<MA> (N=5,305 ※不明除く)

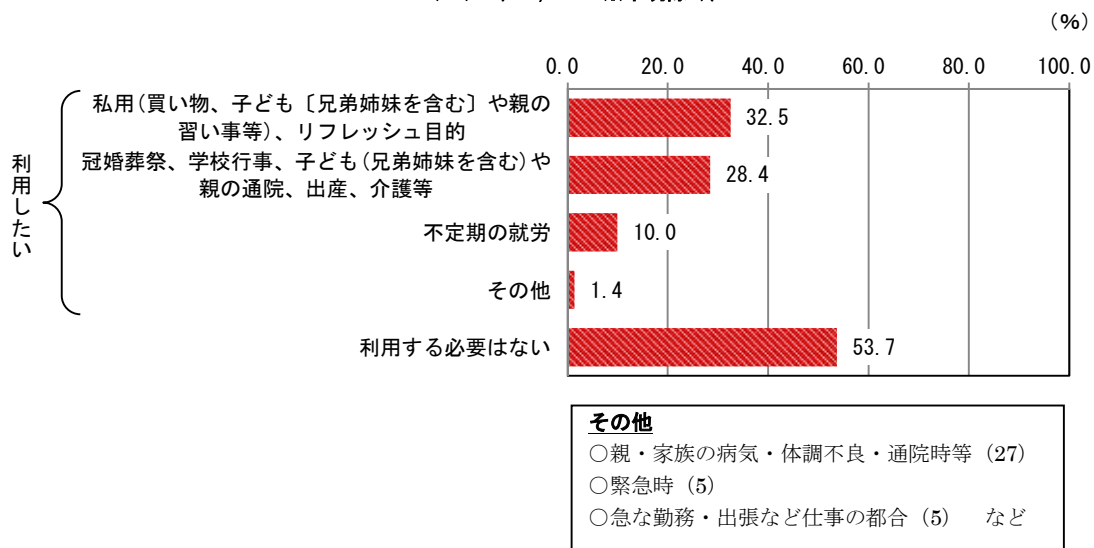


その他

- 利用したいときに空きがない・予約が取れないため (59)
- 利用の手続き・予約が面倒だから (33)
- 子どもの祖父母・親戚に見てもらえるから (32)
- 子どもが不安がる・かわいそう・人見知りだから (26)
- まだ子どもが小さいから (20)
- よく知らない施設・人に預けるのは不安だから (10)
- 産休・育休中のため (10)
- 子どものそばにいてあげたいから (10)
- 保育所を利用できるため (7)
- サービスの内容を知らないから (6) など

- 「問 27 不定期の教育・保育事業を利用したいか・どのような場合に利用したいか」との間に対しては、53.7%が「利用する必要はない」と回答した。
- 「利用したい」方については、「私用(買い物、子ども〔兄弟姉妹を含む〕や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が32.5%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院、出産、介護等」が28.4%であった。
- これらの年間の想定利用日数の平均値を見ると「私用(買い物、子ども〔兄弟姉妹を含む〕や親の習い事等)、リフレッシュ目的」は12.8日、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院、出産、介護等」は9.2日であった。

問 27 不定期の教育・保育事業を利用したいか・どのような場合に利用したいか
 <MA> (N=5, 913 ※不明除く)



問 27 不定期の教育・保育事業をどのような場合に利用したいか～
 年間の想定利用日数<IN> (※不明除く)

■度数分布

選択肢	N	1～2日	3～4	5～6	7～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50日以上
私用(買い物、子ども〔兄弟姉妹を含む〕や親の習い事)	1,852	5.9	10.8	19.4	2.9	43.0	1.5	7.4	4.0	1.7	3.5
冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院	1,580	10.2	16.3	25.1	5.7	32.4	0.6	4.6	3.2	0.4	1.4
不定期の就労	524	4.2	7.3	10.1	3.4	29.6	2.1	11.8	10.3	3.6	17.6
その他	67	17.9	10.4	19.4	7.5	25.4	3.0	9.0		3.0	4.5

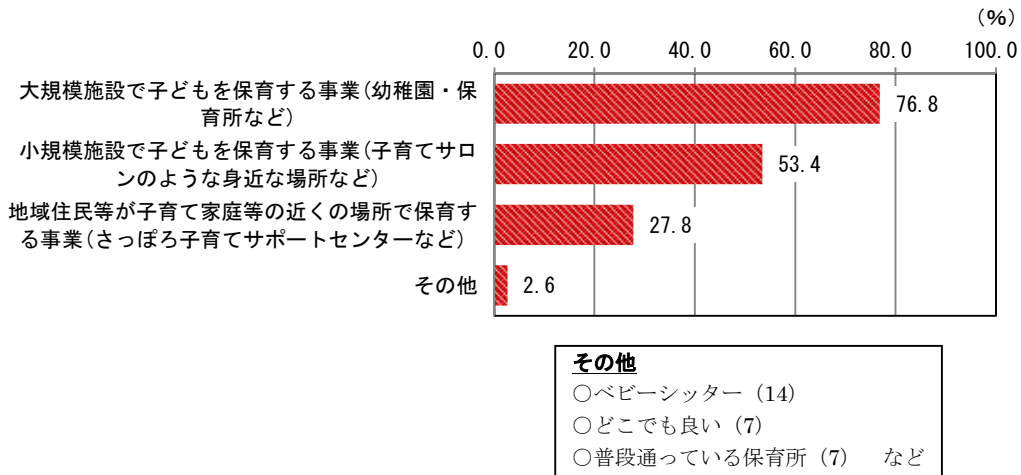
※色付きは各行について濃い順に1・2・3番めに高い値であることを示している。

■最小・最大・平均・中間値

選択肢	N	最小値	最大値	平均値	中間値
私用(買い物、子ども〔兄弟姉妹を含む〕や親の習い事)	1,852	1	365	12.8	10
冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院	1,580	1	365	9.2	6
不定期の就労	524	1	365	26.1	12
その他	67	1	90	11.6	7

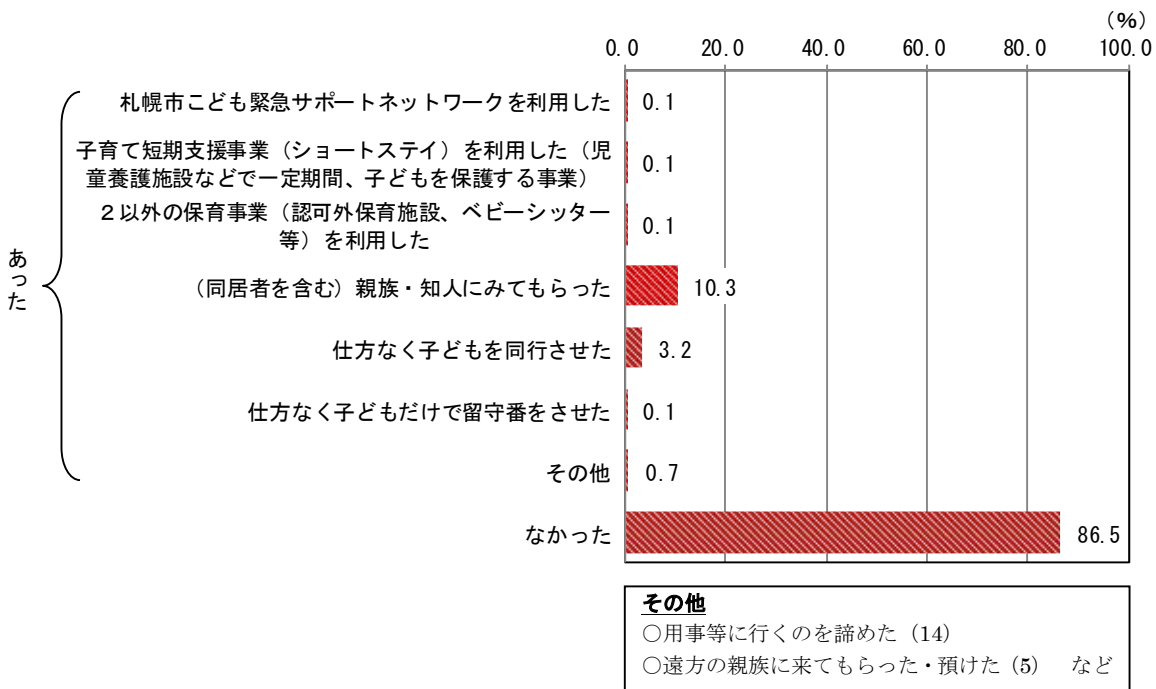
○不定期の教育・保育事業を利用したい方に「問 27-1 どれの保育形態を利用したいか」を聞いたところ「大規模施設で子どもを保育する事業(幼稚園・保育所など)」(76.8%)が最も多く挙げられた。「小規模施設で子どもを保育する事業(子育てサロンのような身近な場所など)」(53.4%)も半数以上が挙げている。

問 27-1 【不定期の教育・保育事業を利用したい方限定】
 いずれの保育形態を利用したいか<MA> (N=2,702 ※不明除く)



- 「問 28 この1年間に泊りがけで子どもを預けなければならないようなことがあったか・その際どう対応したか」については、86.5%が「なかった」と回答した。
- 一方「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」(10.3%)も約1割の回答があった。
- 「年に何泊程度あったか」をみると「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」の平均値は6.5泊であった。

問 28 この1年間に泊りがけで子どもを預けなければならないようなことがあったか・その際どう対応したか<MA> (N=5,934 ※不明除く)



問 28 この1年間に泊りがけで子どもを預けなければならないようなことがあった～年に何泊程度あったか<IN>（※不明除く）

■度数分布

選択肢	N	1～2泊	3～4	5～6	7～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50泊以上
札幌市こども緊急サポートネットワークを利用した	1	100.0									
子育て短期支援事業（ショートステイ）を利用した（児童2以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）	5	60.0	20.0								20.0
（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	3	33.3						33.3	33.3		
仕方なく子どもを同行させた	599	36.9	19.2	16.4	7.5	10.7	1.8	3.2	2.2	1.2	1.0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	162	55.6	20.4	10.5	4.3	7.4		1.9			
その他	6	83.3		16.7							
その他	33	48.5	18.2	12.1		9.1		3.0	3.0		6.1

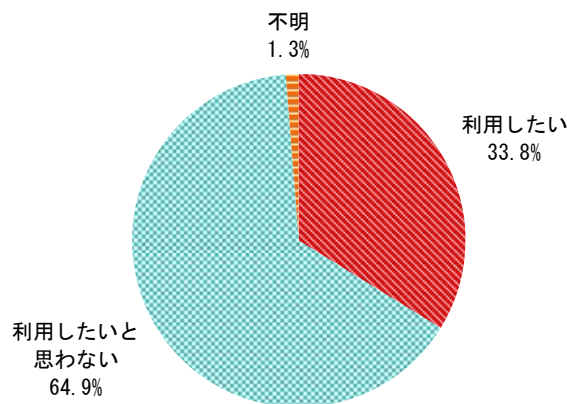
※色付きは各行について濃い順に1・2・3番めに高い値であることを示している。

■最小・最大・平均・中間値

選択肢	N	最小値	最大値	平均値	中間値
札幌市こども緊急サポートネットワークを利用した	1	1	1	1.0	1
子育て短期支援事業（ショートステイ）を利用した（児童2以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）	5	2	50	12.0	2
（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	3	2	36	19.3	20
仕方なく子どもを同行させた	599	1	90	6.5	4
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	162	1	25	3.5	2
その他	6	1	5	1.8	1
その他	33	1	130	10.5	3

○泊りがけで子どもを預けたりすることがあり、かつ事業を利用しなかった方に「問 28-1 今後、同様のことがあった場合、事業を利用したいか」を聞いたところ 33.8%が「利用したい」と回答した。

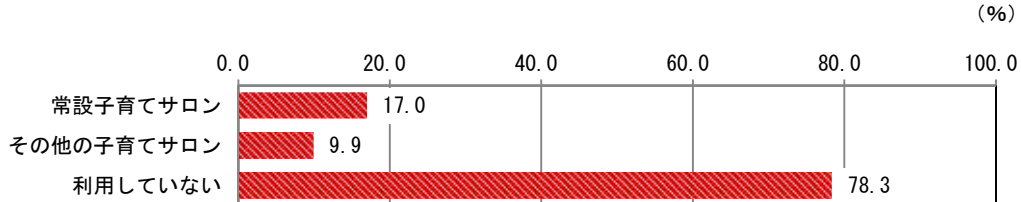
問 28-1 【泊りがけで子どもを預けたりすることがあり、かつ事業を利用しなかった方限定】
今後、同様のことがあった場合、事業を利用したいか<SA>（N=793 ※不明除く）



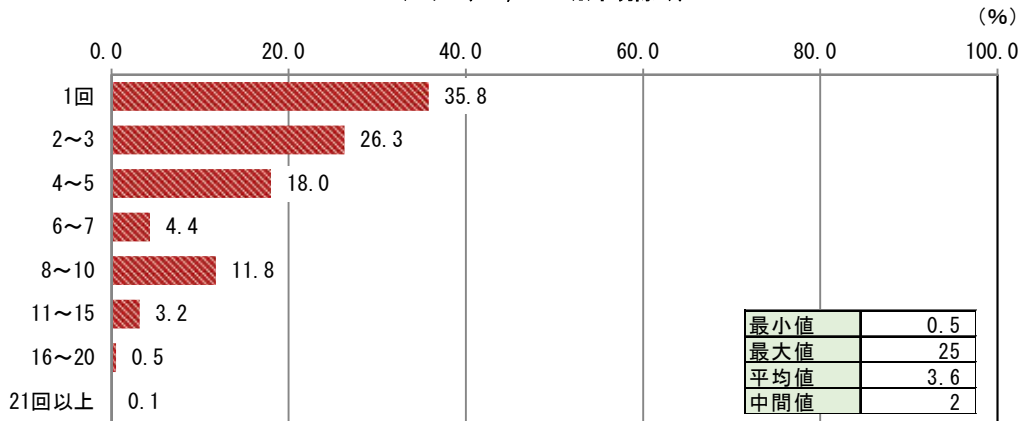
I. 地域の子育て支援事業の利用状況

- 「問 29 子育てサロンの利用状況・種類」を聞いたところ、「利用していない」が78.3%であった。「常設子育てサロン」の利用は17.0%、「その他の子育てサロン」は9.9%であった。
- 「問 29 1ヶ月あたりの常設子育てサロン利用回数」の平均値は3.6回、「問 29 その他の子育てサロンの利用回数」の平均値は2.5回であった。

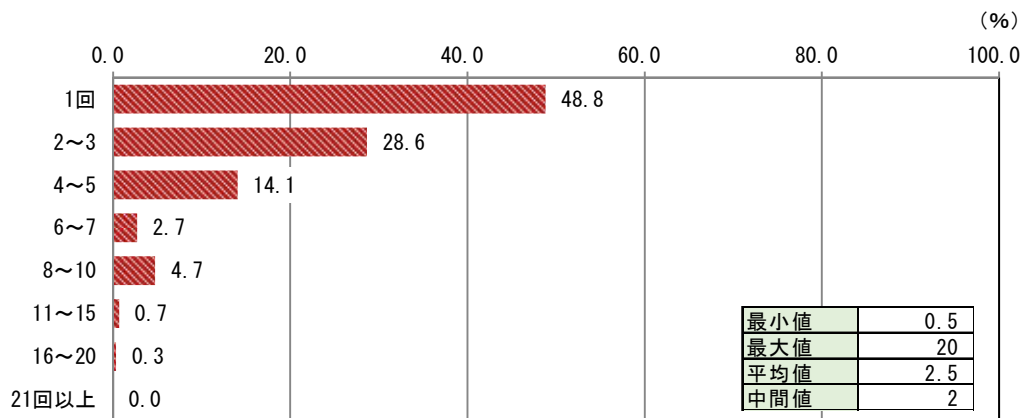
問 29 子育てサロンの利用状況・種類<MA> (N=6,063 ※不明除く)



問 29 【常設子育てサロン利用者限定】1ヶ月あたりの常設子育てサロン利用回数<IN> (N=1,011 ※不明除く)



問 29 【その他の子育てサロン利用者限定】1ヶ月あたりのその他の子育てサロン利用回数<IN> (N=590 ※不明除く)



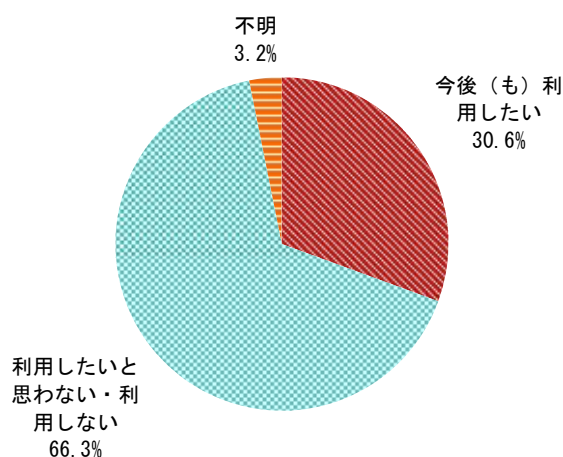
(クロス集計表) 問29 子育てサロンの利用状況・種類・各属性別<MA>※不明除く

	N	常設子育てサロン	その他の子育てサロン	利用していない
全体	6,063	17.0	9.9	78.3
問2 宛名児童の生年月日				
H30年4月以降	818	14.1	8.2	81.8
H29年4～30年3月	1,217	31.2	17.4	61.8
H28年4～29年3月	1,072	25.6	16.1	66.9
H27年4～28年3月	945	17.8	10.6	76.5
H26年4～27年3月	926	5.7	2.9	92.8
H25年4～26年3月	776	3.6	1.4	95.2
H24年4～25年3月	262	2.3	3.1	95.8
問10 子どもをみてもらえる親族・知人				
日常的に子どもの祖父母などの親族にみてもらえる	1,427	17.0	10.5	78.1
緊急時もしくは用事の際には子どもの祖父母などの親族にみてもらえる	3,629	15.6	9.1	79.8
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	91	22.0	5.5	73.6
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	640	18.4	10.9	76.2
子どもをみてもらえる人はいない	1,180	20.8	10.7	74.7
問17・18 (1) 世帯の就労状況				
共働き (フルタイム)	1,825	12.2	5.9	85.5
共働き (片方・両方がパートタイム)	1,208	8.9	4.4	88.7
片働き (専業主婦)	2,289	26.4	16.9	65.4
片働き (専業主夫)	20	10.0	5.0	90.0
就労していない	18	-	5.6	94.4
その他	277	6.5	3.2	92.1
問19 平日の定期的な教育・保育事業の利用有無				
利用している	3,482	6.3	2.8	92.1
利用していない	2,556	31.5	19.7	59.5

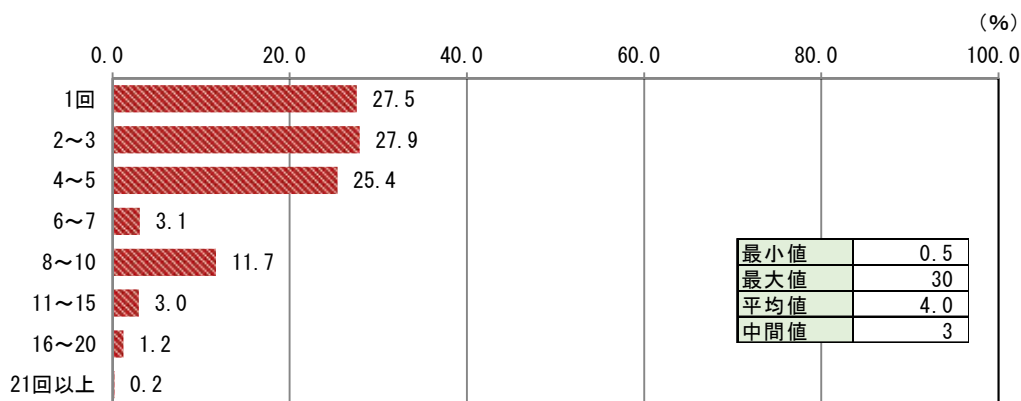
※色付きは各行について濃い順に1・2・3番めに高い値であることを示している。

- 「問 29-1 常設子育てサロンの利用希望有無」について、30.6%が「今後（も）利用したい」と回答しており、「問 19 平日の定期的な教育・保育事業の利用有無」で「利用していない」と回答している者に限ると 55.2%が「今後（も）利用したい」と回答している。
- 利用希望者の「問 29-1 1ヶ月当たりの利用希望回数」の平均値は 4.0 回であった。

問 29-1 常設子育てサロンの利用希望有無<SA> (N=6,116)



問 29-1 【常設子育てサロン利用希望者限定】
1ヶ月当たりの利用希望回数<IN> (N=1,815 ※不明除く)



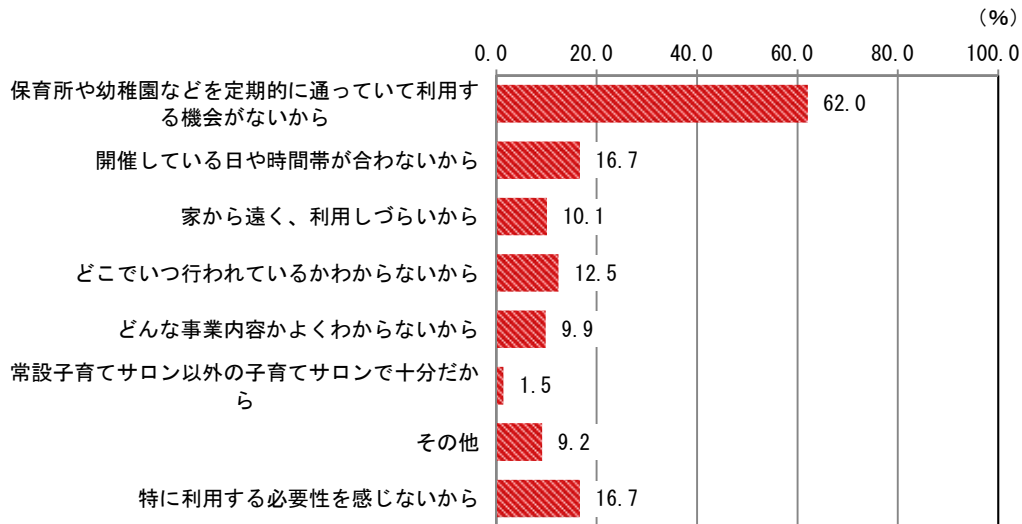
(クロス集計表) 問 29-1 常設子育てサロンの利用希望有無・各属性別<SA>

	N	今後 (も) 利用 したい	利 用 し た い と 思 わ な い	不 明
全体	6,116	30.6	66.3	3.2
問2 宛名児童の生年月日				
H30年4月以降	829	49.3	47.0	3.6
H29年4～30年3月	1,225	48.7	49.0	2.4
H28年4～29年3月	1,082	39.7	57.8	2.5
H27年4～28年3月	949	25.8	72.3	1.9
H26年4～27年3月	931	11.6	84.9	3.5
H25年4～26年3月	788	7.1	88.5	4.4
H24年4～25年3月	264	6.1	87.5	6.4
問10 子どもをみてもらえる親族・知人				
日常的に子どもの祖父母などの親族にみてもらえる	1,444	32.1	64.8	3.2
緊急時もしくは用事の際には子どもの祖父母などの親族にみてもらえる	3,655	29.3	67.6	3.1
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	97	30.9	61.9	7.2
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	646	29.7	67.2	3.1
子どもをみてもらえる人はいない	1,189	33.3	64.1	2.6
問17・18 (1) 世帯の就労状況				
共働き (フルタイム)	1,833	23.7	73.9	2.5
共働き (片方・両方がパートタイム)	1,222	18.6	77.7	3.7
片働き (専業主婦)	2,302	44.5	52.9	2.6
片働き (専業主夫)	20	15.0	70.0	15.0
就労していない	18	16.7	72.2	11.1
その他	283	13.1	83.0	3.9
問19 平日の定期的な教育・保育事業の利用有無				
利用している	3,509	12.5	84.2	3.3
利用していない	2,578	55.2	42.1	2.7

※色付きは各行について濃い順に1・2・3番めに高い値であることを示している。

○「問 29-2 常設子育てサロンを利用しない理由」として「保育所や幼稚園などに通っていて機会がないから」(62.0%) が最も多く挙げられた。他の理由はいずれも 2 割以下である。

問 29-2 【常設子育てサロンの利用を希望しない方限定】
常設子育てサロンを利用しない理由<MA> (N=3, 582 ※不明除く)



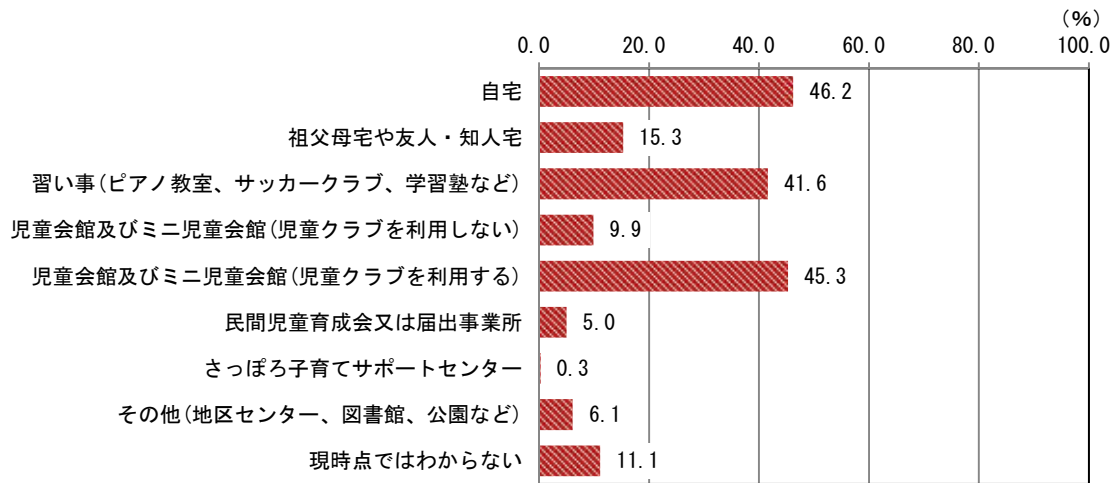
その他

- 忙しい・行く時間がないから (51)
- 他の母親等との交流が苦手・面倒・ストレスだから (44)
- 子どもの年齢層が合わないから (24)
- すでに母親同士のグループができており入りづらいから (18)
- 複数人の子どもを連れていくのが大変だから (10)
- 他に遊ぶ友達・兄弟がいるから (10)
- (子どもを連れて) 行くのが面倒だから (8)
- 他の子どもから病気が移るから (8)
- 子どもの病気・障がいのため (7)
- 子どもの習い事があるから (7)
- 子が行きたがらないから (6)
- 児童デイサービス・療育施設に通っているから (6)
- 職員・スタッフの対応・態度が悪いから (6)
- 駐車場がない・狭いから (5)
- マナー・態度が悪い親子がいるから (5)
- 不衛生・衛生面の心配があるから (5)
- 結局、親が子どもの面倒を見なければいけないから (5) など

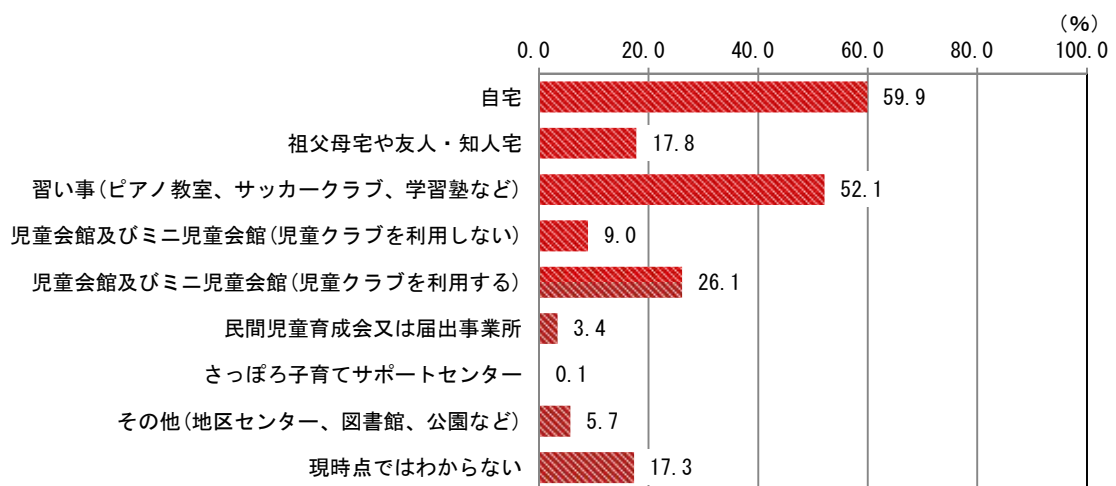
J. 【宛名のお子さんが5歳以上の方限定】小学校就学後の放課後の過ごし方

- 「問 30（1）放課後をどこで過ごさせたいか（小学校低学年時）」の回答としては「自宅」（46.2%）、「児童会館及びミニ児童会館（児童クラブを利用する）」（45.3%）、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（41.6%）の順で多く挙げられた。
- 「問 30（2）放課後をどこで過ごさせたいか（小学校高学年時）」については「自宅」（59.9%）、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（52.1%）が特に多く挙げられている。「児童会館及びミニ児童会館（児童クラブを利用する）」は26.1%であった。

問 30（1）放課後をどこで過ごさせたいか（小学校低学年時）
 <MA> (N=718 ※不明除く)



問 30（2）放課後をどこで過ごさせたいか（小学校高学年時）
 <MA> (N=681 ※不明除く)



○「問30(1) 放課後をどこで過ごさせたいか(小学校低学年時)～週あたりの日数」について、「児童会館及びミニ児童会館(児童クラブを利用する)」は平均で2.8日、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」は1.8日であった。

**問30(1) 放課後をどこで過ごさせたいか(小学校低学年時)
～週あたりの日数<IN>(不明除く)**

■度数分布

選択肢	N	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
自宅	327	14.4	18.7	17.7	11.0	33.9	2.4	1.8
祖父母宅や友人・知人宅	109	51.4	25.7	7.3	1.8	12.8	0.9	
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	299	37.8	44.5	14.4	3.0	0.3		
児童会館及びミニ児童会館(児童クラブを利用しない)	71	36.6	11.3	21.1	2.8	26.8	1.4	
児童会館及びミニ児童会館(児童クラブを利用する)	321	6.9	11.8	19.0	10.9	44.5	6.9	
民間児童育成会又は届出事業所	36	2.8	13.9	22.2	5.6	52.8	2.8	
さっぽろ子育てサポートセンター	2	100.0						
その他(地区センター、図書館、公園など)	42	40.5	33.3	16.7	2.4	7.1		

※色付きは各行について濃い順に1・2・3番めに高い値であることを示している。

■最小・最大・平均・中間値

選択肢	N	最小値	最大値	平均値	中間値
自宅	327	1	7	3.5	3
祖父母宅や友人・知人宅	109	1	6	2.0	1
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	299	1	5	1.8	2
児童会館及びミニ児童会館(児童クラブを利用しない)	71	1	6	2.8	3
児童会館及びミニ児童会館(児童クラブを利用する)	321	1	6	4.0	5
民間児童育成会又は届出事業所	36	1	6	4.0	5
さっぽろ子育てサポートセンター	2	1	1	1.0	1
その他(地区センター、図書館、公園など)	42	1	5	2.0	2

○「問30(2) 放課後をどこで過ごさせたいか(小学校高学年時)～週あたりの日数」について「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」の平均値は2.2日、「児童会館及びミニ児童会館(児童クラブを利用する)」は3.4日となっている。

**問30(2) 放課後をどこで過ごさせたいか(小学校高学年時)
～週あたりの日数<IN>(※不明除く)**

■度数分布

選択肢	N	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
自宅	386	14.8	21.0	21.2	8.0	31.3	2.1	1.6
祖父母宅や友人・知人宅	115	49.6	30.4	7.0	1.7	9.6	1.7	
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	353	19.8	48.7	24.4	4.8	2.3		
児童会館及びミニ児童会館(児童クラブを利用しない)	59	33.9	25.4	16.9	6.8	15.3	1.7	
児童会館及びミニ児童会館(児童クラブを利用する)	170	9.4	25.3	21.8	8.2	31.2	4.1	
民間児童育成会又は届出事業所	22		18.2	22.7		54.5	4.5	
さっぽろ子育てサポートセンター	1	100.0						
その他(地区センター、図書館、公園など)	34	23.5	35.3	26.5	2.9	11.8		

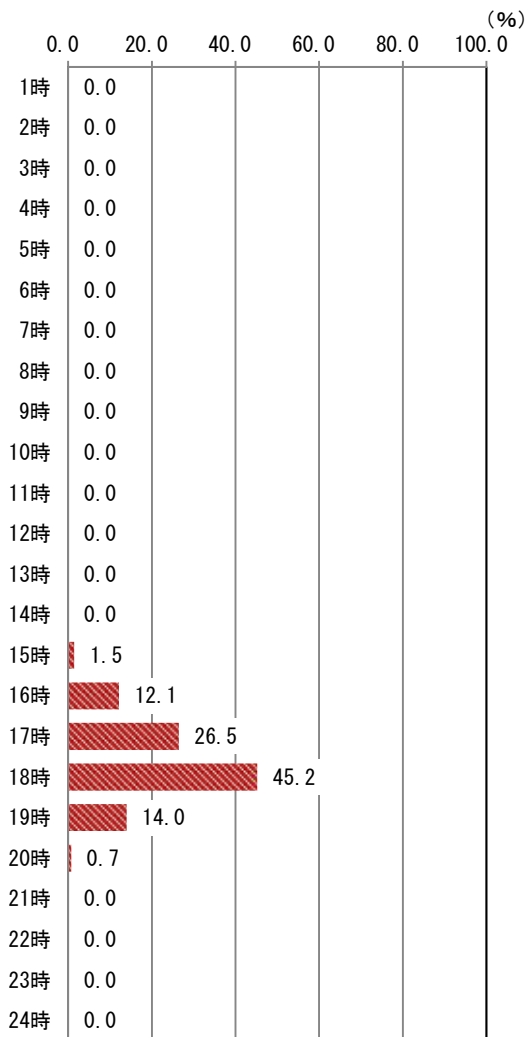
※色付きは各行について濃い順に1・2・3番めに高い値であることを示している。

■最小・最大・平均・中間値

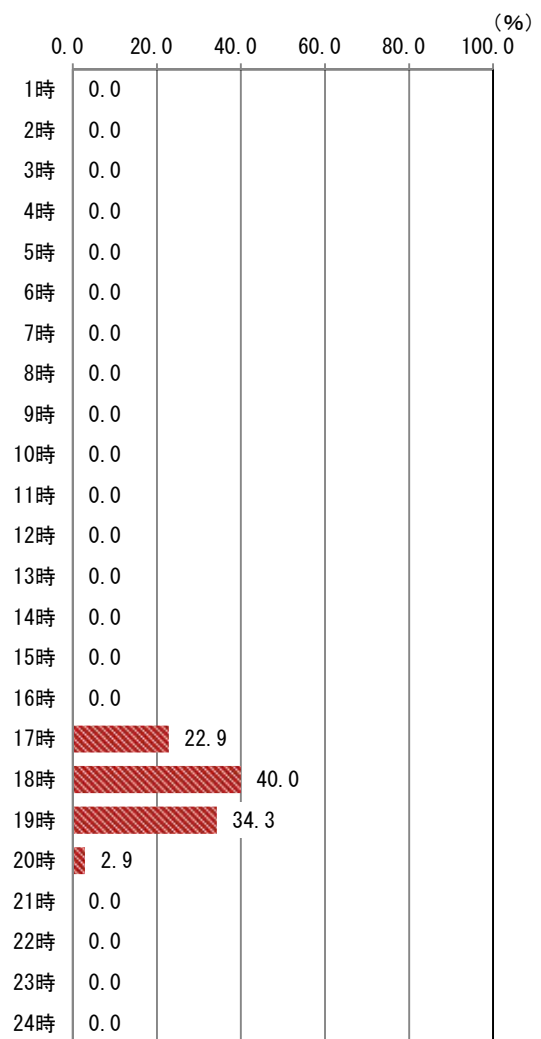
選択肢	N	最小値	最大値	平均値	中間値
自宅	386	1	7	3.3	3
祖父母宅や友人・知人宅	115	1	6	2.0	2
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	353	1	5	2.2	2
児童会館及びミニ児童会館(児童クラブを利用しない)	59	1	6	2.5	2
児童会館及びミニ児童会館(児童クラブを利用する)	170	1	6	3.4	3
民間児童育成会又は届出事業所	22	2	6	4.0	5
さっぽろ子育てサポートセンター	1	1	1	1.0	1
その他(地区センター、図書館、公園など)	34	1	5	2.4	2

- 小学校低学年で児童クラブまたは民間児童育成会等を利用させたい方に「問 30（1）何時まで利用したいか」を聞くと、児童クラブ利用希望者、民間児童育成会等利用希望者とも「18時」（45.2%、40.0%）が最も多く挙げられた。
- 「19時」の回答が民間児童育成会等利用希望者（34.3%）の方が児童クラブ利用希望者（14.0%）より 20.3 ポイント高いなど、民間児童育成会等利用希望者の方が遅くまでの利用を望んでいる。

問 30（1）【小学校低学年で児童クラブを利用させたい方限定】
何時まで利用したいか<IN>（N=272 ※不明除く）

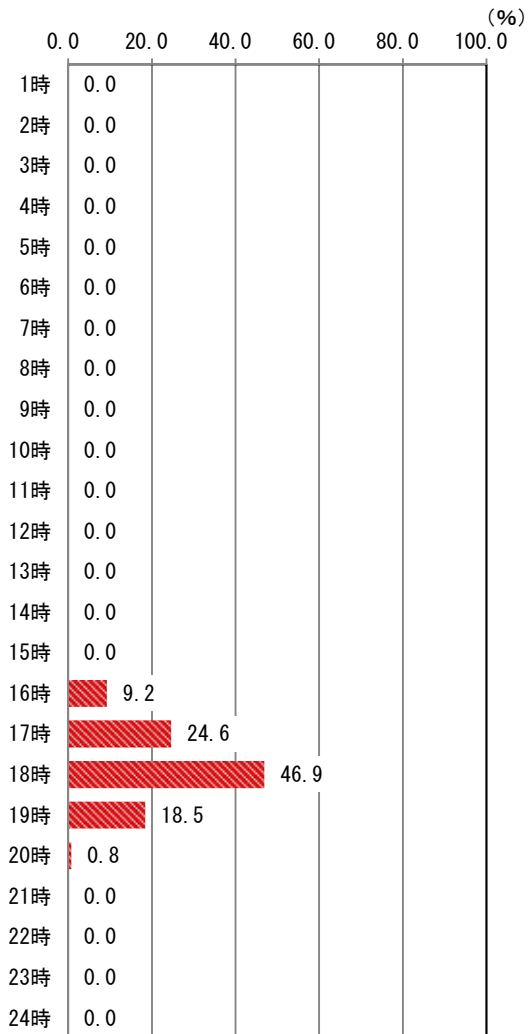


問 30（1）【小学校低学年で民間児童育成会等を利用させたい方限定】
何時まで利用したいか<IN>（N=35 ※不明除く）

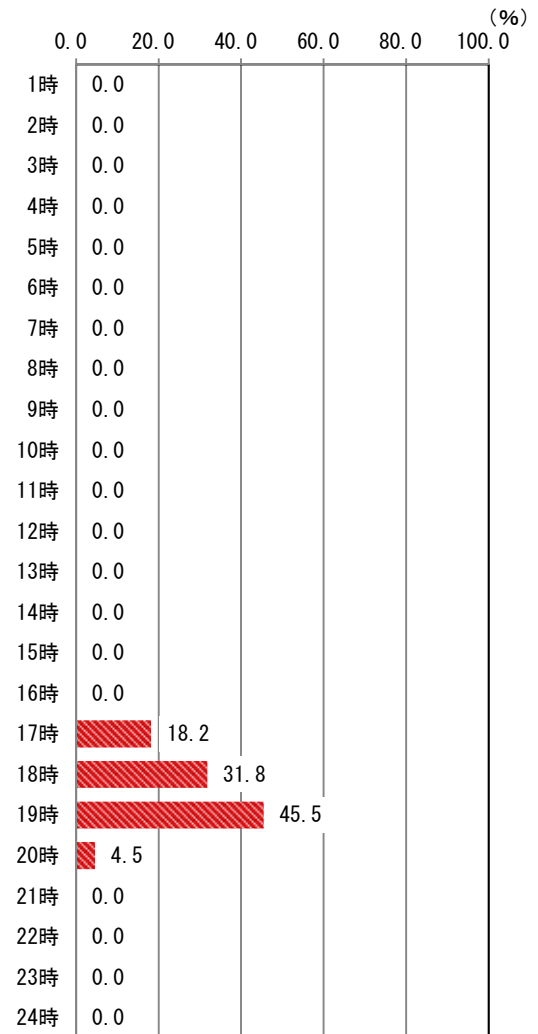


○小学校高学年で児童クラブまたは民間児童育成会等を利用させたい方に「問 30（1）何時まで利用したいか」を聞くと、児童クラブ利用希望者で「18 時」（46.9%）が最も多かった一方、民間児童育成会等利用希望者では「19 時」（45.5%）が最も多くなっている。

問 30（2）【小学校高学年で児童クラブを利用させたい方限定】
何時まで利用したいか<IN>（N=130 ※不明除く）



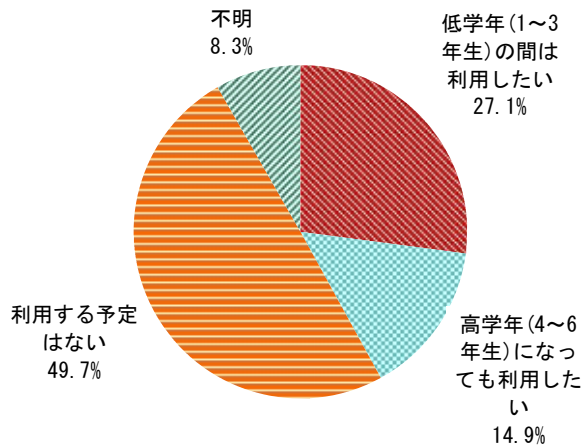
問 30（2）【小学校高学年で民間児童育成会等を利用させたい方限定】
何時まで利用したいか<IN>（N=22 ※不明除く）



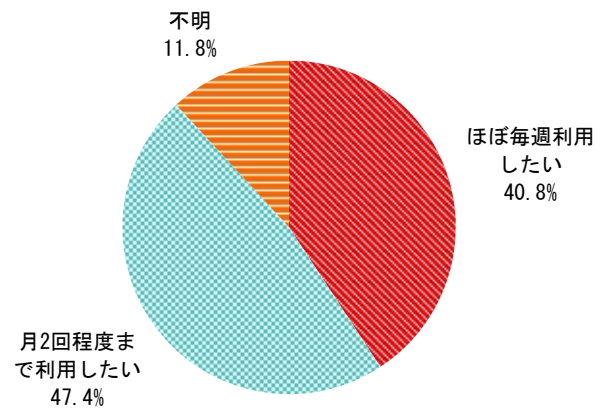
○児童クラブ、民間児童育成会等利用希望者に「問 30-1 (1) 土曜日の放課後児童クラブの利用希望」を聞いたところ利用したい(「低学年(1~3年生)の間は利用したい」「高学年(4~6年生)になっても利用したい)が計42.0%であった。

○土曜日利用希望者の「問 30-1 (1) 利用したい頻度」としては、「ほぼ毎週利用したい」が40.8%、「月に2回程度まで利用したい」が47.4%であった。

問 30-1 (1) 【児童クラブ、民間児童育成会等利用希望者限定】
土曜日の放課後児童クラブの利用希望<SA> (N=362)



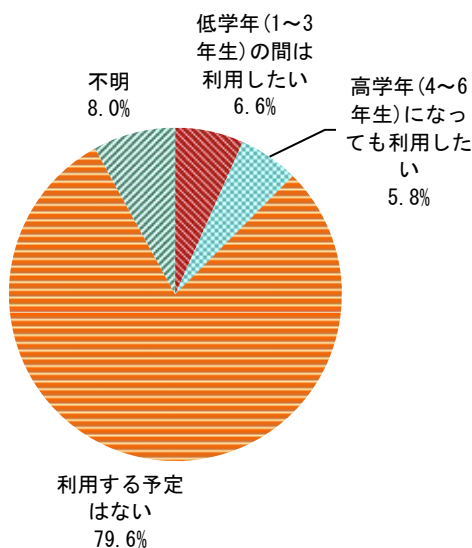
問 30-1 (1) 【土曜日の児童クラブ、民間児童育成会等利用希望者限定】土曜日の放課後児童クラブを利用したい頻度<SA> (N=152)



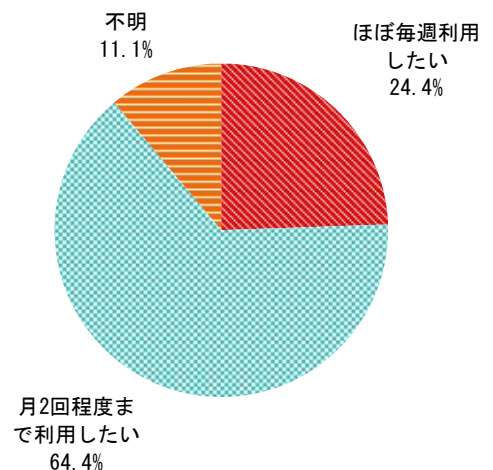
○児童クラブ、民間児童育成会等利用希望者に「問 30-1 (2) 日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望」を聞いたところ利用したい(「低学年(1~3年生)の間は利用したい」「高学年(4~6年生)になっても利用したい)は計12.4%にとどまった。

○日曜・祝日利用希望者の「問 30-1 (1) 利用したい頻度」としては、「ほぼ毎週利用したい」が24.4%、「月に2回程度まで利用したい」が64.4%であった。

問 30-1 (2) 【児童クラブ、民間児童育成会等利用希望者限定】
日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望<SA> (N=362)



問 30-1 (2) 【土曜日の児童クラブ、民間児童育成会等利用希望者限定】日曜・祝日の放課後児童クラブを利用したい頻度<SA> (N=45)



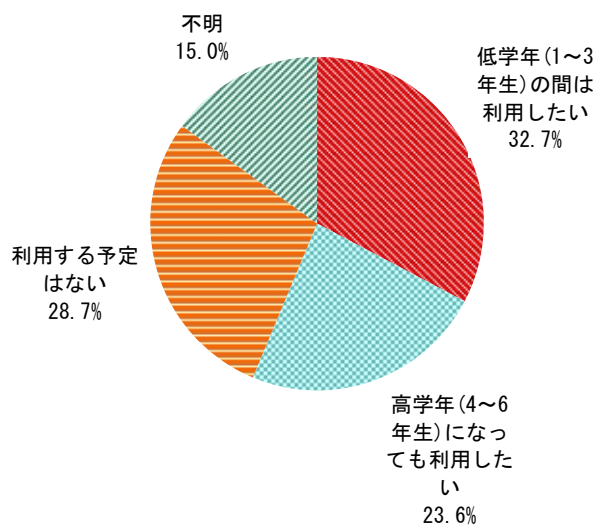
(クロス集計表) 問30-1 (2) 日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望・母/父親の就労状況別<SA>

	N	の 低 間 学 は 利 用 し た い 3 年 生	に 高 学 年 に も 利 用 し た い	利 用 す る 予 定 は な い	不 明
全体	362	6.6	5.8	79.6	8.0
問17(4) 母親の日曜・祝日の就労状況					
日曜日または祝日が固定勤務	11	9.1	18.2	54.5	18.2
日曜日または祝日にシフト勤務もしくは月1回以上勤務	54	20.4	7.4	64.8	7.4
日曜日・祝日は勤務していない	244	3.7	4.9	84.8	6.6
問18(4) 父親の日曜・祝日の就労状況					
日曜日または祝日が固定勤務	34	2.9	5.9	82.4	8.8
日曜日または祝日にシフト勤務もしくは月1回以上勤務	122	9.8	8.2	71.3	10.7
日曜日・祝日は勤務していない	141	2.8	2.1	91.5	3.5

※色付きは各行について濃い順に1・2・3番めに高い値であることを示している。

○「問 31 長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望」を聞いたところ利用したい（「低学年(1～3年生)の間は利用したい」「高学年(4～6年生)になっても利用したい」)は計 56.3%であった。

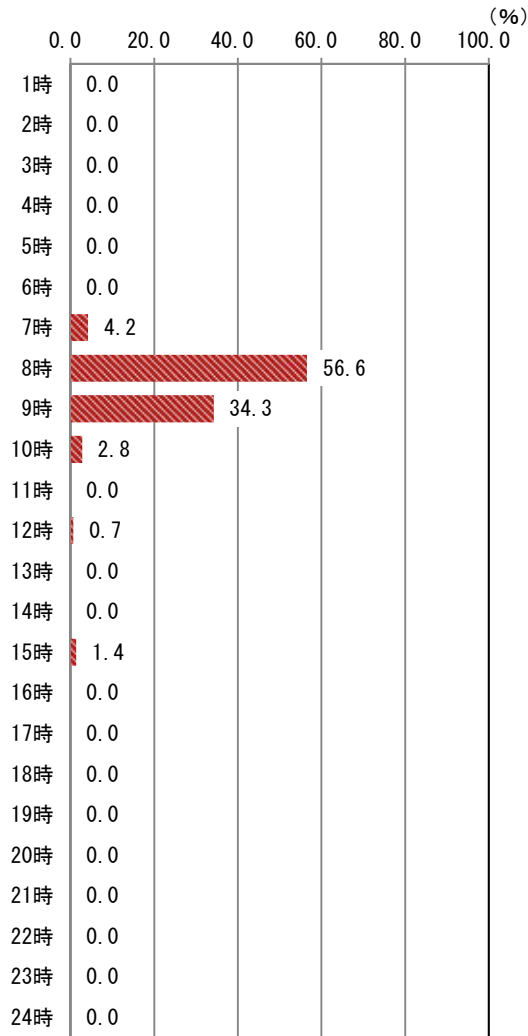
問 31 長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望
<SA> (N=785)



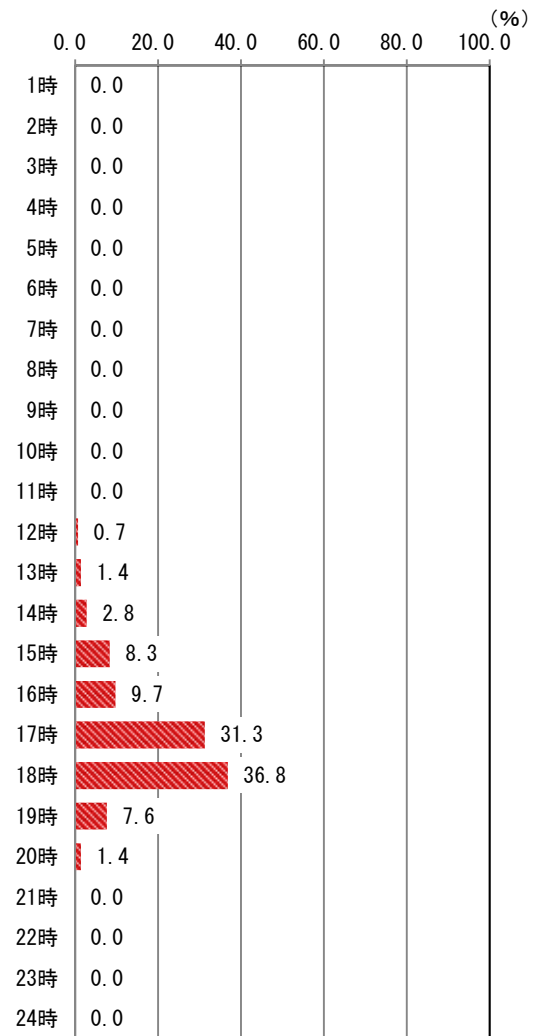
○土曜日に児童クラブ、民間児童育成会等を利用させたい方に「問 30-1 (1) 希望する利用開始時刻」を聞いたところ「8時」(56.6%)が最も多く挙げられた。

○「問 30-1 (1) 希望する利用終了時刻」については「18時」(36.8%)が最も多くなっている。

問 30-1 (1) 【土曜日に児童クラブ、民間児童育成会等を利用したい方限定】希望する利用開始時刻
<IN> (N=143 ※不明除く)



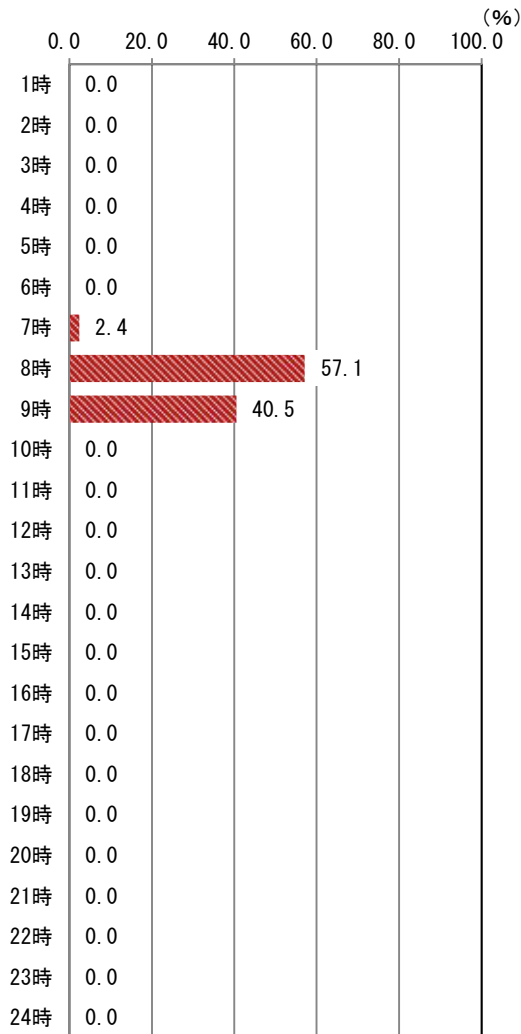
問 30-1 (1) 【土曜日に児童クラブ、民間児童育成会等を利用したい方限定】希望する利用終了時刻
<IN> (N=144 ※不明除く)



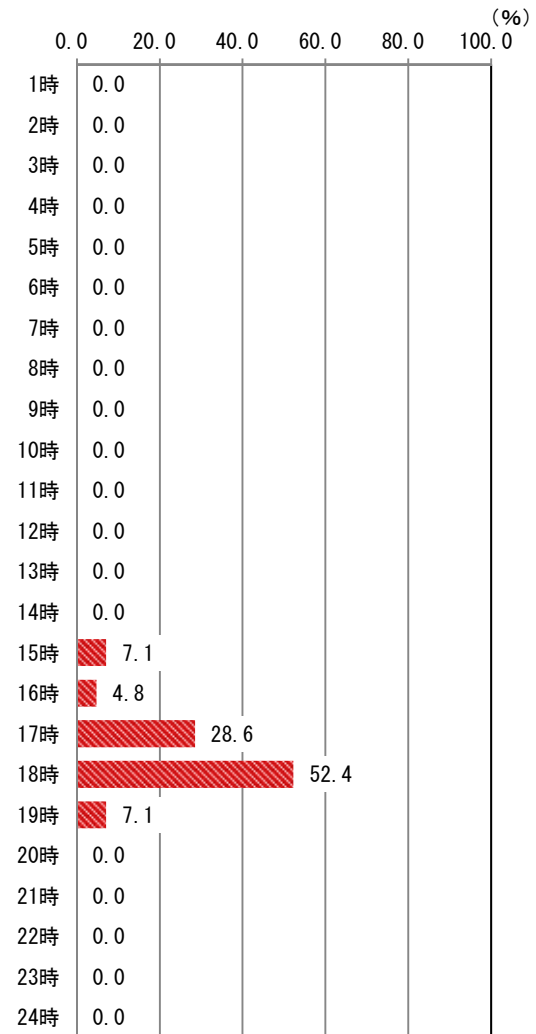
○日曜・祝日に児童クラブ、民間児童育成会等を利用させたい方に「問 30-1 (2) 希望する利用開始時刻」を聞いたところ「8時」(57.1%)が最も多く挙げられた。

○「問 30-1 (2) 希望する利用終了時刻」については「18時」(52.4%)が最も多くなっている。

問 30-1 (2) 【日曜・祝日に児童クラブ、民間児童育成会等を利用したい方限定】希望する利用開始時刻
<IN> (N=42 ※不明除く)



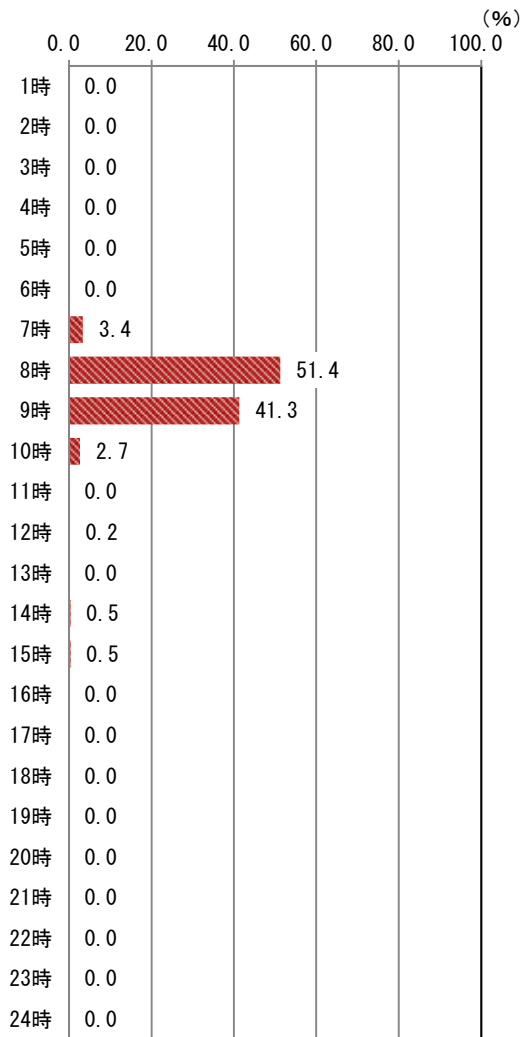
問 30-1 (2) 【日曜・祝日に児童クラブ、民間児童育成会等を利用したい方限定】希望する利用終了時刻
<IN> (N=42 ※不明除く)



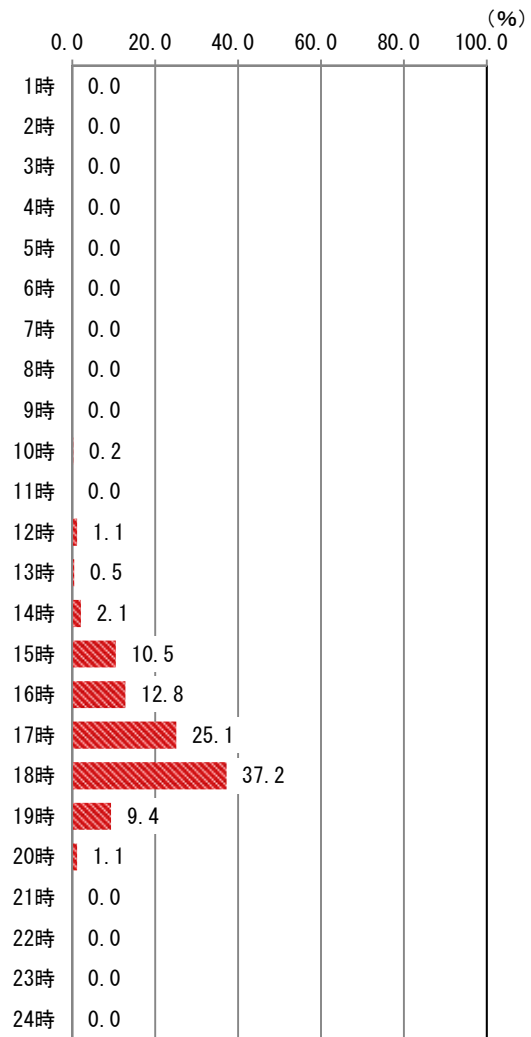
○長期休暇期間中に児童クラブ、民間児童育成会等を利用させたい方に「問 31 希望する利用開始時刻」を聞いたところ「8時」(51.4%)が最も多く挙げられた。

○「問 31 希望する利用終了時刻」については「18時」(37.2%)が最も多くなっている。

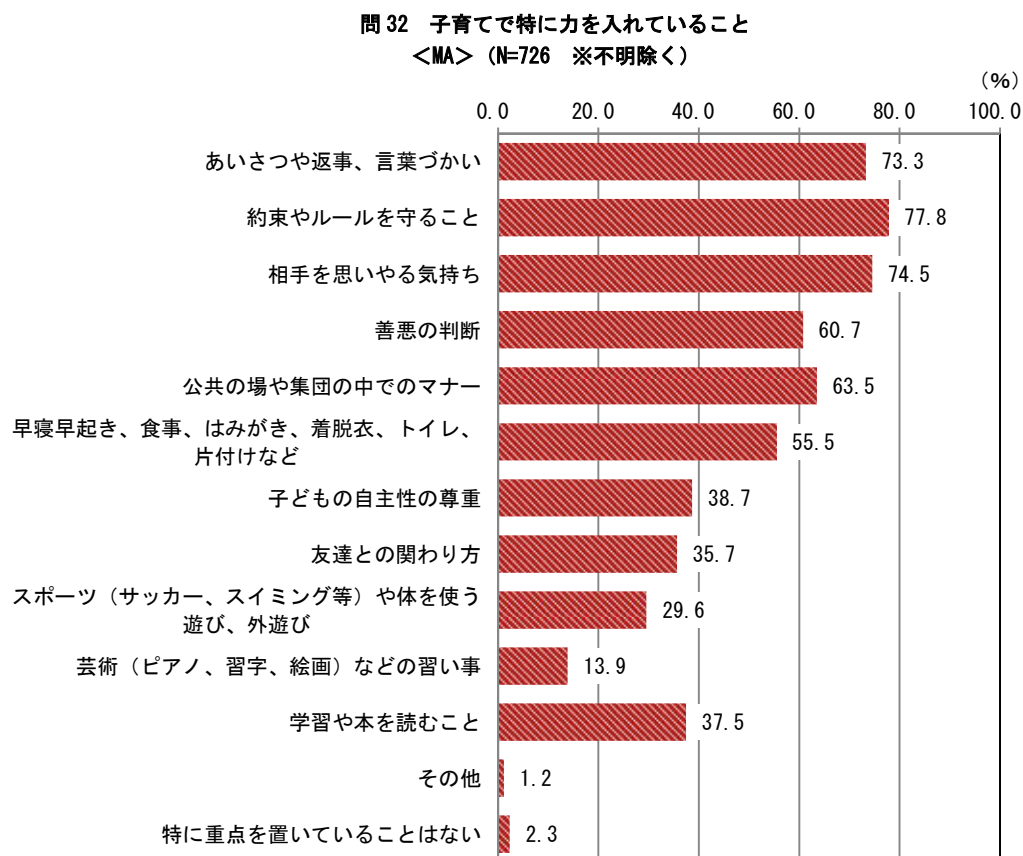
問 31 【長期休暇期間中に児童クラブ、民間児童育成会等を利用したい方限定】希望する利用開始時刻
<IN> (N=438 ※不明除く)



問 31 【長期休暇期間中に児童クラブ、民間児童育成会等を利用したい方限定】希望する利用終了時刻
<IN> (N=438 ※不明除く)



○「問 32 子育てで特に力を入れていること」として「約束やルールを守ること」(77.8%)、「相手を思いやる気持ち」(74.5%)、「あいさつや返事、言葉づかい」(73.3%) が特に多く挙げられた。



その他

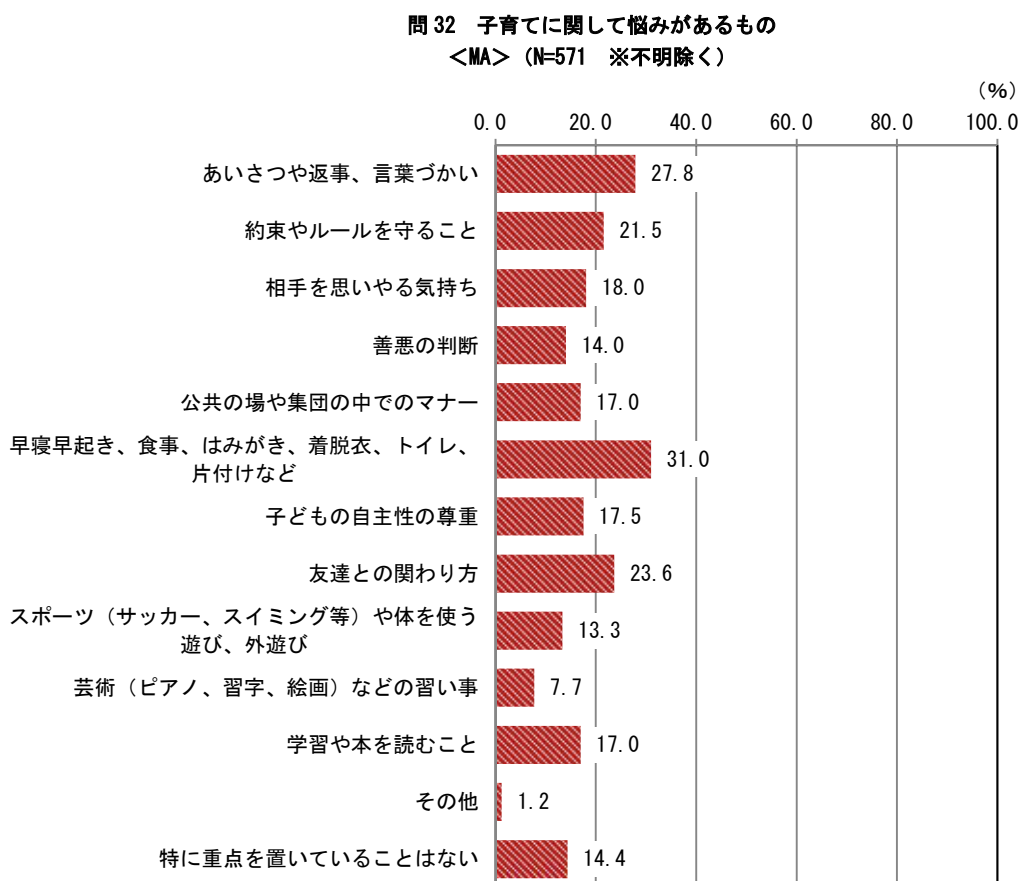
- 防犯対策
- 生きていればそれでいいです
- 食う寝る遊ぶ
- いろいろな体験をさせる
- 自分で考える、自分の気持ちを大切にする
- 簡単なお手伝い
- 家族を大切にする事
- 少しでも一緒に遊ぶことを心掛けています
- 簡単なお手伝い

(クロス集計表) 問32 子育てで特に力を入れていること・各属性別<MA>※不明除く

	N	あいさつや返事、言葉づかい	約束やルールを守ること	相手を思いやる気持ち	善悪の判断	公共の場や集団でのマナー	早寝早起き、食事はみがき、着脱衣、トイレ、片付けなど	子どもの自主性の尊重	友達との関わり方	スポーツ(サッカー、スイミング等)や体を動かす遊び、外遊び	芸術(ピアノ、習字、絵画)などの習い事	学習や本を読むこと	その他	特に重点を置いていることはない
全体	726	73.3	77.8	74.5	60.7	63.5	55.5	38.7	35.7	29.6	13.9	37.5	1.2	2.3
問4 世帯構成														
お子さん+ご両親(二世帯世帯)	630	73.3	77.8	73.0	59.8	63.5	55.2	38.3	35.9	30.3	13.8	37.1	1.1	2.2
お子さん+ご両親+祖父母(三世帯世帯)	36	72.2	75.0	83.3	75.0	63.9	63.9	33.3	33.3	16.7	5.6	38.9	-	2.8
お子さん+母/父親(ひとり親・二世帯世帯)	46	71.7	80.4	82.6	60.9	63.0	52.2	50.0	37.0	28.3	19.6	41.3	4.3	4.3
お子さん+母/父親+祖父母(ひとり親・三世帯世帯)	13	76.9	76.9	92.3	69.2	61.5	61.5	38.5	30.8	38.5	23.1	38.5	-	-
問10 子どもをみてもらえる親族・知人														
日常的に子どもの祖父母などの親族にみてもらえる	162	80.9	83.3	81.5	68.5	68.5	55.6	40.1	37.7	31.5	17.3	36.4	0.6	1.9
緊急時もしくは用事の際には子どもの祖父母などの親族にみてもらえる	424	73.8	78.1	76.4	59.9	62.0	55.4	38.9	34.7	31.1	13.7	37.0	0.9	1.9
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	17	88.2	94.1	100.0	70.6	64.7	70.6	47.1	52.9	47.1	35.3	41.2	-	-
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	99	79.8	79.8	86.9	58.6	63.6	60.6	42.4	42.4	38.4	18.2	42.4	2.0	-
子どもをみてもらえる人はいない	150	66.0	74.0	64.0	58.0	65.3	57.3	38.7	37.3	24.7	12.0	37.3	2.7	4.0

※色付きは各行について濃い順に1・2・3番めに高い値であることを示している。

○「問 32 子育てに関して悩みがあるもの」としては「早寝早起き、食事、はみがき、着脱衣、トイレ、片付けなど」(31.0%)、「あいさつや返事、言葉づかい」(27.8%) が特に多く挙げられている。



その他

- 子どもの発達 (2)
- 動画やゲームに夢中になること (2)
- 持病
- 兄弟喧嘩

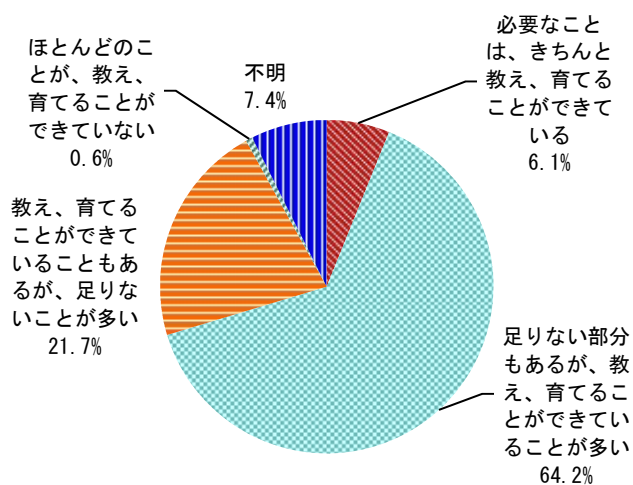
(クロス集計表) 問32 子育てに関して悩みがあるもの・各属性別<MA>※不明除く

	N	づあ かい い さ つ や 返 事 、 言 葉	と 約 束 や ル ー ル を 守 る こ と	相 手 を 思 い や る 気 持 ち	善 悪 の 判 断	公 共 の 場 や 集 団 の 中 で の マ マ ナ ー	早 寝 早 起 き 、 食 事 、 は み が き 、 着 脱 衣 、 ト イ シ、 片 付 け な ど	子 ど も の 自 主 性 の 尊 重	友 達 と の 関 わり 方	ス ポ ー ツ (サ ッ カ ー 、 使 う 遊 び 、 外 遊 び や 体 を 使 う 遊 び 、 外 遊 び)	ス ポ ー ツ (サ ッ カ ー 、 使 う 遊 び 、 外 遊 び)	学 習 や 本 を 読 む こ と	そ の 他	特 に 重 点 を 置 い て い る こ と は な い	
全体	571	27.8	21.5	18.0	14.0	17.0	31.0	17.5	23.6	13.3	7.7	17.0	1.2	14.4	
問4 世帯構成															
お子さん+ご両親(二世 代世帯)	496	27.2	21.8	18.3	14.3	16.9	30.0	17.9	23.4	13.9	7.5	16.3	1.4	14.3	
お子さん+ご両親+祖父 母(三世代世帯)	25	44.0	36.0	24.0	16.0	16.0	36.0	16.0	28.0	8.0	8.0	16.0	-	12.0	
お子さん+母/父親(ひと り親・二世代世帯)	40	22.5	12.5	15.0	10.0	20.0	40.0	12.5	27.5	12.5	7.5	25.0	-	20.0	
お子さん+母/父親+祖父 母(ひとり親・三世代世帯)	9	44.4	11.1	-	11.1	11.1	33.3	22.2	11.1	-	11.1	22.2	-	-	
問10 子どもをみてもら える親族・知人															
日常的に子どもの祖父 母などの親族にみて もらえる	122	28.7	18.0	14.8	9.8	13.1	33.6	14.8	22.1	8.2	7.4	13.9	0.8	11.5	
緊急時もしくは用事 の際には子どもの祖父 母などの親族にみて もらえる	334	27.2	20.4	17.7	12.6	15.9	30.5	18.9	23.4	15.0	9.0	16.5	1.5	14.7	
日常的に子どもをみて もらえる友人・知人が いる	8	37.5	12.5	12.5	-	-	12.5	-	37.5	12.5	25.0	12.5	-	12.5	
緊急時もしくは用事 の際には子どもをみて もらえる友人・知人が いる	77	24.7	16.9	19.5	15.6	18.2	29.9	16.9	19.5	18.2	9.1	19.5	-	13.0	
子どもをみてもらえ る人はいない	124	30.6	27.4	18.5	17.7	20.2	29.8	15.3	25.8	12.1	7.3	20.2	1.6	13.7	

※色付きは各行について濃い順に1・2・3番めに高い値であることを示している。

○「問 33 ご家庭での子育てについてどのように思っているか」との設問については、「教え、育てることができている」（「必要なことは、きちんと教え、育てることができている」「足りない部分もあるが、教え、育てることができていることが多い」）が計 70.3%である一方、「教え、育てることができていない」（「教え、育てることができていることもあるが、足りないことが多い」「ほとんどのことが、教え、育てることができていない」）との回答が 22.3%であった。

問 33 ご家庭での子育てについてどのように思っているか
 <SA> (N=785)



(クロス集計表) 問33 ご家庭での子育てについてどのように思っているか・各属性別<SA>

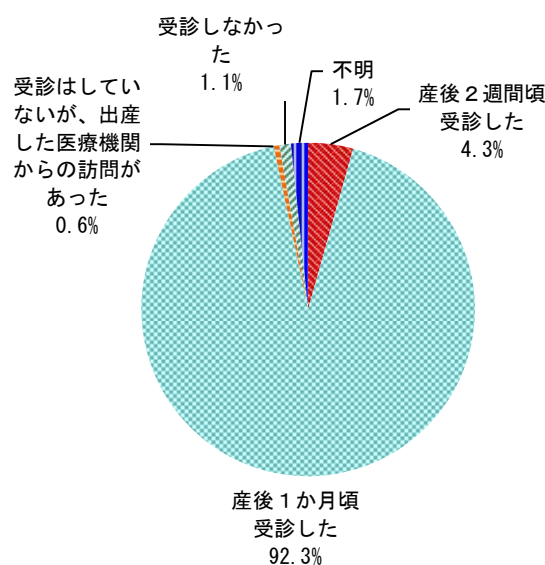
	N	るえ、必要なことは、きちんとい教	るえ、足りない部分もあるが、教	いることが多いが、足りな	教え、育てることができ	育ほとんどのことが、教え、	不明
全体	785	6.1	64.2	21.7	0.6	7.4	
問4 世帯構成							
お子さん+ご両親(二世 世帯)	684	6.3	64.2	21.3	0.6	7.6	
お子さん+ご両親+祖父 母(三世帯世帯)	39	2.6	61.5	28.2	-	7.7	
お子さん+母/父親(ひとり 親・二世帯世帯)	48	6.2	60.4	25.0	2.1	6.2	
お子さん+母/父親+祖父 母(ひとり親・三世帯世帯)	13	7.7	84.6	7.7	-	-	
問10 子どもをみてもらえる親族・知人							
日常的に子どもの祖父母な どの親族にみてもらえる	177	6.8	67.2	17.5	-	8.5	
緊急時もしくは用事の際に は子どもの祖父母などの親 族にみてもらえる	462	6.3	65.4	20.1	0.6	7.6	
日常的に子どもをみてもら える友人・知人がいる	18	27.8	66.7	-	-	5.6	
緊急時もしくは用事の際に は子どもをみてもらえる友 人・知人がいる	107	8.4	68.2	13.1	-	10.3	
子どもをみてもらえる人は いない	160	4.4	61.9	27.5	1.2	5.0	

※色付きは各行について濃い順に1・2・3番めに高い値であることを示している。

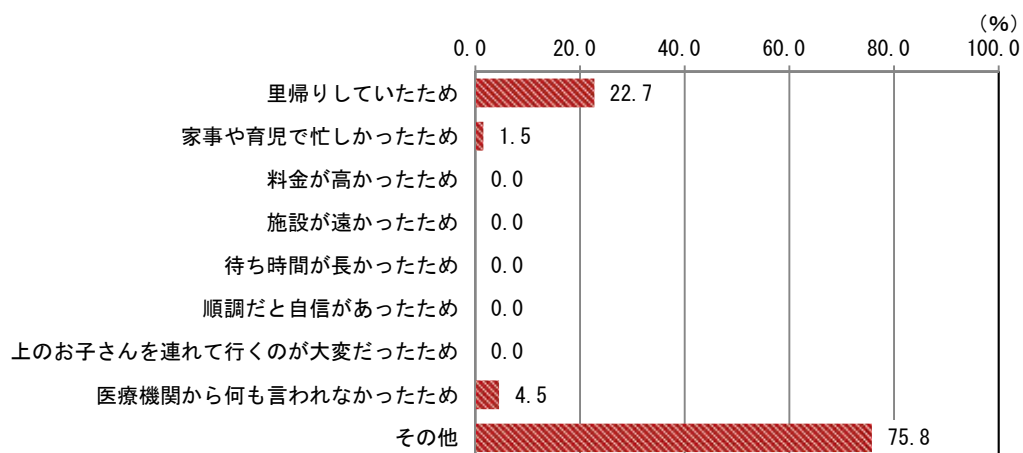
K. 妊娠・出産、育児休業や短時間勤務制度

- 「問 34 1ヶ月健診（産後健診）を受診したか」との間について「受診しなかった」は1.1%であった。
- 「問 34-1 1ヶ月健診（産後健診）を受診しなかった理由」としては、「その他」として「入院中だったため」(27件、40.9%)が最も多く挙げられた。次に「里帰りしていたため」(22.7%)が続く。

問 34 1ヶ月健診（産後健診）を受診したか<SA> (N=6,116)



問 34-1 【1ヶ月健診未受診者限定】1ヶ月健診（産後健診）を受診しなかった理由<MA> (N=66 ※不明除く)

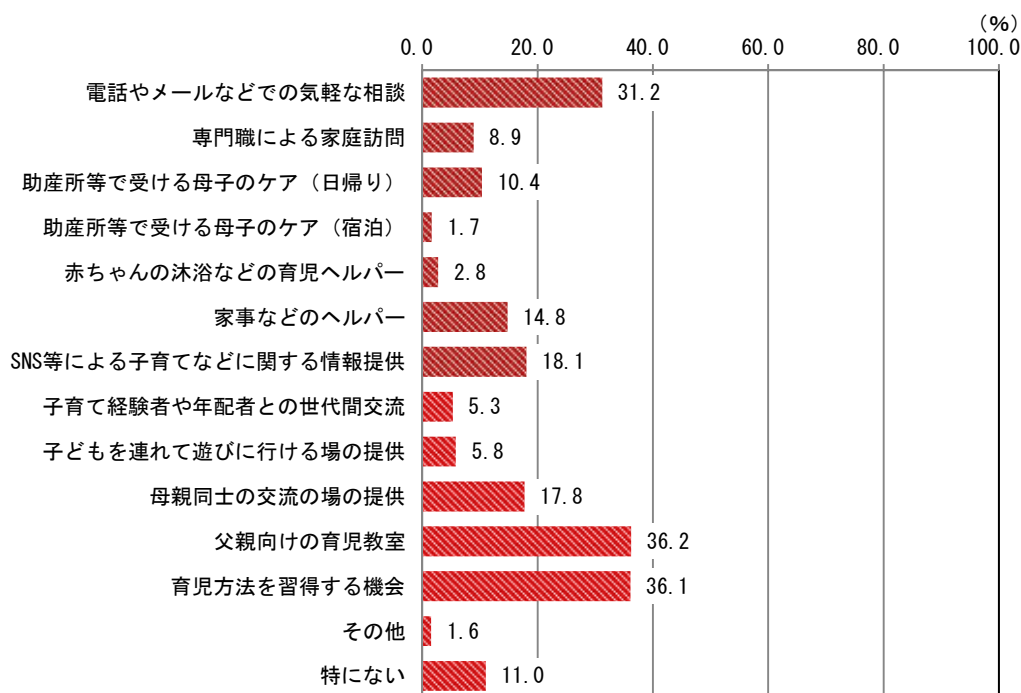


その他

- 入院中だったため (27)
- 札幌市外に住んでいたため (11)
- まだ出産から1ヶ月経っていない (7) など

○「問 35 妊娠中に特に重要だと思うサポート」としては「父親向けの育児教室」(36.2%)、「育児方法を習得する機会」(36.1%)がほぼ同率で多く挙げられている。「電話やメールなどでの気軽な相談」(31.2%)が次ぐ。

問 35 妊娠中に特に重要だと思うサポート
<MA> (N=5,150 ※不明除く)

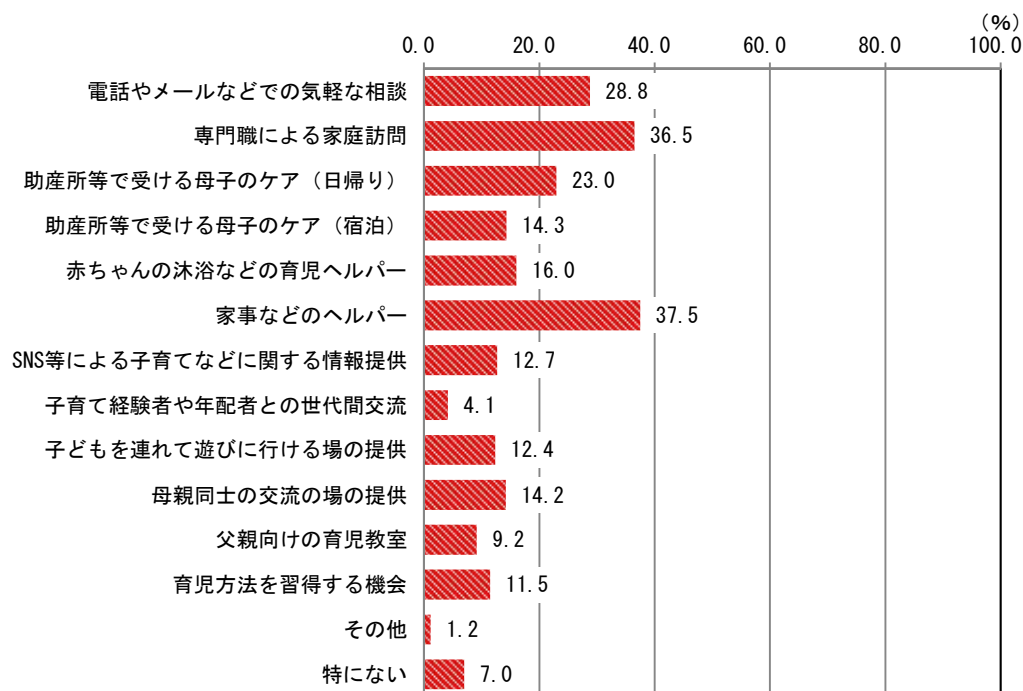


その他

- 上の子どもの託児・ベビーシッター等 (10)
- 保育所・保育事業・手続き等についての説明・情報 (9)
- 経済的な補助 (8)
- 産後のケア・育児等について学べる場・情報提供・アドバイス (6)
- 妊娠中・出産のケア・注意点等について学べる場・情報提供 (5)
- 母乳に関するケア・情報提供 (5) など

○「問 35 出産直後から4ヶ月までに特に重要だと思うサポート」としては、「家事などのヘルパー」(37.5%)、「専門職による家庭訪問」(36.5%)がほぼ同率で多く挙げられた。以下「電話やメールなどでの気軽な相談」(28.8%)が続く。

問 35 出産直後から4ヶ月までに特に重要だと思うサポート
 <MA> (N=5,006 ※不明除く)

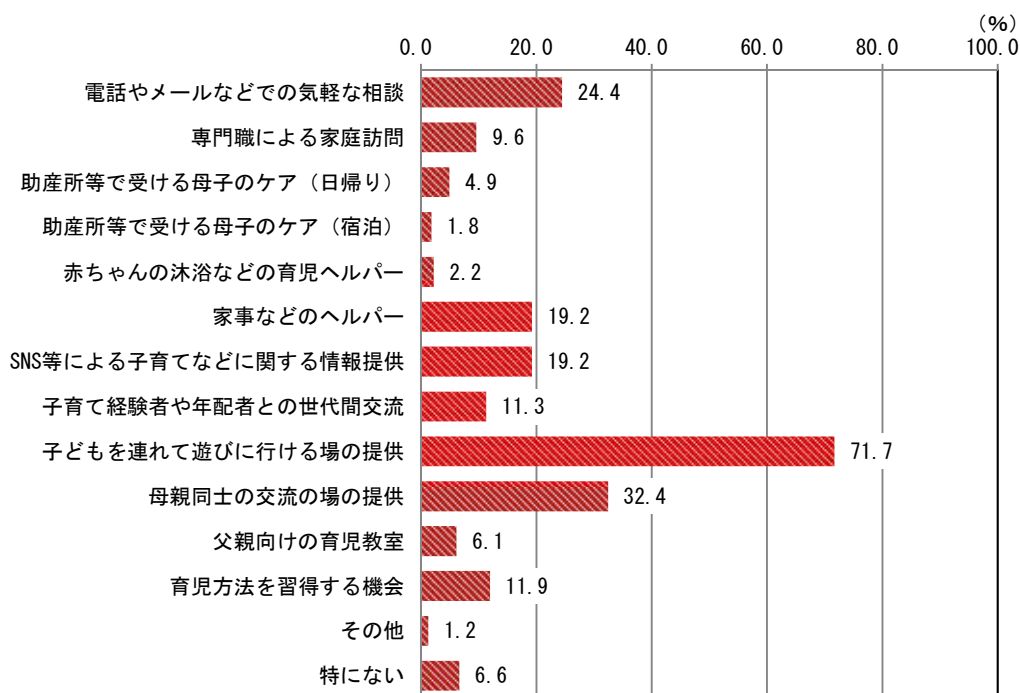


その他

- 母親の精神・身体のケア・リフレッシュの機会 (10)
- 経済的な補助 (8)
- 父親の協力 (6)
- 母乳に関するケア・情報提供 (5) など

○「問 35 5ヶ月から2歳時までに特に重要だと思うサポート」としては「子どもを連れて遊びに行ける場の提供」(71.7%)が最も多く挙げられた。「母親同士の交流の場の提供」(32.4%)が次ぐ。

問 35 5ヶ月から2歳時までに特に重要だと思うサポート
<MA> (N=5,181 ※不明除く)



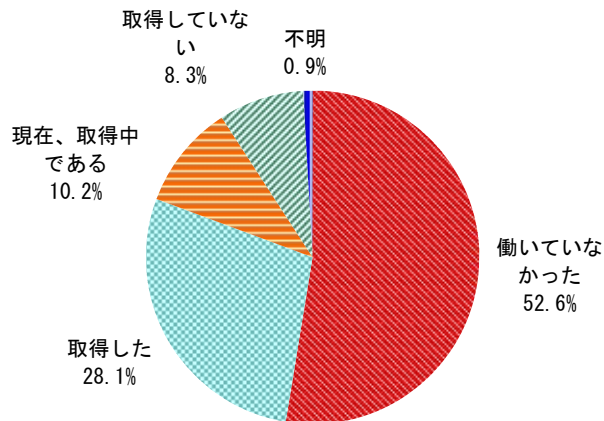
その他

- 気軽に一時預かり・託児ができる場 (13)
- 経済的な補助 (7)
- 父親の協力 (5)
- 母親の精神・身体のケア・リフレッシュの機会 (5) など

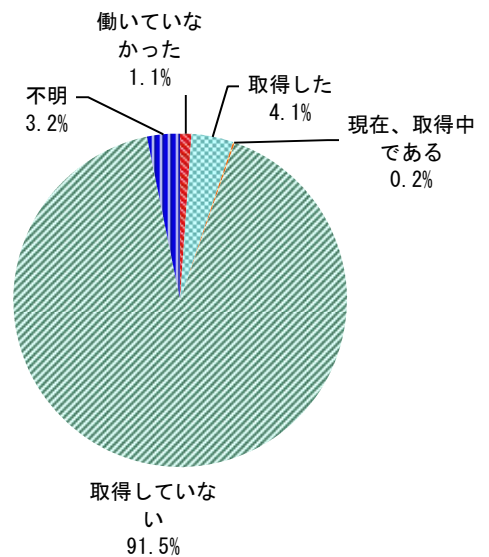
○「問 36 母親は子の出生時に育児休業を取得したか」を聞いたところ「取得した」「現在、取得中である」は計 38.3%であった。

○一方、父親について「問 36 育児休業を取得したか」を聞いたところ、「取得した」「現在、取得中である」は計 4.3%にとどまっている。

問 36 母親は子の出生時に育児休業を取得したか
<SA> (N=6,116)

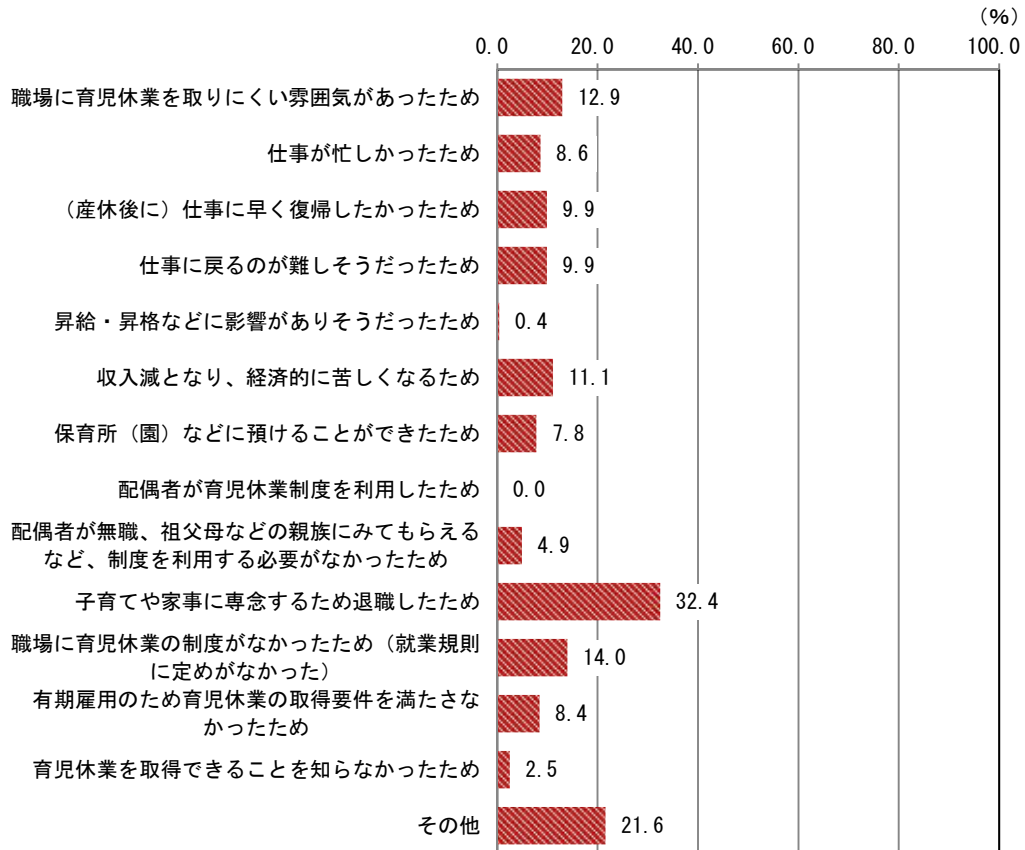


問 36 父親は子の出生時に育児休業を取得したか
<SA> (N=6,116)



○育児休業を取得しなかった母親に「問 36-1 育児休業を取得しなかった理由」を聞いたところ「子育てや家事に専念するため退職したため」(32.4%)が最も多く挙げられた。「職場に育児休業の制度がなかったため(就業規則に定めがなかった)」(14.0%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったため」(12.9%)も1割以上が挙げている。

問 36-1 【育児休業を取得しなかった方限定】
母親の育児休業を取得しなかった理由<MA> (N=487 ※不明除く)

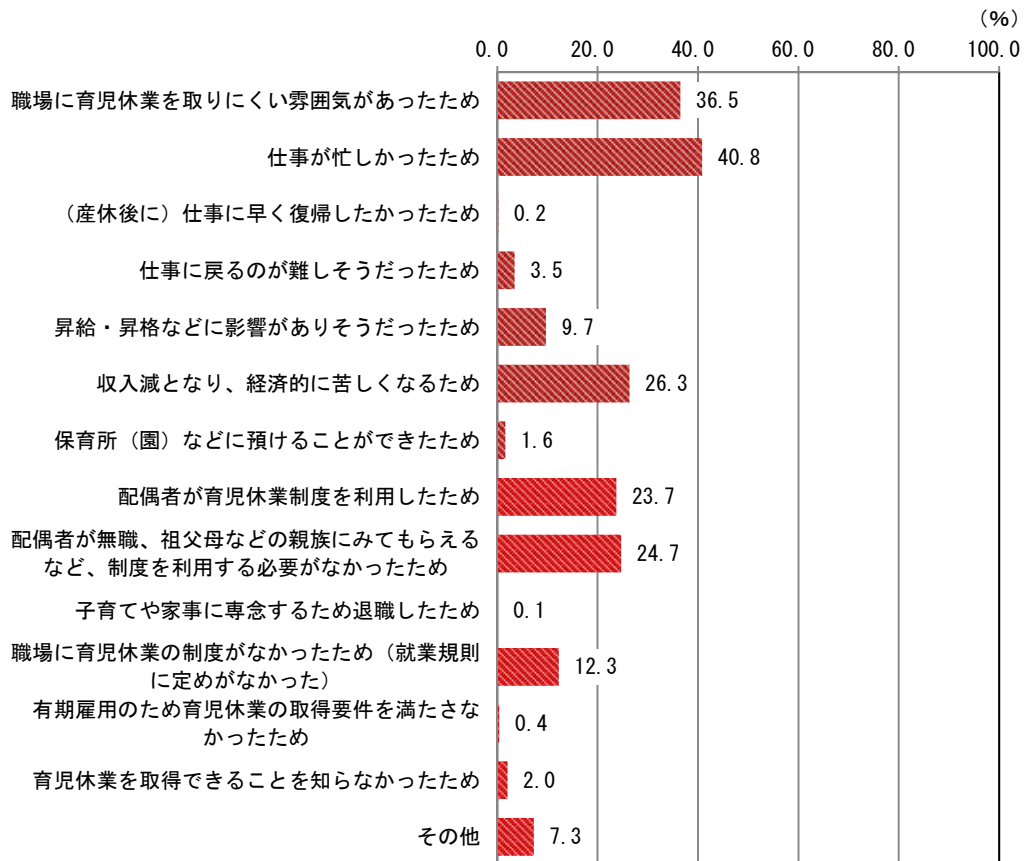


その他

- 自営業・経営者・役員のため (44)
- 退職した・退職予定だったため (15)
- 就労していなかったため (13)
- 育休を取れる雰囲気になかった・取れる資格がなかったため (5) など

○育児休業を取得しなかった父親に「問 36-1 育児休業を取得しなかった理由」を聞くと「仕事が忙しかったため」(40.8%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったため」(36.5%) が特に多く挙げられた。「収入減となり、経済的に苦しくなるため」(26.3%)、「配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかったため」(24.7%)、「配偶者が育児休業制度を利用したため」(23.7%) も2割以上が挙げた。

問 36-1 【育児休業を取得しなかった方限定】
父親の育児休業を取得しなかった理由<MA> (N=5,336 ※不明除く)



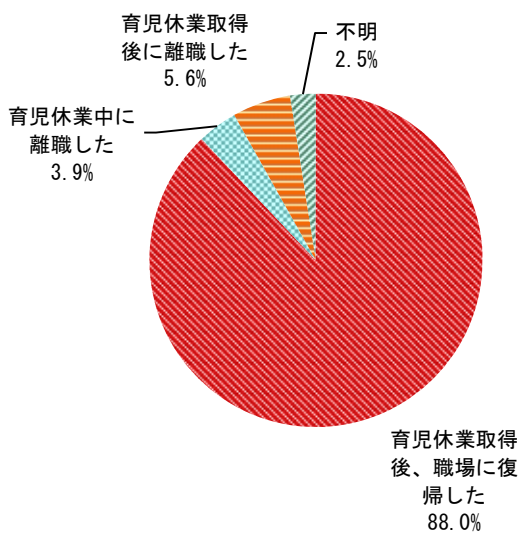
その他

- 自営業・経営者・役員のため (101)
- 育休を取る気がなかった・考えもしなかったため (56)
- 必要がないと考えたため (54)
- 有給休暇等を利用したため (23)
- 職場に育休制度・前例がなかったため (12)
- 職場が育休を取れる雰囲気ではなかったため (10)
- 里帰り出産だったため・祖父母等のサポートがあったため (9)
- 母親が就労していなかった・退職したため (8)
- 母子家庭のため (7)
- 母親が育児ができるため (6)
- 育児は母親がすればよいと考えているため (5) など

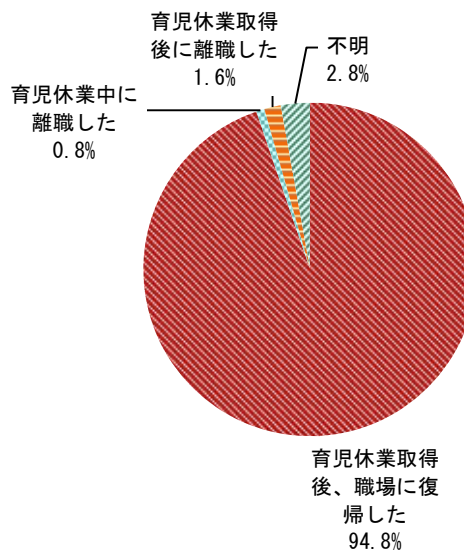
○母親に「問 36-2 育児休業取得後職場に復帰したか」を聞いたところ 88.0%が「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した。一方で「育児休業中に離職した」「育児休業取得後に離職した」方も計 9.5%いる。

○父親については、94.8%が「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答している。

問 36-2 【育児休業取得者限定】母親が育児休業取得後職場に復帰したか<SA> (N=1,718)



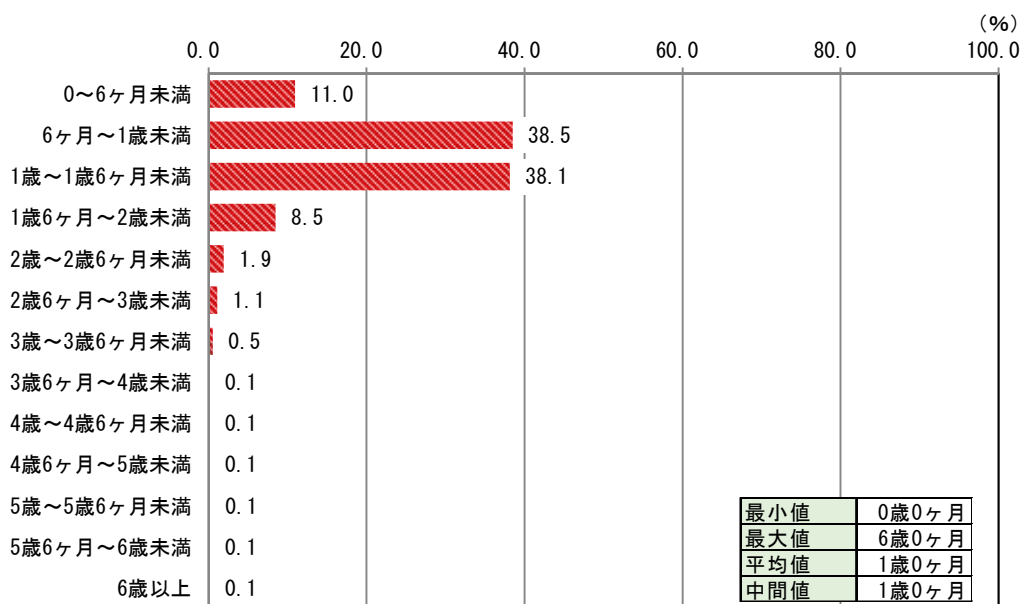
問 36-2 【育児休業取得者限定】父親が育児休業取得後職場に復帰したか<SA> (N=249)



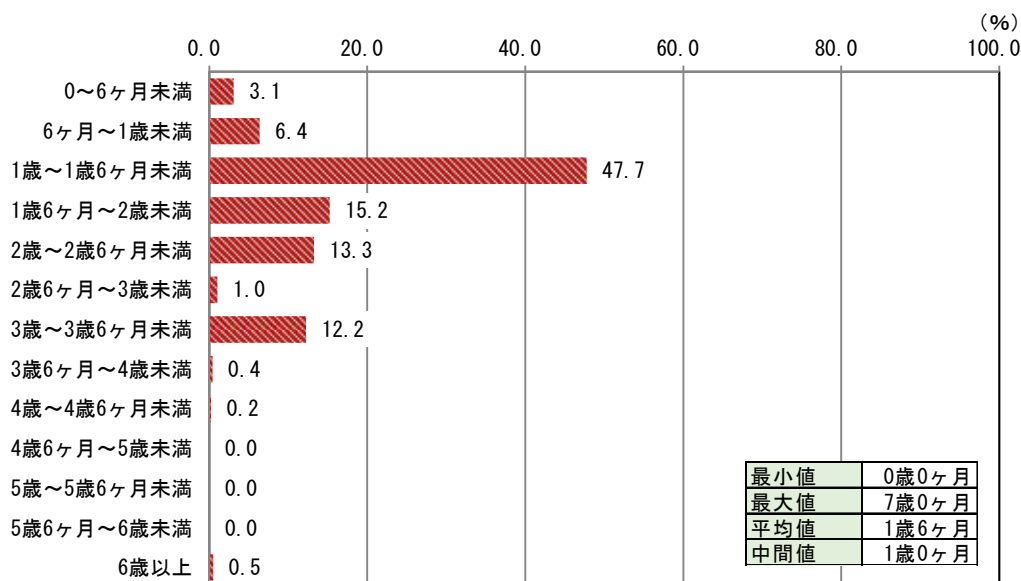
<母親の育休後の職場復帰時期等>

○育児休業取得後、職場に復帰した方への問である「問 36-3 母親は子が何歳の時に職場に復帰したか（実際）」と「問 36-3 母親は子が何歳の時に職場に復帰したかったか（希望）」を比較すると、母親の76.2%が、子が「1歳～2歳6ヶ月未満」の時に復帰したいと考えていた一方、実際は49.5%が「0ヶ月～1歳未満」で復職している状況がわかった。

問 36-3 【育児休業取得後、職場に復帰した方限定】
母親は子が何歳の時に職場に復帰したか（実際）<IN> (N=1,479 ※不明除く)

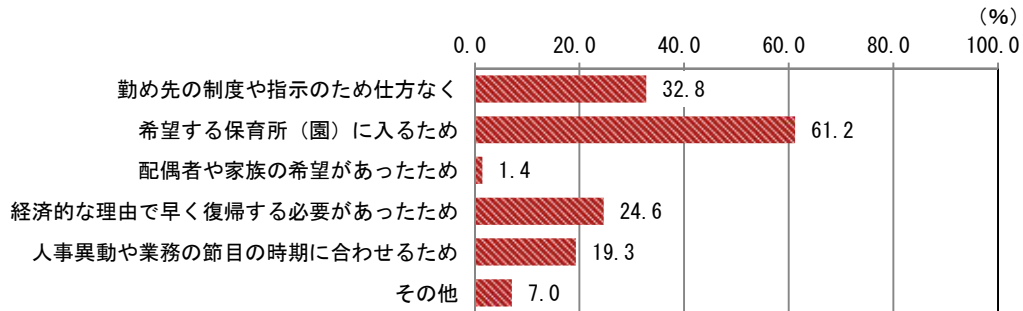


問 36-3 【育児休業取得後、職場に復帰した方限定】
母親は子が何歳の時に職場に復帰したかったか（希望）<IN> (N=1,464 ※不明除く)



- 「問 36-4 母親が希望の時期に職場復帰しなかった（育児休業取得後の職場復帰が希望より早かった）理由」として「希望する保育所（園）に入るため」（61.2%）が最も多く挙げられている。「勤め先の制度や指示のため仕方なく」（32.8%）が次ぐ。
- 逆に「問 36-5 育児休業取得後の職場復帰が希望より遅かった理由」としても「希望する保育所（園）に入るため」（82.0%）が最も多く挙げられている。

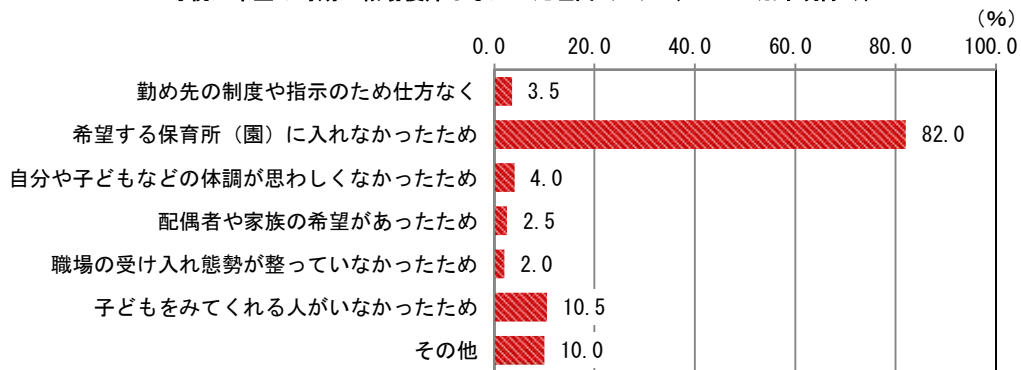
問 36-4 【育児休業取得後の職場復帰が希望より早かった方限定】
母親が希望の時期に職場復帰しなかった理由<MA> (N=982 ※不明除く)



その他

- 保育所の入所時期の関係で (18)
- 育児疲れ・育児以外のことをしたかったため (7)
- 仕事が多忙なため・職場が人手不足のため (6)
- 復職しないと兄弟が保育所を退所させられるから (6) など

問 36-5 【育児休業取得後の職場復帰が希望より遅かった方限定】
母親が希望の時期に職場復帰しなかった理由<MA> (N=200 ※不明除く)



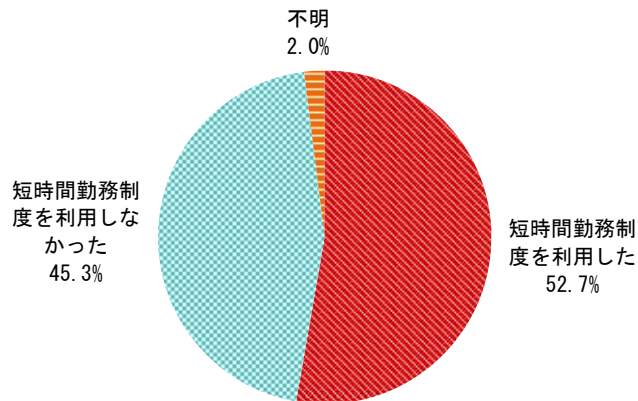
その他

- 次の子どもを妊娠したため (8) など

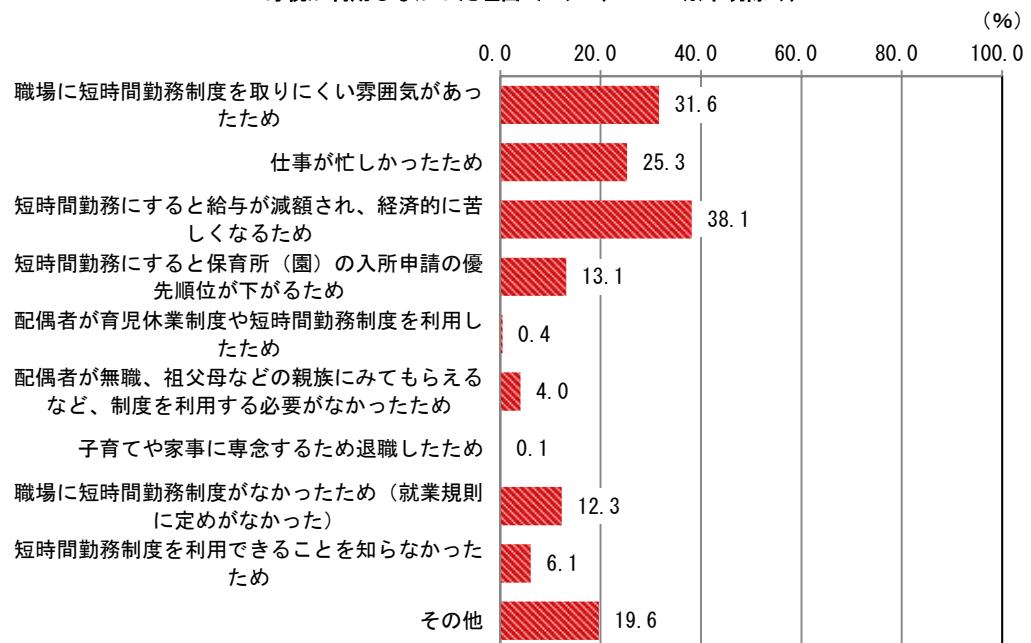
○育児休業取得後、職場に復帰した母親に「問 36-6 復帰後、短時間勤務制度を利用したか」聞いたところ、半数以上が「短時間勤務制度を利用した」（52.7%）と回答した。

○「問 36-7 短時間勤務制度を利用しなかった理由」だが「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなるため」（38.1%）が最も多く挙げられた。「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったため」（31.6%）、「仕事が忙しかったため」（25.3%）が次ぐ。

問 36-6 【育児休業取得後、職場に復帰した方限定】
母親は復帰後、短時間勤務制度を利用したか
<SA> (N=1,511)



問 36-7 【短時間勤務制度を利用しなかった方限定】
母親が利用しなかった理由<MA> (N=677 ※不明除く)



その他

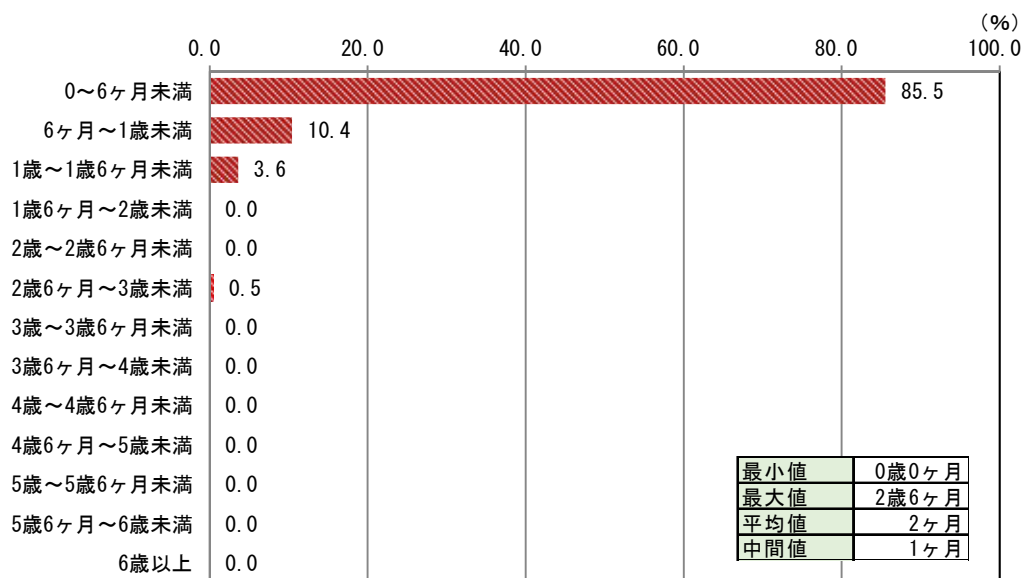
- 短時間勤務・パートタイムのため (35)
- 利用する必要がなかった・必要性を感じなかったため (21)
- 制度はあるが実際は使えなかった・使いにくかったため (11)
- 自営業・経営者・役員のため (9)
- 働きたかったため・フルタイムで働きたかったため・働けると思ったため (7)
- 査定・昇進等に響くため (5) など

<父親の育休後の職場復帰時期等>

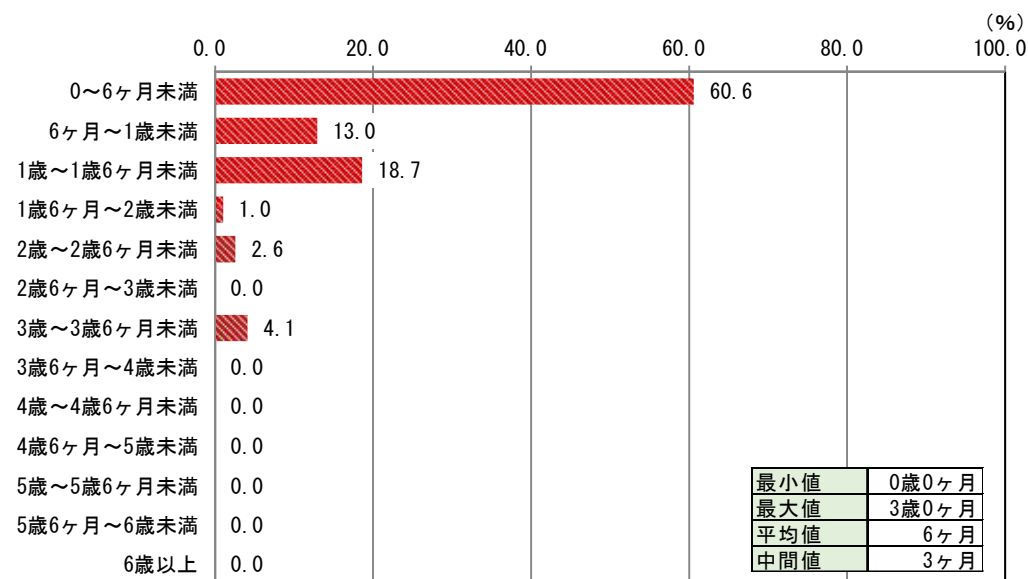
○父親については前述したとおり育休取得者が母親に比べて圧倒的に少ない。

○父親について「問 36-3 子が何歳の時に職場に復帰したか（実際）」と「問 36-3 子が何歳の時に職場に復帰したかったか（希望）」を比較すると「希望」では「0～6ヶ月」は60.6%であるが、「実際」は24.9ポイント多い85.5%となっている。

問 36-3 【育児休業取得後、職場に復帰した方限定】
父親は子が何歳の時に職場に復帰したか（実際）（N=221 ※不明除く）

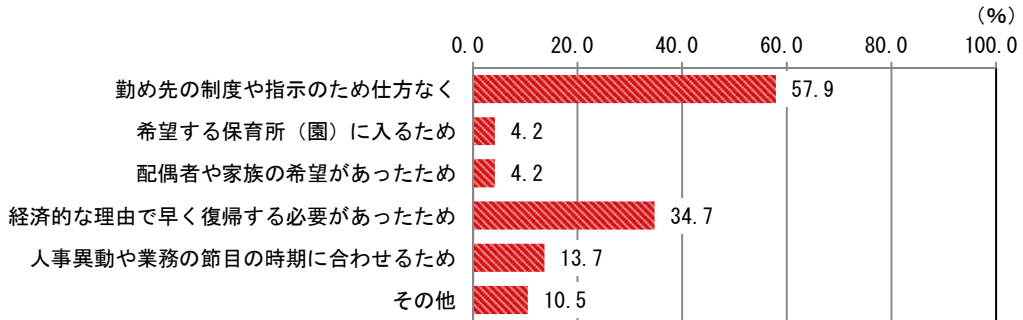


問 36-3 【育児休業取得後、職場に復帰した方限定】
父親は子が何歳の時に職場に復帰したかったか（希望）<IN>（N=193 ※不明除く）



○「問 36-4 父親が希望の時期に職場復帰しなかった（育児休業取得後の職場復帰が希望より早かった）理由」としては「勤め先の制度や指示のため仕方なく」（57.9%）が最も多く挙げられている。

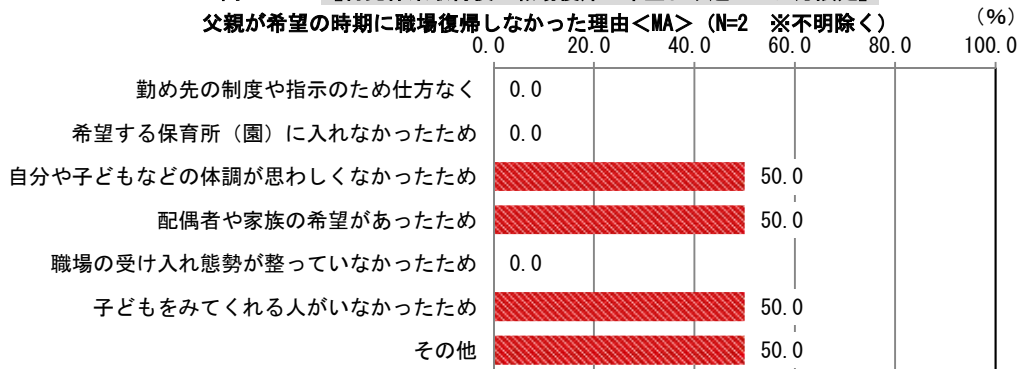
問 36-4 【育児休業取得後の職場復帰が希望より早かった方限定】
父親が希望の時期に職場復帰しなかった理由<MA>（N=95 ※不明除く）



その他

- 育児が長いと周囲に迷惑をかけてしまう・申しわけないため(2)
- 仕事が忙しかったため・仕事があったため(2) など

問 36-5 【育児休業取得後の職場復帰が希望より遅かった方限定】
父親が希望の時期に職場復帰しなかった理由<MA>（N=2 ※不明除く）



その他

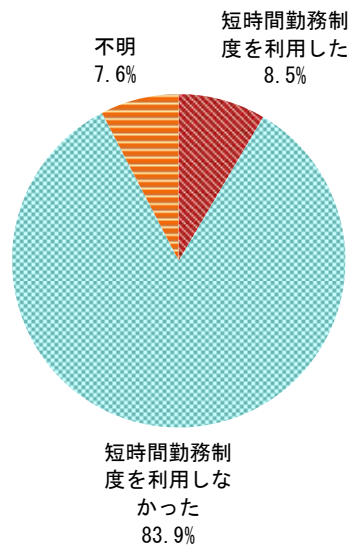
- 妻の体調不良

- 育児休業取得後、職場に復帰した父親に「問 36-6 復帰後、短時間勤務制度を利用したか」聞いたところ、8割以上が「短時間勤務制度を利用しなかった」（83.9%）と回答した。
- 「問 36-7 短時間勤務制度を利用しなかった理由」だが「仕事が忙しかったため」（40.4%）が最も多く挙げられた。以下「配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかったため」（27.5%）、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなるため」（26.4%）、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったため」（23.0%）が次ぐ。

問 36-6 【育児休業取得後、職場に復帰した方限定】

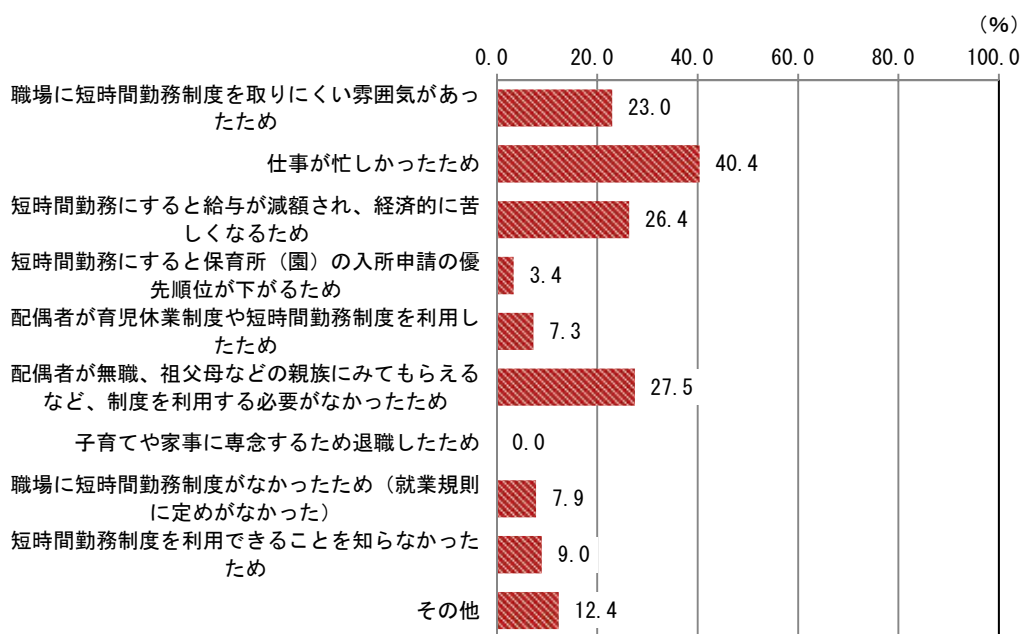
父親は復帰後、短時間勤務制度を利用したか

<SA> (N=236)



問 36-7 【短時間勤務制度を利用しなかった方限定】

父親が利用しなかった理由<MA> (N=178 ※不明除く)



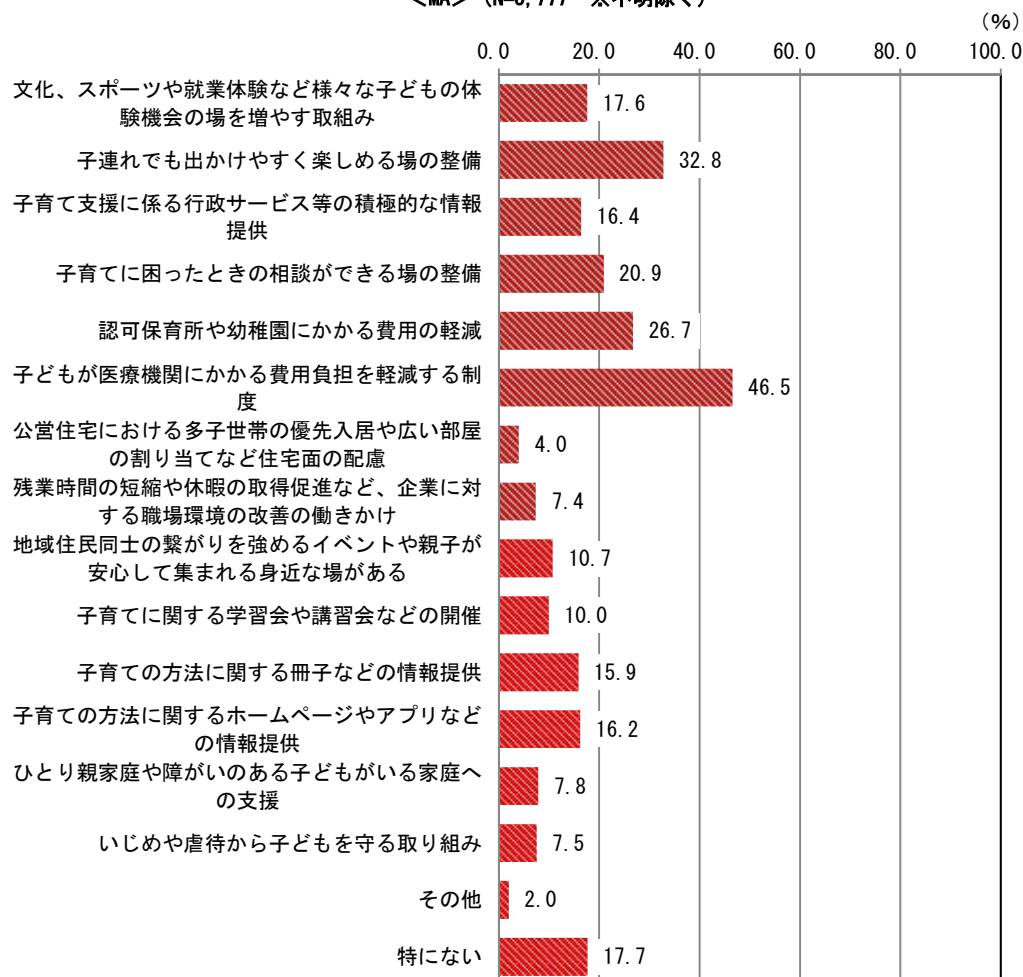
その他

○利用する必要がなかった・必要性を感じなかったため（11） など

L. 子育て支援施策に関するご意見・ご要望

○「問 37（1）既にある程度充実していると考える子育て支援施策」としては「子どもが医療機関にかかる費用負担を軽減する制度」（46.5%）が最も多く挙げられた。「子連れでも出かけやすく楽しめる場の整備」（32.8%）、「認可保育所や幼稚園にかかる費用の軽減」（26.7%）が次ぐ。

問 37（1）既にある程度充実していると考える子育て支援施策
 <MA> (N=5,777 ※不明除く)

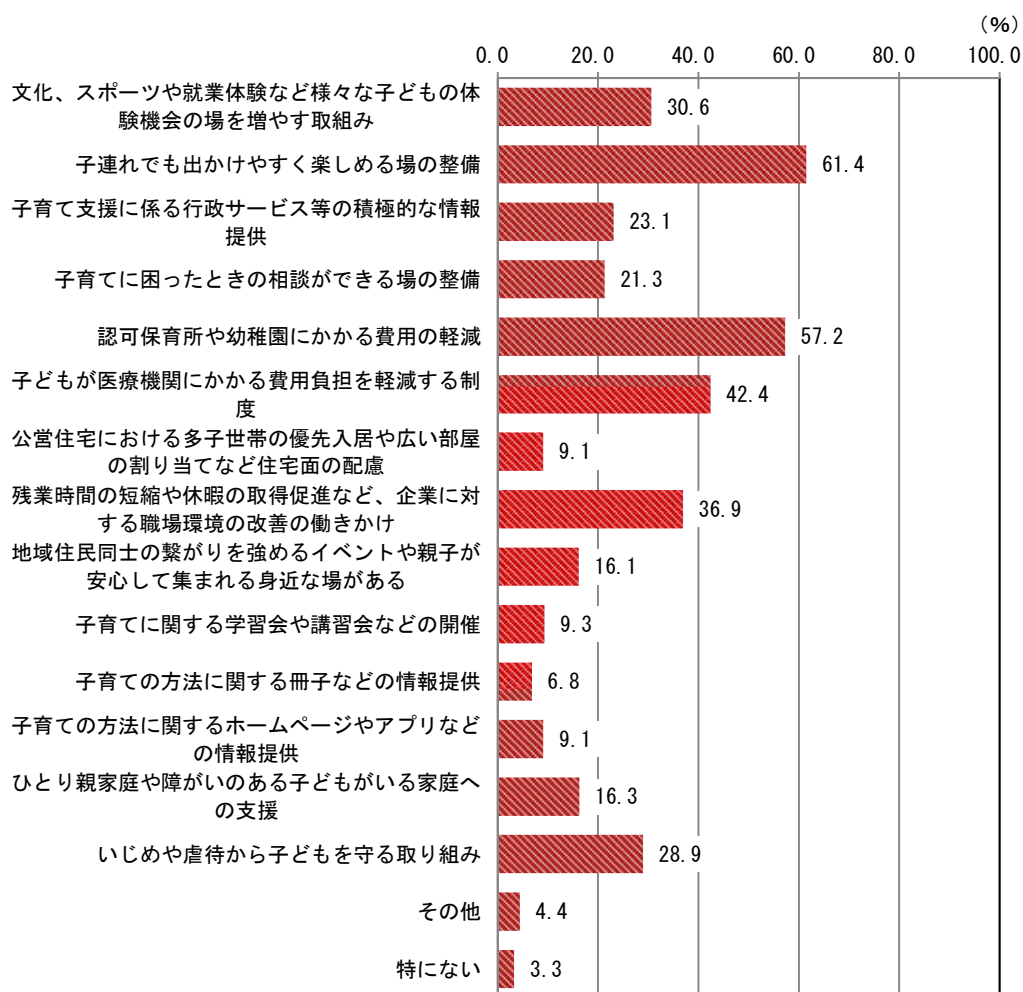


その他

- 公園 (4)
- 冬の遊び場所 (2)
- 子育てサロン (2) など

○「問 37（2）今後充実させてほしい子育て支援施策」については「子連れでも出かけやすく楽しめる場の整備」（61.4%）、「認可保育所や幼稚園にかかる費用の軽減」（57.2%）が特に多く挙げられた。「子どもが医療機関にかかる費用負担を軽減する制度」（42.4%）、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対する職場環境の改善の働きかけ」（36.9%）、「文化、スポーツや就業体験など様々な子どもの体験機会の場を増やす取組み」（30.6%）も 3 割以上の方が挙げた。

問 37（2）今後充実させてほしい子育て支援施策
 <MA>（N=5,973 ※不明除く）



その他

- 保育所の増設・定員の拡充・待機児童解消等（36）
- 経済的な補助・手当増額（30）
- 屋内の遊び場（無料等）（26）
- 病児・病後児保育（13）
- 一時預かりサービスの利便性向上（11）
- 保育士の待遇改善・育成・増員（8）
- 土・日・祝日の保育所・託児施設の開所（8）
- 認可外保育施設の費用補助・軽減（7）
- 子育てに関する相談（7）
- 子育て世帯に優しい公共交通機関・交通関連施設（6）
- 気軽に預けられる託児施設（5）
- 産前・産後のケア（5） など

(クロス集計表) 問37(2) 今後充実させてほしい子育て支援施策・宛名児童の生年月日別<SA>※不明除く

	N	文化・スポーツや就業体験など様々な子ども体験機会の場を増やす取組み	子ども連れでも出かけやすく楽しめる場の整備	子育て支援に係る行政サービス等の積極的な情報提供	子育てに困ったときの相談ができる場の整備	認可保育所や幼稚園にかかる費用の軽減	子どもが医療機関にかかる費用負担を軽減する制度	優先住宅における多世代の優など住宅面の配慮	公営住宅における多世代の優など住宅面の配慮	残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対する職場環境の改善の働きかけ	地域住民同士の繋がりや安心を促すイベントや親子が安心して集まれる身近な場がある	子育てに関する学習会や講習会などの開催	子育ての方法に関する冊子などの情報提供	子育ての方法に関するホームページやアプリなどの情報提供	ひとり親家庭や障がいのある子どもがいる家庭への支援	いじめや虐待から子どもを守る取り組み	その他	特になし
全体	5,973	30.6	61.4	23.1	21.3	57.2	42.4	9.1	36.9	16.1	9.3	6.8	9.1	16.3	28.9	4.4	3.3	
問2 宛名児童の生年月日																		
H30年4月以降	805	28.0	63.2	27.0	23.2	63.5	34.9	10.1	43.1	17.0	13.0	7.7	10.7	14.2	28.3	3.4	4.0	
H29年4～30年3月	1,199	28.1	65.6	23.9	22.8	60.8	34.8	8.9	38.2	16.3	10.3	8.6	11.8	14.7	28.1	3.6	3.2	
H28年4～29年3月	1,058	29.6	64.2	22.4	21.3	56.0	40.5	9.3	35.5	17.1	9.7	6.3	9.4	16.3	26.6	4.8	2.8	
H27年4～28年3月	933	33.7	63.0	25.4	21.2	56.1	45.7	8.9	37.2	17.3	8.5	7.3	8.4	14.7	30.5	5.3	2.7	
H26年4～27年3月	913	32.9	58.5	19.9	19.2	54.1	46.7	7.7	36.6	14.3	7.0	5.5	6.8	18.1	29.5	4.7	3.2	
H25年4～26年3月	761	32.7	55.2	19.4	19.8	56.6	52.2	8.5	32.1	15.0	7.4	5.5	6.4	18.0	28.6	4.7	3.7	
H24年4～25年3月	259	29.7	51.0	25.1	21.2	43.2	51.4	12.0	31.7	14.7	7.7	4.2	9.3	22.0	36.7	4.6	5.0	

※色付きは各行について濃い順に1・2・3番めに高い値であることを示している。

<子育ての環境や支援に関するご意見・ご要望（自由記述）>

○問 38 の自由意見記入欄には 1,852 名の方が記入された（「特になし」等は除く）。

○特に多かった「意見・要望の種類・分野」は下表の通りである。

意見・要望の種類・分野	該当数
医療費・教育費・交通費等補助、経済的な支援	453
保育所・幼稚園の整備・職員増、待機児童の解消	294
保育所・幼稚園にかかる費用	185
職場・社会の子育て・子育て世帯への配慮・意識改善（産育休・短時間勤務等）	157
屋内型の遊び場の整備等	154
子育て支援等に関する情報	135
相談（窓口、保健師・行政等の対応）	131
一時預かり（病児・病後児保育以外）	109
子育てサロン	89
親・親子対象のイベント・イベント情報	81
保育士・幼稚園教諭の待遇改善・スキルアップ	60
病児・病後児保育	54
バリアフリー化（公共空間・交通機関等）	52
延長保育・土日祝日の保育等	49
公園等屋外の遊び場の整備、遊び場全般	47
子連れで行ける店舗・場所の普及	37
交流・交流の場（同世代・異世代・地域内等）	36
医療的ケア児、障がい・発達障がい	30
学童保育（児童クラブ、民間児童育成会）	30
ゴミ袋の支援	29

●上位 10 種類・分野の代表的な意見

「医療費・教育費・交通費等補助、経済的な支援」に関して

- 乳児医療にかかる費用負担の軽減。他県から引っ越してきましたが、そちらでは高校生まで医療費はかかりませんでした。子育てをしやすい街と胸をはって言えるよう、札幌市にも、せめて中学生までは無料にしてほしいです。
- 医療費を無料にして欲しい。給食費を無料にする。（幼稚園、学校）・おむつ、ミルク代の補助金を。
- 子どもの医療費を無償にして欲しい。特に乳児期は自分の体調を言葉で伝えられないので、受診を迷うことが多い。無償になれば、気軽に受診でき、心配事を相談できるので、安心して子育てができると思う。インフルエンザワクチンや母乳外来を無償で受けられるようにして欲しい。以前住んでいた自治体では子育て応援券というものがあって、券を利用して無償で受けられた。
- 子どもの医療費の助成について、所得の上限を設けないでほしい。例えばインフルエンザの予防接種代について、老人への助成があって、なぜ子どもにはないのですか？ 子どもは 2 回も接種が必要です。高齢化を援助して、子育てを援助していないように感じる。
- 小中学生の医療費の軽減。おたふく、B 型肝炎などワクチン接種の無償化又は一部補助。
- 1 年生まで医療費の補助があるのは助かりますが、年齢が増すほど教育費もかかるため、小学校に通っている間は、もう少し医療費の補助年齢を延ばしてほしいです。わが家の場合

定期的に通院が必要な子たちばかりなので、経済的負担が大きいです。

- 医療機関の負担軽減はとても助かっています。安心して子どもを病院へつれていけるので、なくさないでほしいです。
- 第3子以降の子どもが産まれたときにお祝い金が出たり、教育費等の補助金が出たりすると、ありがたいなと思います。
- 札幌市だけでも、子どもの医療費、教育費の経済的負担軽減の支援をしてほしい。経済的余裕があれば、もっと子どもを出産したかった。周囲の友人も、同じ考えの母親はたくさんいる。子育ても安心してできる環境があれば、子どもは増えると思う。
- 子どもの医療費負担軽減 or 無料化、中学校入学前まで延長して欲しい。高校生まで公立の教育費の無料化（義務教育延長）。

「保育所・幼稚園の整備・職員増、待機児童の解消」に関して

- 幼稚園の無償化など、そういうところにお金を使わなくていいから、認可保育園入れるようにしてほしい。待っても待っても入れず、結局高い職場の保育園に入れざるを得なかった。働いても保育料のために働いてるようで意味がない。何のための子育て支援なんだ！だから少子化になるんだ！
- 保育園の待機が多く、希望の保育園に入れない。希望以外の所にも入れない。なので働けない。どうかして下さい！働きたいのに。
- 0歳児クラスは4月入所でないとはぼ入所出来ない園が多数です。4月、5月生まれであれば1歳に近いので保育所に入所させても良いかなと思いますが、秋、冬生まれだと体力的にもキツイので0歳児の4月入所は見合わせてしまいます。0歳児は途中入所もできるような制度にしてほしい！
- 保育園を増やしてほしい。預けたい時期に預けられるようにしてほしい。1歳で預けようとしても、保育園の空きがなく、双子なので入れないことも考えて仕方なく0歳4月に入所予定。
- 職場復帰したくても、子どもを保育園に入れることができず、復帰できない人がいるので、保育園の整備（待機児童ゼロ）をより進めて欲しい。
- 幼稚園入園の際に、枠を確保するために前日の夜とか早期に並んで願書でもらわないといけないのはおかしいと思うので、その様なシステムを改善してもらいたいです。見てもらえる人がいない場合にどうやって並べばいいのですか？ 子連れで並べというのですか？ 無償化はありがたいですが、そのせいで入園を希望する家庭が増えると思います。今は幼稚園に入れるかが、とても不安です。
- 保育園の数が少ない、保育士不足による待機児童の数が多いです。身近でも保育園に入れず困っている人がいます。働きたい、働いているが、待機児童が多すぎて受け入れてもらえる場所がないのが実情です。地域を変えて園に通うのは大変なので、もっと園を増やしてほしい。無認可園でも待機児童がいる。保育士の育成のためにもっと力を入れて、保育士を増やして、園を増園して下さい。

「保育所・幼稚園にかかる費用」に関して

- 生活が苦しいと感じます。子どものためにがんばって働いても、その分、保育園代が高くなり、何のために働いてるのかと感じます。早く無償化になってほしいです。低所得者でも子どもをたくさん産んで育てられる国になってほしい。未来のために。
- 今後の保育料無償化についてどのような内容なのかを明確に説明して頂きたい（説明会や文書など）。
- 無償化のタイミングでの保育料値上げのせいで、逆に保育料が高くなってしまいました。本末転倒です。2人目は半額だったはずが、2人目3人目に関係なく一定の額を保育料として払わなければならない、給食費もこのタイミングで「2人目半額を取りやめます」と幼稚園から連絡があり、逆に損をした気分です。3人目以降がいるご家庭はもっとかわいそうなのは。
- 第1子が就学しても、第2子の保育料無償、減額を検討してほしい。来年から3歳以降無償化になる話を聞いたが、実際保育料が高いのは0~2歳。この年齢も無償・減額にならなければ、復職をためらう人も多いと思う。働いても高い保育料を払わなければいけないのは、働いている意味がないと思ってしまう。
- 2人目の保育園無料なのは上の子が幼稚園までというのはおかしいのではないかと、小学校だと2人目でも1人目とみなされ、1人目の料金がかかるのは、平等ではないと感じる。
- 認定こども園と保育園との保育園の費用の差をなくしてほしい。長子が卒園後、第2子が認定こども園なら無料で、保育園ではかかるのはおかしい。空きの問題で好きで保育園に入れているわけではないのに。
- 行政サービスは、ある程度充実していると思います。サービスの内容は上を見たらキリがないような気がします。我が家には3人の子どもがいますが、2人目と3人目の保育園入所が重なった時（現在）に2人目半額になり助かっています。その後2人目が無償になり、さらに助かりました。

「職場・社会の子育て・子育て世帯への配慮・意識改善（産育休・短時間勤務等）」に関して

- 時短が3歳までで切れてしまうため、小学校2年生くらいまで取得できるようにしてほしい。会社からは国や市が決めないと延長はできないと言われている。子どもが3歳になったらパートになりやめてしまう職員が多い。
- 父親の育児休業取得をもっと促進していけるような取組を行ってほしいです。実際に育児休業を取得してみましたが、まだまだ父親の取得についてびっくりされることが多かったです。
- 父親と母親の大人2人で、子どもが3歳になるまで子育てができるような環境になれば良いと思う。父親の育児休暇がきちんととれるようになってほしい。母親1人で子どもを育てるワンオペ育児が大変。
- 子育て世代の両親の職場環境の改善に力を入れてほしい。残業をなくす、土日祝日の休みをとれるなど。
- 希望者のみ時短勤務（育時時間）という制度では、職場からの無言の圧力というか、肩身の狭い思いをしながらの勤務となる。業務形態も様々だが、強制、義務という形で、育事休業等、様々な支援を利用できたらいいと思う。堂々と子育てできる環境になればと願いを込め

てアンケートに協力しました。

- 産後、復帰するつもりで育休を取得しましたが、思った以上に育児は大変で、勤めていた職場はフルタイム以外の選択が難しかったため退職しました。時短で働ければ続けたかっと思えます。そういう選択ができる職場が増えると良いなと思います。
- 世間の子どもに対する理解が少ない。子どもは子どもらしく出来たら良いなと思う。親は他人に謝ってばかり…。
- バスや JR など公共機関を利用する際など子どもが泣き出したらどうしよう、他の人に迷惑かけてしまうのではないかととても心配になります。中には親切な方もいると思いますが、もう少し安心して子連れでも利用できるようなになると良いなと思います。

「屋内型の遊び場の整備等」に関して

- 市外にはいくつかあるが、市内には無料であそべる場所が少なく、困ってます。特に雨や雪が降ると室内で、と思えますが子育てサロンは小さな子どもが多いので走りまわる子どもを連れて行くことに抵抗があり、行けません。
- 雨や雪でも伸び伸びと遊べる場所が多く欲しい（特に雪の期間は長いので）。近隣の市には低料金で楽しめる場所がありうらやましい。
- 北海道の子どもの運動力低下には、冬期間の運動不足、遊び場所が少ないのも問題の1つでは。札幌で、広く低料金であそべる室内あそび場があると良いと思います！（小さい子用と、小学生用と分けて）。
- 無料で、室内で遊べる場所を増やしてほしい。川下公園のようなところ。友達同士で行って、親子でゆっくり座って話できるスペース等がほしい。どこに行ってもお金がかかる。
- 室内で遊べる場所が欲しいです。特に冬場は1~2歳児は雪あそびもできないので、室内で走り回ったり運動できたりする場所がもっとあるといいと思います。地方の方が、無料（もしくは有料でも低料金）で遊べる場が多いと感じます。
- 札幌は冬が長いです。小さい子の兄弟がいると、外遊びにも限界があります。児童館は冬休み使えません。なのに、市内でカラダを使って遊ぶ施設がなさすぎます！千歳や岩見沢市のような施設があった方がいい！みんな願っています。
- 有料で子どもが遊べる場はあるが、江別のぽこあぼこのような無料で気軽に遊びにつれていけるような場があるといいなと思います。冬が長いので、室内で思いっきり体を動かして遊べる場所がほしい。外遊びをさせたくても、下の子が生まれたばかりだと連れだすのがむずかしい。室内だったら天候も気にせず遊ばせることができるといいと思う。

「子育て支援等に関する情報」に関して

- 保育園や幼稚園を通じて札幌市でやっていることの情報発信してほしい。働いているとなかなか保育園以外で情報を得る時間がとれない。子育てアプリも今回初めて知った。広報さっぽろに子ども向け（親向け）のページを1ページ設けてほしい。ここを見れば子ども向けの情報がまとまっているというようなもの。
- 東京に住んでいたころは子育てに関する事（子育てサロンの情報や、お悩み相談会など）のお知らせが、区からお手紙で届いたりしていたので困る事はあまりありませんでしたが、札

幌ではそのような情報は基本的に自分で探さないといけないので、子育てしづらいなと感じる事がたまにあります。

- 様々な取組をされているが、インターネットや区役所・保健センター・広報等、情報提供元が複数あり、一元化して分かりやすくしてほしい。
- 母子手帳交付の時にいくつか情報をもらうが、その後は自分が何もしていなければ情報は入ってこない。産まれてからは余裕がなく、季節にもよるが北海道の冬に外に出ることも一苦労。何か新たな取組ができたのなら、しっかりと伝えてほしい。子育てをしている母、父に「調べればわかる」はマイナス。教えてくれるとありがたい。
- 「札幌子育てアプリ」、利用していて便利です。当初は2人の子どもの予防接種の管理のため利用を始めましたが、情報も調べやすいです。ただ、アプリの存在は、たまたま自分で調べて気がついた。出生届を出すタイミングや出産時の病院で案内して頂けると良いと思います。

「相談（窓口、保健師・行政等の対応）」に関して

- 保健センターの保健師に子育ての相談をしたが、知識や気遣いのない方が多く、相談したくない気持ちになった。保育施設や経済的な支援だけではなく、専門機関で親身な対応をしていただける体制を整えてほしい。
- 子どもの健診などで相談事があっても、保健師で子育てに理解のある人が少なく、心ない言葉をかけられ相談を諦めたことが何度もあり、相談しなくなった。もう少し相談しやすい環境を作ってほしい。また、発達や子育てに不安がある時に専門機関に相談しやすいようなネットワークがあるといい。
- 市の職員の方（保育園受付）がとても質が悪かったです。「保育園の利用は無理ですね」と言うだけではなく「こういうサービスもあります」とか、「こういう理由で難しい」等の言葉があるのが当たり前では？ サービスを増やすのも良いですが、まずは職員への教育が必要だと思います。
- 産後に一度、保健師さんが自宅に来てくれ子どもの発育のようすを見てくれたのがとても助かった。これであっているのかどうか、些細なことも自宅なので気軽に聞けた。欲を言えばもう一度くらい、2~3回定期的に来てもらえると心の負担もだいぶ軽くなるのではと思った。産後1~3ヶ月が一番きつかったのです。
- 豊平区役所内に新しく「こそだてインフォメーション」ができたのがとてもありがたく、時々使わせてもらっています。気軽に子育てに関しての相談ができる場が嬉しいです。また、子どもたちが遊べる場もあるのでホッとできます。

「一時預かり（病児・病後児保育以外）」に関して

- 保育所の数は増えていますが、一時預かりを気軽にできる園がとても少なく困っています。母親の急な通院など、病気で急に預けたい時に困ったことがあります。気軽に、当日受付でもできる一時保育・託児を札幌市の方でもっと増やしてほしいです。
- 保育所の一時預かりが全く機能していないと感じました。土曜日の保育所一時預かりを希望し、該当する園へ全て電話しましたが、1つだけしか（しかも4歳児のみ）受け入れられな

いという結果でした。我が家は3歳児と4歳児の兄妹のため結局利用できず認可外へ行かざるを得ない状況となりました。

- 一時保育を利用したいと思いますが、各保育所での判断で受け入れをしているようなので、状況がわかりにくく、またほとんど空きがなく利用できません。一時保育を利用したい人はたくさんいると思うので、各保育所にまかせるのではなく、札幌市としてもっとより多くの人が利用できるように整備していただきたいです。
- 幼稚園の預かり保育を利用することがあるが、先生が預かる人数を増やしたくないようで、預かってはくれるが嫌な顔をされる。仕事のシフトが出るのが遅いため、預かりを申し込むのが2、3日前になってしまう時があるが、それも先生に嫌な顔をされるのでお願いしづらい。制度があっても利用しにくい空気があります。
- 産後～子育て中、常に子どもといて自分の時間が持てないのは、精神的にも体力的にもとても辛いものがあると思います。2～3時間だけでも、気軽にリフレッシュできる自分の自由時間があると、おおらかな気持ちをたもち、子どもにも優しくなれるし、生活に余裕が出来てくると思います。私用でも気軽に子どもを預けられる環境があるととてもいいなと思います。

「子育てサロン」に関して

- 子育てサロンが遠いし、時間が決まっているので実際行けません。もう少し長い時間やっていたら行けるのと思います。雪が降ったらなかなか行きづらいです。
- 赤ちゃんむけのサロンなど、イベントはわりとある印象ですが、2～3歳向けの場所があまりないので、増やして欲しいです。ねんねの赤ちゃんと一緒にだとケガをさせてしまいそうなので…。
- 子育てサロンを毎日行っている所が少ないと思う。以前苫小牧に住んでいたが、保育園の一面や児童センター等、所々で開かれていたので行きやすかった。増やしてくれると有難いです。
- 子育てサロンは幼稚園に行く前に、同じくらいの年齢の子ども同士で触れ合える機会ができ、とても良いと思います。よく利用させて頂いています。週3日以上、時間も長めにやっている所がもう少し増えると嬉しいです。
- 0・1歳児の時は家で1人っきりで子どもに向き合う時間が多く、孤独を感じていました。広報さっぽろで近所に子育てサロンがあるのを知り、勇気を出して参加することができました。それからは、同じ思いのママさんがたくさんいる事を知り、前向きに育児することができました。それがなかったらと思うと、健やかに育児できていたかわかりません。

「親・親子対象のイベント・イベント情報」に関して

- 市や区で行っている母親教室や子どもの遊び場の提供、子育て講座などは平日が多く仕事に復帰すると行けなくなるので、土曜や、平日の遅くにもやってほしい。
- 地域センターちあふるが近くにありますが、いろいろな会や講座があつていいと思います。ただ、人気の託児付きの講座は予定人数が少なくすぐ満員になってしまい、いつも利用できないので、人数を多くするか回数を増やしてほしいです。
- 乳幼児を連れて参加できるイベントが少ないように感じます。夏休みや冬休み中に子育てサ

ロン（児童会館）がなく、幼稚園が休みの子どもが遊びに行くところがありません。託児
つきのママ向けイベントがほしいです。

■冬場は歩いて児童館に行くのが大変なため、駅の近くなどでイベントや交流広場を設けても
らえると助かります。

■3歳児がいるのですが、一緒に行けるイベントが少ないと感じています。小学生くらいにな
ればいろいろありそうですが、小さいうちから、キタラのコンサートや、アートにふれる機
会があれば、連れて行ってあげたいです。お年寄りとの交流の場もあればうれしいです。